

---

# 平成30年度 事業報告書

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

社会福祉法人都市社会福祉協議会

---

# 『平成30年度 事業報告書』

## もくじ

1. 社協概要	1p
(1) 社協概要	2p
(2) 役員等名簿	3p
(3) 事務局一覧	5p
2. 法人の会議	7p
(1) 理事会の開催状況	8p
(2) 評議員会の開催状況	10p
(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況	11p
(4) その他の会議等	11p
(5) 研修等	11p
3. 事業報告	13p
(1) 平成30年度実施事業総括（※特記事項）	14p
(2) 平成30年度実施事業（個別シート一覧）	18p
個別シート	20p
4. 宮崎県共同募金会都城市共同募金委員会	92p
(1) 募金の概要	93p
(2) 運営委員会・監事・推進委員会・審査委員会名簿	97p
(3) 募金実績額	99p
個別シート	100p
奥付	101p

# 1. 社協概要

(1) 社協概要

名 称	社会福祉法人都城市社会福祉協議会
設立年月日	平成18年 1月 5日
法人認可	平成17年 9月29日
所在地	<p>【主たる事務所】〒885-0077 宮崎県都城市松元町4街区17号</p> <p>【従たる事務所】〒889-1802 都城市山之口町花木2667番地2</p> <p>〒885-1202 都城市高城町穂満坊303番地2</p> <p>〒889-4601 都城市山田町山田4319番地2</p> <p>〒889-4505 都城市高崎町大牟田821番地3</p>
役員	<p>【理事】定数10名（うち会長1名、副会長2名、常務理事1名）</p> <p>【監事】定数 3名</p> <p>【評議員】定数20名</p>
事務局組織	<p>【本所】</p> <p>社会福祉法人都城市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局長</li> <li>・ 総務課</li> <li>・ 地域福祉課</li> <li>・ 生活支援課</li> <li>・ 在宅福祉課（志和池福祉センター）</li> <li>・ 点字図書館</li> <li>・ 子育て応援課 谷頭こども園（認定こども園）</li> <li style="padding-left: 2em;">おおむたこども園（認定こども園）</li> <li style="padding-left: 2em;">縄瀬保育園（保育園）</li> </ul> <p>【支所】</p> <p>社会福祉法人都城市社会福祉協議会 山之口支所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支所長 ・ 地域福祉係 ・ 山之口・高城地区地域包括支援センター</li> </ul> <p>社会福祉法人都城市社会福祉協議会 高城支所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支所長 ・ 地域福祉係</li> </ul> <p>社会福祉法人都城市社会福祉協議会 山田支所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支所長 ・ 地域福祉係</li> </ul> <p>社会福祉法人都城市社会福祉協議会 高崎支所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支所 ・ 地域福祉係 ・ 山田・高崎地区地域包括支援センター</li> </ul>

## (2) 役員等名簿

### ① 役員（理事・監事）

平成31年3月31日現在

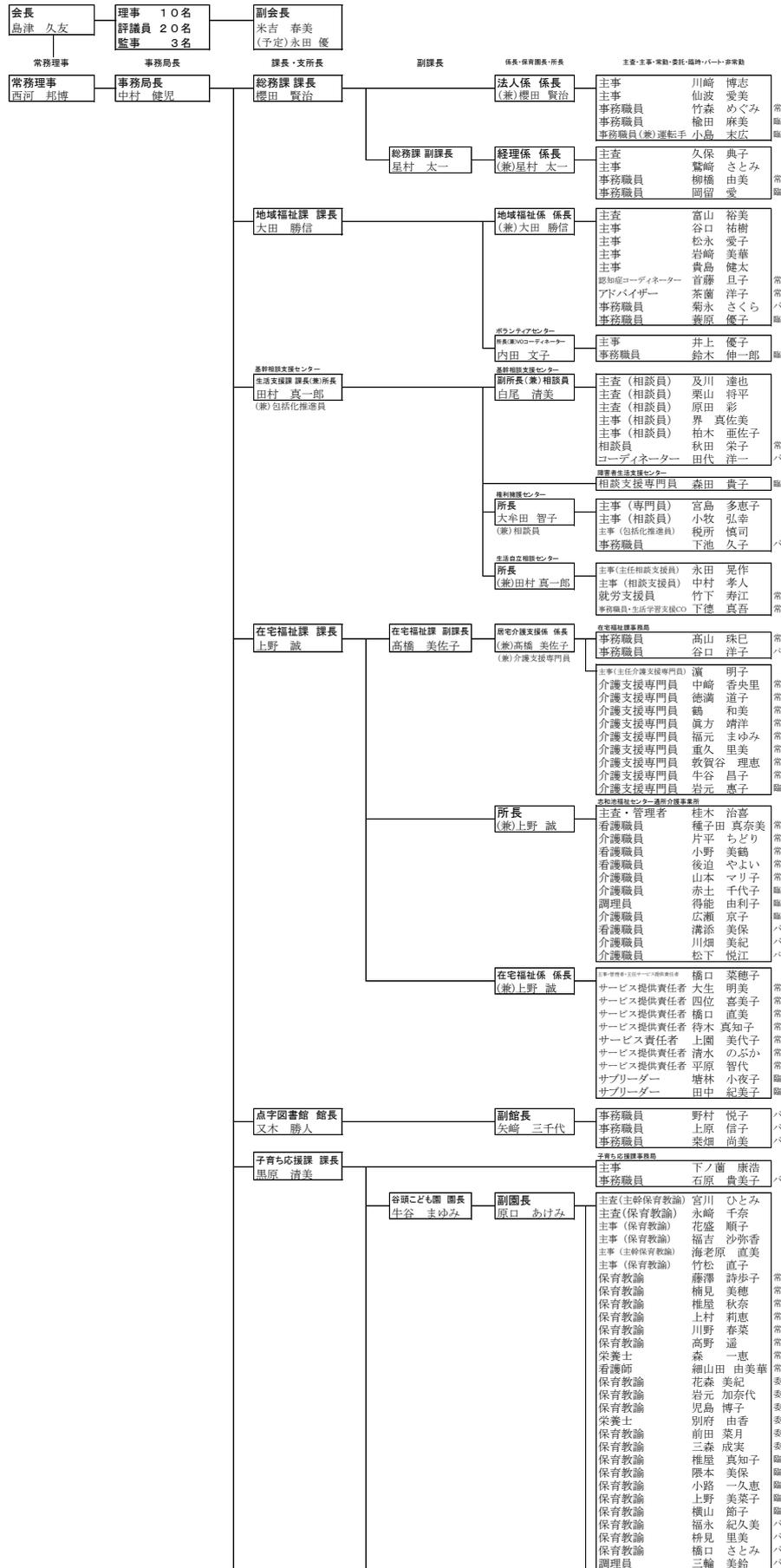
No.	役職名	選出基準	氏名
1	理事	行政代表	杉元智子
2	理事 (副会長)	民生委員・児童委員協議会長	米吉春美
3	理事 (副会長)	自治公民館連絡協議会長 H30.6.25より	永田 優
4	理事	地域代表	村吉昭一
5	理事	福祉事業経営団体代表	杉田 淳一郎
6	理事	地域福祉推進代表	田村 治義
7	理事	ボランティア代表	立山 静夫
8	理事 (会長)	学識経験者	島津 久友
9	理事 (常務理事)	〃	西河 邦博
10	理事	〃	朝倉 脩二
11	監事	学識経験者	柿木 一範
12	監事	福祉関係者	高野 眞
13	監事	専門的知識を有する者等	坊野 国治

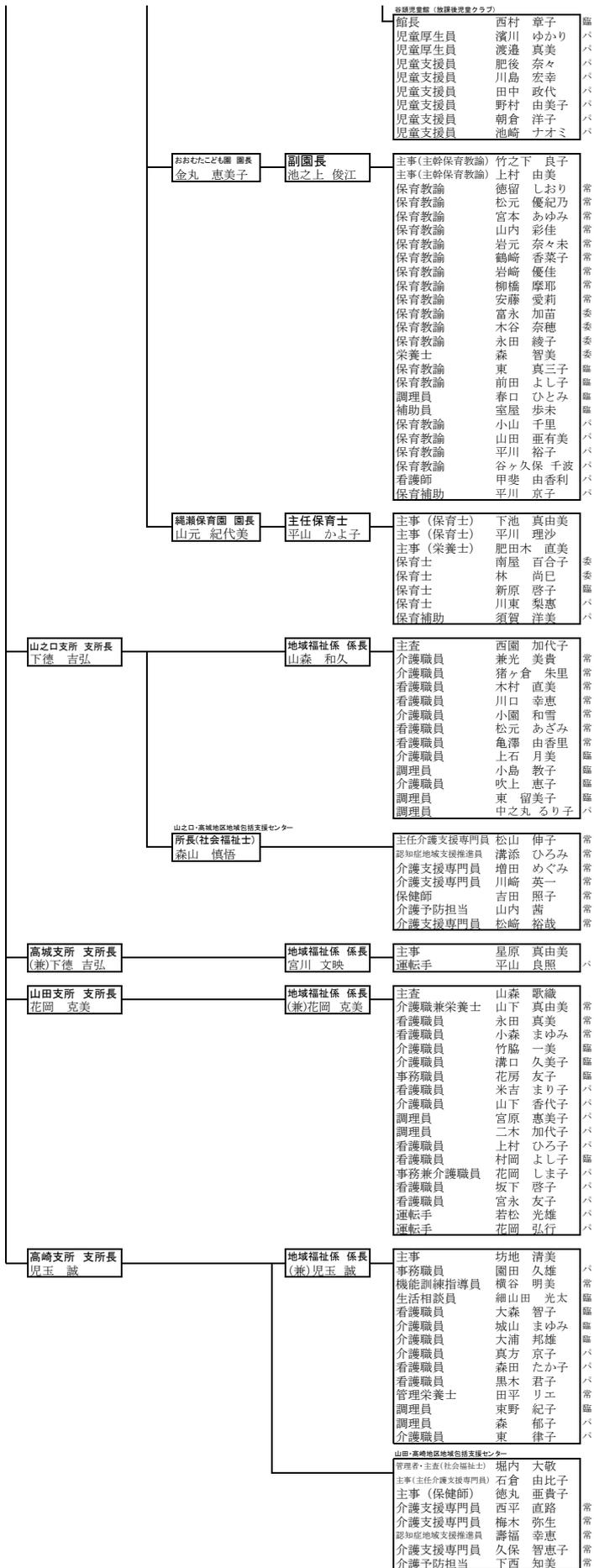
## ②評議員

平成31年3月31日現在

No.	役職名	選出基準	氏名
1	評議員	行政代表	小牟田 裕 行
2	評議員	〃	東 利 郎
3	評議員	民生委員・児童委員代表 H30.6.14より	高 山 茂 美 萬 徳 雄一郎
4	評議員	〃	薬 丸 良 英
5	評議員	自治公民館代表 H30.6.14より	永 田 優 前 田 洋 美
6	評議員	〃	柿木原 康 雄
7	評議員	地域福祉推進代表 H30.6.14より	福 村 修 有 川 俊一郎
8	評議員	〃	坂 下 修
9	評議員	福祉事業経営団体代表	高 橋 紳 一
10	評議員	女性団体代表	吉 村 洋 子
11	評議員	障害者団体代表	倉 山 幸 一
12	評議員	福祉機関代表 H30.6.14より	寺 原 美保子 福 山 旭
13	評議員	ボランティア代表	新 穂 美代子
14	評議員	高齢者団体代表	馬 籠 英 男
15	評議員	共同募金会代表	木 脇 義 紹
16	評議員	医療機関代表	前 原 修
17	評議員	社会福祉普及推進校代表	玉 利 勇 二
18	評議員	経済団体代表	田 爪 邦 士
19	評議員	学識経験者	松 永 廣 生
20	評議員	学識経験者	川 本 翰 治

### (3) 事務局一覽





## 2. 法人の会議

(1) 理事会の開催状況

第1回理事会 平成30年6月6日

①出席理事 9名(定数10名) 監事2名(定数3名)

②議 事

報告第 1号	専決処分した事件の報告について ・平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第1号)について	承認
報告第 2号	職務執行状況について	承認
議案第 1号	・平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業報告について	可決
議案第 2号	・平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について	可決
監査報告		
議案第 3号	諸規程の廃止及び制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会就業規則の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会常勤嘱託職員就業規則の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会委託職員就業規則の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会臨時職員就業規則の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会パートタイム職員就業規則の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会非常勤嘱託職員就業規則の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会就業規則の制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会給与規程の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会給与規程の制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会懲戒処分の基準の廃止について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会職員の懲戒処分等の基準に関する規程の制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会子ども・子育て応援基金設置運営規程の一部を改正する規程の制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会ボランティア・災害救援活動基金設置運営規程の一部を改正する規程の制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会施設整備等基金設置運営規程の一部を改正する規程の制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会退職手当基金設置運営規程の一部を改正する規程の制定について ・社会福祉法人都市社会福祉協議会都市山田谷頭児童クラブ運営規程の一部を改正する規程の制定について	可決
議案第 4号	平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第2号)について	可決

議案第 5号	社会福祉法人都市社会福祉協議会業務に係る契約締結について ・ 公用車（在宅福祉課訪問入浴車）1台リース業務に係る契約締結について	可決
議案第 6号	社会福祉法人都市社会福祉協議会理事候補者の補充選任について	可決
議案第 7号	社会福祉法人都市社会福祉協議会評議員補充選任候補者の推薦について	可決
議案第 8号	社会福祉法人都市社会福祉協議会平成30年度第1回評議員会の開催について	可決

## 第2回理事会 平成31年3月13日

①出席理事 9名（定数10名） 監事2名（定数3名）

②議 事

報告第 3号	職務執行状況報告について	承認
報告第 4号 専決第2号	専決処分した事件の報告について ・ 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第3号）の専決処分について	承認
専決第3号	・ 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第4号）の専決処分について	
専決第4号	・ 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第5号）の専決処分について	
専決第5号	・ 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第6号）の専決処分について	
専決第6号	・ 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第7号）の専決処分について	
専決第7号	・ 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第8号）の専決処分について	
議案第 9号	社会福祉法人都市社会福祉協議会副会長の選任について	
議案第10号	規程の制定・廃止について ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会給与規程の一部を改正する規程の制定について ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部を改正する規程の制定について ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会法令遵守規程の一部を改正する規程の制定について ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について	可決
議案第11号	平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第9号）について	可決

議案第12号	2019年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業計画(案)について	可決
議案第13号	2019年度社会福祉法人都市社会福祉協議会収入支出予算(案)について	可決
議案第14号	社会福祉法人都市社会福祉協議会業務に係る契約締結について <ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車(軽自動車乗用)4台リース業務委託契約について</li> <li>・公用車(軽自動車乗用3台、軽自動車商用1台)4台リース業務委託契約について</li> <li>・2019年度都市総合社会福祉センター清掃業務委託契約について</li> <li>・2019年度都市社会福祉協議会広報紙作成、印刷、製本業務委託契約について</li> <li>・介護保険事業システムリース業務委託契約について</li> </ul>	可決
議案第15号	社会福祉法人都市社会福祉協議会平成30年度第2回評議員会の開催について	可決

## (2) 評議員会の開催状況

### 第1回評議員会 平成30年6月25日

①出席評議員 16名(定数20名)

②議 事

議案第1号	平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業報告について	可決
議案第2号	平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について	可決
監査報告		
議案第3号	平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第2号)について	可決
議案第4号	社会福祉法人都市社会福祉協議会理事の補充選任について	可決

### 第2回評議員会 平成31年3月26日

①出席評議員 15名(定数20名)

②議 事

議案第5号	平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第9号)について	可決
議案第6号	2019年度社会福祉法人都市社会福祉協議会役員等(会長、常務理事を除く)報酬総額について	可決
議案第7号	2019年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業計画(案)について	可決
議案第8号	2019年度社会福祉法人都市社会福祉協議会収入支出予算(案)について	可決

### (3) 評議員選任・解任委員会の開催状況

第1回評議員選任・解任委員会 平成30年6月14日

①出席評議員 4名(定数4名)

②議 事

議案第 1号	社会福祉法人都市社会福祉協議会評議員補充選任候補者の選任について	可決
--------	----------------------------------	----

### (4) その他の会議等

#### □経営会議

年11回(4/23、5/15、6/12、7/17、8/23、9/18、10/16、11/13、1/15、2/14、3/13)

#### 【社会福祉法人都市社会福祉協議会事務局規程第13条】

経営会議は、会長が主宰し、常務理事、事務局長、課長(参事)、支所長をもって構成し、次の事項を審議するものとして法人本部が事務を掌理する。

- (1) 協議会の基本構想、基本計画及び実施計画、その他予算を伴う事業の計画に関する事項
- (2) 定款及び諸規程の制定及び改廃に関する事項
- (3) 理事会及び評議員会に提出すべき主要案件に関する事項
- (4) 重要な財産の取得処分に関する事項
- (5) 前各号のほか、会長が必要と認めた事項

#### □事業会議等

・在宅福祉関係 事業会議 (随時開催)

#### 【社会福祉法人都市社会福祉協議会事務局規程第13条】

事業会議は、各事業の部署責任者が主宰し、関係する職員等で構成する。

#### □介護保険事業所管理者会議

#### 【社会福祉法人都市社会福祉協議会事務局規程第13条】

管理者会議は、介護保険事業の各事業所の管理者等で構成する。

### (5) 研修等

#### ①平成30年度新任職員研修

- ・平成30年 5月17日(木)参加者13名
- 5月18日(金)参加者14名

#### ②平成30年度コミュニティソーシャルワーカー養成研修会

- ・第1回/1日目:平成30年 7月30日(月)参加者26名
- 2日目:平成30年 7月31日(火)参加者22名
- ・第2回/1日目:平成30年11月12日(月)参加者28名
- 2日目:平成30年11月13日(火)参加者34名

③平成30年度職員全体研修

- ・第1回／平成30年11月 5日（月）参加者132名  
「お金がないで終わらせない！ 地元を変える社協マンになる  
ための仲間と資金の集め方講座」
- ・第2回／平成30年11月29日（木）参加者56名  
「氷見市社協との人事交流レポート&トークセッション」

④平成30年度「社協らしい介護サービス事業の経営」研修会

平成31年 2月15日（金）参加者78名

⑤平成30年度管理職研修

平成31年 2月16日（土）参加者22名

⑥宮崎市人材研修センター 各種研修

人材研修センターで実施している各種研修会に、例年、希望者は申込み、参加している。

# 3. 事業報告

## (1) 平成30年度実施事業総括（※特記事項）

### 総務部門

---

#### ◆富山県氷見市社会福祉協議会との人事交流スタート

平成30年度の重点事業に新たな人材育成事業として、全国でも先駆的に活動している社協同志が相互に交流し学び合うことを目的に、氷見市社会福祉協議会との人事交流事業をスタートさせた。

①派遣1回目：平成30年10月15日～10月19日の期間に2名派遣

②受入1回目：平成30年11月26日～11月30日の期間に3名受入

③派遣2回目：平成31年2月18日～2月22日の期間に2名派遣

双方において、事業レクチャーから始まり、現場調査、事例検討、内部職員向けに派遣報告会等を実施し、他社協の取り組みを現地で体感・体験できる機会とした。

#### ◆経営改善のための3プロジェクトの実施

平成30年度は、経営改善を最大のミッションとして、「人材育成プロジェクト」、「支所再編等組織見直しプロジェクト」、「事業の選択と集中プロジェクト」を立上げ、それらの協議の結果を「経営改善計画2019～考動する社協へ～」としてまとめ上げた。今後は、この改善計画に基づき新たな社協づくりに邁進していくことになる。

### 地域福祉部門

---

#### ◆「我が事・丸ごと」の地域力強化推進事業の実施

都城市では、「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」による『我が事・丸ごと』の地域力強化推進事業」と「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を平成30年4月1日から取り組んだ。

我が事の地域づくりとして、地域住民が主体的に生活課題を把握し解決を試みることが出来る環境の整備を図った。また、丸ごとの地域づくりとして、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を図った。

#### ◆地域福祉優秀実践賞の受賞

日本地域福祉学会により、全国各地で行われている地域福祉に関する優れた実践を掘り起こし、ひいては日本の地域福祉の一層の発展と向上に寄与することを目的として、2004年度より地域福祉に関する優れた実践を顕彰する「日本地域福祉学会地域福祉優秀実践賞」が設立された。

第15回となる地域福祉優秀実践賞を都城市が受賞し、静岡県焼津市で行われた「日本地域福祉学会第32回大会」にて表彰を受けた。

#### ◆福祉教育プログラム検討委員会の実施

平成29年度、学校における福祉教育（福祉活動）の取り組みに関する実態調査を

行い、福祉教育が教育課程に位置づいていないことや、取り組み内容に計画性系統性がないという実態が浮かび上がった。そこで平成30年度から、小・中・高等学校の各段階で効果的な福祉教育を行うために、発達段階に応じた福祉教育プログラムを開発するために検討委員会を設置し「福祉教育ガイドブック」(仮称)を取りまとめた。

### ◆「都城市地域福祉推進大会」において、「15地区我が事談義」

今年度、我が事として取り組んだ内容を、15地区役員と地区担当者がペアになり「平成30年度都城市地域福祉推進大会」で発表した。キーワードとして「夢・未来」「地域とのつながり」「小地域での展開」「居場所づくり」「世代間交流」「顔の見える関係性」「アウトリーチに基づく実施」「リサーチに基づく実施」「実態調査に基づく実施」「福祉の輪の広がり」「まち探検」「親と子のふれあい」「我が事・丸ごと地域づくり」「主体性の種まき」「地域ぐるみの安心・安全」が出された。

### ◆業務実践報告会の実施

国において進められている「地域共生社会」において、社会福祉協議会には大きな期待が寄せられており、地域社会から求められる社協の役割を果たすためには、職員一人ひとりが地域共生社会づくりの一翼を担い、その意識を持って実践していくことが必要であるため、社協職員として実践している地域福祉をふりかえる機会として、全職員(正職員64名)による業務実践報告会を行った。職員一人ひとりが1年間の業務を見つめ直し、成果や課題を確認する機会とした。

### ◆『都城市の地域福祉2018』の発行

都城市における地域共生社会の実現を目指し、「地域力強化推進事業」や「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」など、各種の地域福祉事業の実践をまとめた報告書を平成31年3月31日に発行した。

都城の地域福祉トピックス2018や、各地区社協の我が事の取り組み、職員による業務実践報告、地域福祉推進大会における基調講演録、地域福祉年表2018などを収載した。

## 相談支援部門

---

### ◆基幹相談支援センターの受託運営

平成30年度より障がい者の総合的な相談支援を展開する機関として、「障がい者(児)基幹相談支援・虐待防止センター」を受託した。

初年度ということもあり、センター機能の広報啓発活動に力を入れ、また、障害者支援事業所が抱える困難ケースのサポートや障害者自立支援協議会の運営などに取り組みながら、主催研修を5回実施することができた。

また、虐待防止センターとしても通報から聞き取り調査、分離後の対応など主管課

である福祉課をはじめ障害者支援施設とも連携し随時対応にあたることができた。

### ◆多機関の協働による包括的支援体制構築事業の開始

福祉ニーズの多様化・複雑化を踏まえ、単独の相談機関では十分に対応できない、制度の狭間の課題の解決をはかるために、複合的な課題を抱える方に対し、様々な機関の協働によって包括的な支援システムの構築を目指すとともに、地域に必要とされる社会資源の開発などの仕組みを構築する事業として受託し、包括化推進員2名を配置した。

福祉専門職を対象に「連携と協働の在り方」に関する調査（アンケート）を実施したことで、制度外の課題への対応に苦慮している実態も伺えたことから、専門職をサポートするツールのひとつとして「総合相談マニュアル」を作成することができた。

今後は相談支援包括化推進会議の充実と全世代対応型による地域ケア会議の在り方を検証することで、より一層多機関が協働できる仕組みの構築に向け充実に図りたい。

### ◆子どもの生活・学習支援事業生活・学習支援コーディネーターの配置

子どもの生活・学習支援事業を新たに受託し、生活・学習支援コーディネーターを配置した。9団体の学習支援をサポートするとともに、こども未来応援連絡会を組織化し課題の共有をはかり関係機関との意見交換を実施することができた。

また、ボランティアセンターと連携し、学習支援サポーター養成講座を3回シリーズで取り組むと同時に人材登録バンクを設置することができた。

### ◆障がい者等日中活動支援事業の移管

障がいのある方やその家族が気軽に集い活動できる場として受託してきた障がい者等日中活動支援事業「ぼかぼかサロン」については、更なる居場所の充実をはかるために平成30年度を持って本会としての役割を終えることになった。

これまでの取組では、障がいのある方が通うことができる場として調理実習や日常生活自立訓練を実施し、就労系サービスの利用に結びつくなど、地域における自立生活の支援について効果を発揮してきた。

委託の内容と今後の事業の在り方を検討するなか、福祉課との協議を重ねた結果、専門性を確保できるNPO法人が運営を引き継ぐこととなり、今後は、基幹相談支援センターとして利用者の相談援助を中心に支援にあたることとなった。

## 在宅福祉部門

---

### ◆「社協らしい介護サービス事業の経営」

社協（本所・支所）で経営する介護保険事業・障害福祉サービス事業と、それに伴う指定管理物件（施設）の将来の在り方や支所機能を見直す「支所再編等組織見直し

プロジェクト」が経営課題を検討し、支所機能及び介護保険事業等に関する今後の方向性を提示された。結論として、「介護保険事業等を継続すべき」とされ、利用者確保策やサービスの充実策、職員の資質向上、経営の黒字化等に関する経営改善策を作成した。今後は、当該事業に従事する職員等の意識改革を促し、サービスの「コスト削減」と「質の向上」の取り組み、選ばれるサービスを目指し、拠点となる志和池福祉センターの大規模改修を行い、介護保険事業・障害福祉サービスの充実と推進を図ることを方向づけた。

## **点字図書館部門**

---

### **◆視覚障がい者理解の促進と情報提供事業の充実及びQOLの向上**

視覚障がい者に関する理解を市民に深めていただくために、ソーシャルネットワークを活用したWebによる様々な情報提供や、市街地中核施設に移転した都城市立図書館内の常設情報ボックス等による啓発を実施した。

また、蔵書用の図書製作だけでなく、利用者個人から依頼されたプライベート資料製作の対応や、情報機器等操作指導を充実させ、視覚障がい者のQOLの向上を進めることができた。

## **保育部門**

---

### **◆施設整備**

外遊びの充実を図るべく、ツリーハウス等の遊具（おおむたこども園）や植樹（各園）を行い、さらなるダイナミックな遊びの展開となるよう整えた。縄瀬保育園、谷頭こども園の園児トイレが非常に古く、暗くて怖がる事や衛生上（臭い・カビ）の問題があり改修した。快適に使用できるようになっている。

### **◆多世代交流の場**

①多世代交流の居場所づくりを行った。

《屋内》高崎地区（おおむたこども園・縄瀬保育園）さわやか館に「ぼかぼかひなた」を設置

山田地区（谷頭児童館・谷頭こども園）谷頭児童館に「ぼかぼかひろば」

※山田地区では子どもと一緒に「こけない体操」も実施

《屋外》月1回縄瀬保育園園庭で「冒険遊び体験」を11月からスタートした。

②子育て支援

地区担当と協同しての支援を行った。各地区のサロン関係者に知っていただく程度だったので緩やかなスタートで、次年度に向けて定着を目指すこととした。

## (2) 平成30年度 実施事業 (個別シート一覧)

## ■社会福祉事業

事業種類	拠点区分／サービス区分	当初予算	決算額	頁
1 法人運営事業拠点区分				
法人運営	01 法人事務局運営事業	14,133,000	11,650,102	20
法人運営	02 調査・研究・企画・広報事業	4,229,000	5,126,877	23
法人運営	03 退職積立事業	84,347,000	94,507,955	25
法人運営	04 基金等運用事業	166,771,000	216,638,469	26
法人運営	05 善意銀行活用事業	24,000,000	28,854,095	27
2 地域福祉活動推進事業拠点区分				
法人運営	01 都城市総合社会福祉センター管理運営事業	17,224,000	17,447,140	28
法人運営	02 山之口シルバーヤングふれあいの里管理運営事業	5,794,000	5,794,000	29
法人運営	03 高城老人福祉館管理運営事業	1,768,000	1,768,000	30
法人運営	04 山田総合福祉センター管理運営事業	2,607,000	2,607,000	31
法人運営	05 高崎老人福祉館管理運営事業	1,822,000	1,822,028	32
法人運営	06 高崎介護予防ふれあい交流センター管理運営事業	2,596,000	2,596,000	33
地域福祉	07 地域福祉総合推進事業	13,252,000	13,030,863	34
地域福祉	08 ボランティアセンター活動事業	1,672,000	1,834,957	35
地域福祉	09 NPO等協働体制確立事業	3,200,000	3,300,000	36
地域福祉	10 福祉教育推進事業	300,000	300,000	37
地域福祉	みやこんじょボランティアフェスティバル 2019	1,454,731	1,458,334	38
地域福祉	11 認知症地域サポーター支援事業	4,568,000	4,384,453	39
地域福祉	12 ファミリー・サポート・センター事業	9,417,000	9,053,660	40
法人運営	13 福祉バス運行事業	6,297,000	5,004,676	41
地域福祉	14 生活おたすけサービス事業	7,020,000	1,921,965	43
相談支援	15 日常生活自立支援事業	8,065,000	8,052,060	44
相談支援	16 福祉後見活動事業	8,599,000	7,448,749	45
相談支援	17 生活自立相談センター事業	15,304,000	14,561,919	46
相談支援	18 生活福祉資金貸付事業	880,000	810,000	47
相談支援	19 生活福祉資金利子補給事業	336,000	99,710	48
相談支援	20 たすけあい資金貸付事業	1,870,000	272,758	49
法人運営	21 子育て応援助成事業	1,550,000	367,296	50
法人運営	22 歳末たすけあい助成事業	3,840,000	3,236,596	51
法人運営	23 緊急援護等事業	1,600,000	290,000	52
法人運営	24 低所得者対策事業	50,000	6,000	53
地域福祉	25 介護保険生活支援体制整備事業	5,250,000	4,202,078	54
相談支援	26 多機関協働包括的支援体制構築事業	15,000,000	12,710,838	55

地域福祉		27	地域力強化推進事業	15,000,000	14,980,000	56
相談支援		28	子どもの生活・学習支援事業	8,544,000	6,770,456	57
相談支援		29	社会福祉法人連携支援事業	975,000	975,000	58
<b>3 障害福祉支援事業拠点区分</b>						
相談支援		01	障がい者等日中活動事業	1,206,000	1,024,299	59
相談支援		02	障害者ケアプラン事業	2,604,000	2,545,550	60
相談支援		03	重度身体障害者移動支援事業	3,400,000	2,352,124	61
在宅福祉		04	点字図書館事業	17,372,000	16,978,475	62
相談支援		05	障がい者(児)基幹相談支援・虐待防止センター事業	43,864,000	40,057,285	63
<b>4 障害福祉サービス事業拠点区分</b>						
在宅福祉		01	居宅介護事業	21,840,000	21,596,280	64
在宅福祉		02	訪問入浴サービス事業	6,380,000	5,828,100	65
在宅福祉		03	日中一時支援事業	720,000	441,850	66
在宅福祉		04	地域生活移動支援事業	205,000	131,110	67
<b>5 介護保険等事業拠点区分</b>						
在宅福祉		01	訪問介護事業	76,762,000	63,487,600	68
在宅福祉		02	訪問入浴介護事業	5,400,000	6,783,880	69
在宅福祉		03	居宅介護支援事業	57,924,000	54,174,631	70
在宅福祉		04	通所介護事業	203,427,000	139,103,341	71
在宅福祉		05	元気アップデイサービス事業	3,329,000	3,267,131	75
在宅福祉		06	山田元気な高齢者健康増進センター管理運営事業	9,375,000	9,312,600	79
在宅福祉		07	食の自立支援事業	24,690,000	21,428,452	80
相談支援		08	山之口・高城地区地域包括支援センター事業	37,686,000	33,741,670	83
相談支援		09	山田・高崎地区地域包括支援センター事業	36,820,000	36,655,419	84
<b>6 保育園事業拠点区分</b>						
在宅福祉		01	子育て応援課事務局	19,500,000	14,542,367	86
在宅福祉		02	おおむたこども園	123,685,000	146,002,913	87
在宅福祉		03	谷頭こども園	148,254,000	163,957,060	88
在宅福祉		04	縄瀬保育園	51,509,000	43,645,150	89
在宅福祉		05	谷頭児童館運営事業	4,054,000	4,054,000	90
在宅福祉		06	谷頭児童館放課後児童クラブ運営事業	8,749,000	8,174,999	91

## ■都城市共同募金委員会事業

事業種類	事業区分／サービス区分	事業名	当初予算	決算額	頁
共同募金運動・共同募金助成事業					
法人運営	—	共同募金運動・共同募金助成事業		14,178,773	100

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	1-01-1
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 法人事務局運営事業</b>						
決算額 (単位：円)	11,650,102	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	1,601,600						10,048,502
事業概要	法人の業務の決定 理事会：法人経営の執行機関 評議員会：法人の重要事項議決機関 評議員選任・解任委員会：評議員の選任及び解任機関						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ○理事会の開催（年2回、議案15件を提案） ○評議員会の開催（年2回、議案8件を提案） ○評議員選任・解任委員会（年1回、議案1件を提案）						
	<b>【諸会議】</b> 第1回理事会 平成30年6月6日 第2回理事会 平成31年3月13日  第1回評議員会 平成30年6月25日 第2回評議員会 平成31年3月26日  第1回評議員選任・解任委員会 平成30年6月14日						
	<b>【研修等】</b>						
	<b>【その他】</b>						
事業成果	法令に基づいた定期の理事会・評議員会は開催出来た。3月の理事会・評議員会においては、これからの社協の方向性を示した「経営改善計画2019～考動する社協へ～」を提案し承認された。 今後は、法人経営の執行機関として、理事会を定期開催し、理事会機能を強化することが必要である。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 1-01-2	
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 法人管理部局運営事業（福祉サービス苦情解決等）</b>						
決算額 (単位：円)	11,650,102	左の財源内訳				その他の 補助金等	一般財源
		補助金					
		市	県社協	市	県社協		10,048,502
	1,601,600						
事業概要	<p>「福祉サービスに関する苦情解決事業」</p> <p>目 的：本社協が行う福祉サービスに対する利用者等からの苦情に適切に対応することにより、利用者の権利を擁護し、利用者が適切に福祉サービスを利用できるように支援することを目的とする事業。</p> <p>事業対象：本社協の提供するすべての福祉サービス</p> <p>実施体制：苦情解決責任者、苦情受付対象者、第三者委員を設置          第三者委員：坊野国治、高野眞、柿木一範</p> <p>苦情受付：随時</p>						
事業内容	【実施した事業内容】						
	【諸会議】						
	【研修等】						
	【その他】						
事業成果	<p>第三者委員として3名の委員を委嘱した。</p> <p>今年度も苦情の受理件数はなかったが、今後も住民主体の地域福祉を推進していくために、福祉サービスの向上を目的に様々な苦情や提案に対しても真摯な姿勢で臨んでいくことが必要である。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 1-01-3	
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 法人事務部局運営事業（会費会費等）</b>						
決算額 (単位：円)	693,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	・社協会員会費募集活動						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b>						
	特別会員、法人会員への訪問活動（企業、法人等へ社会福祉協議会の周知） 社協職員による募集活動						
	・会費の種類						
	一般会員 ⇒ 500 円 賛助会員 ⇒ 1,000 円 特別会員 ⇒ 5,000 円 法人会員 ⇒ 10,000 円 （金額は、1 口の年額）						
事業内容	・実績（金額・会員数）						
	一般会員 ⇒ 108,000 円 (216)						
	賛助会員 ⇒ 120,000 円 (120)						
	特別会員 ⇒ 45,000 円 (9)						
事業内容	法人会員 ⇒ 420,000 円 (38)						
	計 693,000 円 (383)						
	<b>【諸会議】</b>						
	<b>【研修等】</b>						
事業内容	<b>【その他】</b>						
	従来 of 企業、法人等への訪問活動に加え、新規訪問活動に取り組んだ。 今後は、会員増に向けた新規開拓は継続して実施する一方で、寄せられた会費の 使途の有効活用についての協議やこの制度自体の見直しの協議も必要である。						
事業成果	従来 of 企業、法人等への訪問活動に加え、新規訪問活動に取り組んだ。 今後は、会員増に向けた新規開拓は継続して実施する一方で、寄せられた会費の 使途の有効活用についての協議やこの制度自体の見直しの協議も必要である。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	1-02-1
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 調査・研究・企画・広報事業 ① (表彰)</b>						
決算額 (単位:円)	5,126,877	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	5,000					1,791,773	3,330,104
事業概要	○県社会福祉大会への参加 ○市社会福祉功労者等表彰式の開催						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ○宮崎県社会福祉大会への参加 (平成 30. 10. 31 開催) 参加者: 26 名 (内被表彰者: 9 名) 場 所: メディキット県民文化ホール 被表彰者 県知事表彰 10 名 3 団体 県共同募金会長表彰・感謝 2 名 6 団体						
	○都城市社会福祉功労者等表彰式 (平成 30. 10. 9 開催) ※市長表彰、市社協会長表彰・感謝、市共同募金委員会表彰・感謝状の贈呈 参加者: 約 450 名 場 所: 都城市総合文化ホール 中ホール 被表彰者 市長表彰 12 名 4 団体 市社会福祉協議会長表彰・感謝 18 名 8 団体 都城市共同募金委員会会長表彰・感謝 4 名 1 団体						
	<b>【諸会議】</b> ○県社会福祉大会、市社会福祉功労者等表彰式に関する行政福祉課との打合せ (3 回)						
	<b>【研修等】</b>  <b>【その他】</b>						
事業成果	今年度から都城市社会福祉功労者等表彰式は、地域福祉推進大会と分けて実施した。 表彰者の推薦については、地区社協や地域ボランティアに依頼し実施しているが、地区による偏りも見受けられることから、推薦方法の見直しも必要である。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** **その他（共募）**

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	1-02-2
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 調査・研究・企画・広報事業 ②(広報紙)</b>						
決算額 (単位：円)	5,126,877	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	5,000					1,791,773	3,330,104
事業概要	社協の広報紙「ごー！ごー！！ちいき」の発行						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b>						
	2ヶ月ごと（偶数月）に51,000部発行し、市内の各戸に配布（年6回） ・「ごー！ごー！！ちいき NO,72号発行」（6月15日発行）8ページ ・「ごー！ごー！！ちいき NO,73号発行」（8月15日発行）6ページ ・「ごー！ごー！！ちいき NO,74号発行」（10月15日発行）8ページ ・「ごー！ごー！！ちいき NO,75号発行」（12月15日発行）6ページ ・「ごー！ごー！！ちいき NO,76号発行」（2月15日発行）6ページ ・「ごー！ごー！！ちいき NO,77号発行」（4月15日発行）8ページ						
	<b>【諸会議】</b>						
	<b>【研修等】</b>						
	<b>【その他】</b>						
事業成果	それぞれの地区において、展開している地域福祉事業や社協が行っている事業の紹介、地域で活躍されている方の紹介などの情報提供を行った。市民からの問い合わせや意見も多くいただいた。 今後は、さらにそれぞれの地区が行っている特色ある活動の紹介などを幅広く市民へ発信し、地域福祉への理解と参加・参画を推進するための必要な情報を発信していく必要がある。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	1-03
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 退職積立事業</b>						
決算額 (単位：円)	94,507,955	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							94,507,955
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国社会福祉団体職員退職手当共済制度、宮崎県民間社会福祉施設等従事職員共済制度に加入（正職員・常勤嘱託職員）。ただし、保育園の正職員・常勤嘱託職員は独立行政法人福祉医療機構（WAM）、宮崎県民間社会福祉施設等従事職員共済制度に、保育園の委託職員・臨時職員は、独立行政法人福祉医療機構（WAM）への加入となっている（事業所として加入）。</li> <li>・その他、自主財源分の退職手当積立金の管理を行う。</li> </ul>						
事業内容	【実施する事業内容】						
	【諸会議など】						
	【研修など】						
	【その他】						
事業成果							

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	1-04
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 基金等運用事業</b>						
決算額 (単位：円)	216,638,469	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							216,638,469
事業概要	①ボランティア・災害救援活動基金運用事業 ②子ども・子育て応援基金運用事業 ③地域福祉積立預金運用事業 ④事業安定化積立預金運用事業 ⑤その他						
事業内容	【実施する事業内容】						
	(1) 基金						
	①ボランティア・災害救援活動基金 ②子ども・子育て応援基金						
	(2) 積立預金						
①地域福祉積立預金 ②事業安定化積立預金 等							
【諸会議など】							
【研修など】							
【その他】							
事業成果	各規程・要綱に基づいて、安全確実な運用を行うとともに、活用事業の活性化を期待する。また、各事業の安定的運用のため、積立預金の活用を積極的に検討する。 併せて、長期的な視点に立ち建物の整備など、目的を明確にした基金の設置を検討する。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	1-05
事業名	<b>法人運営事業拠点区分 善意銀行活用事業（本所・4支所）</b>						
決算額 (単位：円)	28,854,095	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	善意銀行（善意・忌明け・物品）の受入 紙オムツ（高齢者・障がい児用）の支給、車椅子の貸出						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・都 城本所：紙オムツの支給、車椅子の貸出 ・山之口支所：福祉基金への積み立て、たすけあい資金の原資 ・高 城支所：紙オムツ（高齢者・障がい児用）の支給、車椅子の貸出 ・山 田支所：紙オムツの支給、車椅子の貸出 ・高 崎支所：紙オムツの支給、地域福祉事業への還元等						
	<b>【収入】</b> ・善意寄付・・・77件 (6,772,095円) うち物品（お米：17件 1,289kg） （もち米：1件 28kg） （車椅子：7台） （上着：1件） （商品券：40,000円） （福祉バス：1台） ・忌明寄付・・・464件 (14,382,000円)						
	<b>【支出】</b> ・紙オムツ給付事業 <b>【繰出】</b> ・地区社会福祉協議会への助成金 ・基金への繰出						
	<b>【紙オムツの支給と車椅子の貸出】</b> ・紙オムツ・・・4,642パック提供 ・車椅子・・・・延べ159台貸出						
事業成果	善意寄付を利用した紙おむつ支給等の取り組みは、利用件数も多く、好評である。 利用者の背景にある様々なニーズを汲み取り、新たな地域福祉サービスにつなげていくことも社協の役割であるが、现阶段ではアセスメントまでは至らず、支給のみに終わっているのが現状である。 若者の貧困が全国的な課題として挙がっており、そのような課題にまで対応できるような、新たな取り組みも必要である。このことも含め、今後は、住民からの大切な善意寄付を最大限に地域へ還元できる新たなサービスの検討も必要である。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-04																																																																																																																																																																																							
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 都城市総合社会福祉センター管理運営事業</b>																																																																																																																																																																																													
決算額 (単位:円)	17,447,140	左の財源内訳					その他の 補助金等	一般財源																																																																																																																																																																																						
		補助金		受託金																																																																																																																																																																																										
		市	県社協	市	県社協																																																																																																																																																																																									
		16,495,524					951,616																																																																																																																																																																																							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉センターの貸館業務</li> <li>・生活支援の各種相談をはじめ、ボランティア、福祉に関することの相談窓口</li> <li>・台風、風水害等の避難場所</li> </ul>																																																																																																																																																																																													
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者団体、高齢者サークル、民生委員児童委員、ボランティア、その他の福祉関係団体等の研修会実施のための貸館業務</li> <li>・生活支援の相談をはじめ、ボランティア、福祉に関することの相談窓口</li> <li>・台風等の避難所への対応の実施</li> </ul>																																																																																																																																																																																													
	<b>【実績】</b> <table border="0"> <tr> <td>① 利用料金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 有料</td> <td></td> <td></td> <td>53 件</td> <td></td> <td></td> <td>1,116 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 免除</td> <td></td> <td></td> <td>1,441 件</td> <td></td> <td></td> <td>21,651 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 利用件数及び利用人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 利用件数合計</td> <td></td> <td></td> <td>1,494 件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 利用人員合計</td> <td></td> <td></td> <td>22,767 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(内 訳)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>a ボランティア団体</td> <td></td> <td></td> <td>98 件</td> <td></td> <td></td> <td>1,518 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b 障がい者団体</td> <td></td> <td></td> <td>426 件</td> <td></td> <td></td> <td>5,831 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c 高齢者サークル</td> <td></td> <td></td> <td>209 件</td> <td></td> <td></td> <td>2,863 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>d その他</td> <td></td> <td></td> <td>121 件</td> <td></td> <td></td> <td>2,638 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>e 社会福祉協議会事業</td> <td></td> <td></td> <td>640 件</td> <td></td> <td></td> <td>9,917 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( 合 計 )</td> <td></td> <td></td> <td>1,494 件</td> <td>22,767 人</td> </tr> <tr> <td>③ 部屋別利用状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>「2階」</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 研修室1・2</td> <td></td> <td></td> <td>564 件</td> <td></td> <td></td> <td>10,713 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 小会議室</td> <td></td> <td></td> <td>347 件</td> <td></td> <td></td> <td>2,864 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 点字図書館閲覧室</td> <td></td> <td></td> <td>142 件</td> <td></td> <td></td> <td>2,769 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( 合 計 )</td> <td></td> <td></td> <td>1,053 件</td> <td>16,346 人</td> </tr> <tr> <td>「3階」</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 和 室</td> <td></td> <td></td> <td>227 件</td> <td></td> <td></td> <td>2,937 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 大集会室</td> <td></td> <td></td> <td>215 件</td> <td></td> <td></td> <td>3,484 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( 合 計 )</td> <td></td> <td></td> <td>442 件</td> <td>6,421 人</td> </tr> </table>							① 利用料金								・ 有料			53 件			1,116 人		・ 免除			1,441 件			21,651 人		② 利用件数及び利用人数								・ 利用件数合計			1,494 件					・ 利用人員合計			22,767 人								(内 訳)					a ボランティア団体			98 件			1,518 人		b 障がい者団体			426 件			5,831 人		c 高齢者サークル			209 件			2,863 人		d その他			121 件			2,638 人		e 社会福祉協議会事業			640 件			9,917 人					( 合 計 )			1,494 件	22,767 人	③ 部屋別利用状況								「2階」								・ 研修室1・2			564 件			10,713 人		・ 小会議室			347 件			2,864 人		・ 点字図書館閲覧室			142 件			2,769 人					( 合 計 )			1,053 件	16,346 人	「3階」								・ 和 室			227 件			2,937 人		・ 大集会室			215 件			3,484 人					( 合 計 )			442 件
① 利用料金																																																																																																																																																																																														
・ 有料			53 件			1,116 人																																																																																																																																																																																								
・ 免除			1,441 件			21,651 人																																																																																																																																																																																								
② 利用件数及び利用人数																																																																																																																																																																																														
・ 利用件数合計			1,494 件																																																																																																																																																																																											
・ 利用人員合計			22,767 人																																																																																																																																																																																											
			(内 訳)																																																																																																																																																																																											
a ボランティア団体			98 件			1,518 人																																																																																																																																																																																								
b 障がい者団体			426 件			5,831 人																																																																																																																																																																																								
c 高齢者サークル			209 件			2,863 人																																																																																																																																																																																								
d その他			121 件			2,638 人																																																																																																																																																																																								
e 社会福祉協議会事業			640 件			9,917 人																																																																																																																																																																																								
			( 合 計 )			1,494 件	22,767 人																																																																																																																																																																																							
③ 部屋別利用状況																																																																																																																																																																																														
「2階」																																																																																																																																																																																														
・ 研修室1・2			564 件			10,713 人																																																																																																																																																																																								
・ 小会議室			347 件			2,864 人																																																																																																																																																																																								
・ 点字図書館閲覧室			142 件			2,769 人																																																																																																																																																																																								
			( 合 計 )			1,053 件	16,346 人																																																																																																																																																																																							
「3階」																																																																																																																																																																																														
・ 和 室			227 件			2,937 人																																																																																																																																																																																								
・ 大集会室			215 件			3,484 人																																																																																																																																																																																								
			( 合 計 )			442 件	6,421 人																																																																																																																																																																																							
事業成果	<p>社会福祉センターの利用団体については、社会福祉協議会関係事業が最も利用件数が多く、次いで高齢者サークル、障がい者団体の事業、ボランティア団体、その他となっている。新たな団体の利用申込もあり、貸館業務の目的に沿った貸し出しや、利用料の免除等検討する余地がある。</p> <p>社会福祉センターとしての機能性とその効果については、生活支援に関する各種相談をはじめ、ボランティア、福祉に関することの相談窓口や台風等の災害時における避難所として避難者への対応も実施しており、住民への周知はなされている。ただし、ハード面では正面玄関へのアプローチに手すり等がないこと、夜間の駐車場に照明が不足していることなど、安心・安全の面では、課題が多い。</p>																																																																																																																																																																																													

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	<b>山之口支所</b>	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-02																																																								
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 山之口シルバーヤングふれあいの里管理運営事業</b>																																																														
決算額 (単位:円)	5,743,000	左の財源内訳					その他の 補助金等	一般財源																																																							
		補助金		受託金		600																																																									
		市	県社協	市	県社協																																																										
		5,742,400																																																													
事業概要	<p>「山之口高齢者生活福祉センター」          ・山之口ふれあいの館 ・山之口弓道・四半的場 ・山之口屋内ゲートボール場          市民が心身ともに健康で、同世代、異世代、グループ交流等のふれあいを通じて、「生きがいのあるまちづくり」に資する</p>																																																														
事業内容	<p>【実施した事業内容】          ○施設の管理、貸出し          ・会議室、ふれあいホール、多目的ホール、相談室、図書室、調理実習室、弓道・四半的の道場、屋内ゲートボール場の管理          ・屋内及び敷地内樹木等の維持管理</p> <p>【実績】相談件数、参加人員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用施設</th> <th>利用回数</th> <th>利用延人数</th> <th>使用施設</th> <th>利用回数</th> <th>利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議室</td> <td>93</td> <td>1,559</td> <td>弓道場</td> <td>39</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>ふれあいホール</td> <td>30</td> <td>859</td> <td>四半的場</td> <td>21</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>107</td> <td>3,483</td> <td>屋内GB場</td> <td>1</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>調理室</td> <td>13</td> <td>198</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>相談室</td> <td>14</td> <td>44</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>38</td> <td>168</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>295</td> <td>6,311</td> <td></td> <td>61</td> <td>366</td> <td>合計 6,677</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td>283</td> <td>5,483</td> <td></td> <td>51</td> <td>314</td> <td>合計 5,797</td> </tr> </tbody> </table>							使用施設	利用回数	利用延人数	使用施設	利用回数	利用延人数	会議室	93	1,559	弓道場	39	208	ふれあいホール	30	859	四半的場	21	123	多目的ホール	107	3,483	屋内GB場	1	35	調理室	13	198				相談室	14	44				図書室	38	168				計	295	6,311		61	366	合計 6,677	前年度	283	5,483		51	314	合計 5,797
	使用施設	利用回数	利用延人数	使用施設	利用回数	利用延人数																																																									
	会議室	93	1,559	弓道場	39	208																																																									
	ふれあいホール	30	859	四半的場	21	123																																																									
	多目的ホール	107	3,483	屋内GB場	1	35																																																									
	調理室	13	198																																																												
	相談室	14	44																																																												
	図書室	38	168																																																												
	計	295	6,311		61	366	合計 6,677																																																								
	前年度	283	5,483		51	314	合計 5,797																																																								
<p>【諸会議】          ・地区社協理事会・総会          ・地区民児協定例会、高齢者クラブ会議、障がい者サロン他          ・法律相談、人権相談</p>																																																															
<p>【研修等】          ・酪農ファーム体験学習（搾乳、飲乳、バター作り）          ・認知症学習会          ・おたすけサービス援助員・日常生活支援員研修（調理実習）</p>																																																															
<p>【その他】          ・ピアノ発表会、保育園発表会等施設貸出 ・夏休み木工教室          ・成人式会場として利用 ・劇団とんぼ座公演</p>																																																															
事業成果	<p>【施設利用】          ○ふれあいホール（利用回数7回増、人数347人増）多目的ホール（利用回数22回増、人数347人増）調理室（利用回数4回増、人数81人増）          ・サークル活動（太鼓・コーラス練習）、成人式、ピアノ発表会等利用者の増加          ・地区社協事業酪農ファーム体験学習（搾乳、飲乳、バター作り）を開催（新規事業）          ・新規団体の増2団体（NPO法人桜ます 調理実習及びとんぼ座公演）          ○四半的場の利用増加（利用回数15回増、人数78人増）          ○図書室利用の増加（利用回数25回増、人数97人増）</p>																																																														

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	<b>高城支所</b>	山田支所	高崎支所	事業No.	2-03																																							
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 高城老人福祉館管理運営事業</b>																																													
決算額 (単位：円)	1,768,000	左の財源内訳																																												
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																																							
		市	県社協	市	県社協																																									
				1,768,000																																										
事業概要	<p>高城老人福祉館は、おおむね 60 歳以上の高齢者を対象に開設された集いの場である。社協が指定管理者として受託し、平成 27 年度から令和元年度までが指定期間となっている。</p> <p>高城地区内の高齢者団体・福祉団体等の会合、高城地区社会福祉協議会事務局、各種相談事業の場として提供している。</p> <p>利用料は無料である。</p>																																													
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高城老人福祉館の維持管理及び貸館業務</li> <li>・障がい者サロン・認知症カフェの実施</li> <li>・消防避難訓練</li> </ul>																																													
	<p><b>【利用実績】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>・大集会室</td> <td>82 件</td> <td>719 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・和室</td> <td>1 件</td> <td>4 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・会議室</td> <td>189 件</td> <td>1,644 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・調理室</td> <td>2 件</td> <td>11 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ふれあい相談室</td> <td>15 件</td> <td>44 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>年間合計 平成 30 年度 289 件 2,422 人          (平成 29 年度 232 件 2,161 人)</p>							・大集会室	82 件	719 人						・和室	1 件	4 人						・会議室	189 件	1,644 人						・調理室	2 件	11 人						・ふれあい相談室	15 件	44 人				
・大集会室	82 件	719 人																																												
・和室	1 件	4 人																																												
・会議室	189 件	1,644 人																																												
・調理室	2 件	11 人																																												
・ふれあい相談室	15 件	44 人																																												
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣に開館した生涯学習センターの影響もあり、利用人数は年々減少傾向だが、平成 30 年度は 29 年度に比べ、若干、利用件数及び利用人数は増加した。</li> <li>・利用料が無料であり、毎年利用される団体や、市社協の関係機関等で、ケース会議の開催等もあり、利用件数が微増した。</li> <li>・昭和 50 年の開設であり、建物の老朽化が進み、トイレの水もれ箇所が複数あり、修繕が必要である。</li> </ul>																																													

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	<b>山田支所</b>	高崎支所	事業No.	2-04																								
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 山田総合福祉センター運営管理事業</b>																														
決算額 (単位：円)	2,607,000	左の財源内訳																													
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																								
		市	県社協	市	県社協																										
				2,607,000																											
事業概要	山田総合福祉センター「けねじゅ苑」管理運営事業（指定管理者受託H26-H30）指定管理者として福祉関係団体やグループの会合、各種相談事業や地域住民の福祉の拠点として提供するもの。																														
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営 福祉センターの光熱水道費支出、各種修理、各種リース、警備委託、浄化槽点検</li> <li>・主な利用団体 社協関係、地区社協、民児協、高齢者クラブ、ボランティアグループ 人権・行政相談、無料法律相談、障害者サロン、市役所関係、その他福祉団体</li> <li>・台風時の避難所開設</li> </ul> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ件数及び人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>大会議室A</td> <td>140件</td> <td>3,480人</td> </tr> <tr> <td>大会議室B</td> <td>151件</td> <td>3,796人</td> </tr> <tr> <td>中会議室</td> <td>61件</td> <td>806人</td> </tr> <tr> <td>小会議室</td> <td>104件</td> <td>712人</td> </tr> <tr> <td>保健室</td> <td>8件</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td>調理実習室</td> <td>66件</td> <td>491人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア室</td> <td>222件</td> <td>1,753人</td> </tr> <tr> <td>年間利用件数／人数</td> <td>752件、</td> <td>11,182人</td> </tr> </table>							大会議室A	140件	3,480人	大会議室B	151件	3,796人	中会議室	61件	806人	小会議室	104件	712人	保健室	8件	144人	調理実習室	66件	491人	ボランティア室	222件	1,753人	年間利用件数／人数	752件、	11,182人
大会議室A	140件	3,480人																													
大会議室B	151件	3,796人																													
中会議室	61件	806人																													
小会議室	104件	712人																													
保健室	8件	144人																													
調理実習室	66件	491人																													
ボランティア室	222件	1,753人																													
年間利用件数／人数	752件、	11,182人																													
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の利用者数の13,326人と比べると2,000人（延べ）ほど利用者が減少しているが、地区社協関係の事業で1事業の参加人数が多く、集客力のある総合センターで場所を変えて行うことが減少の原因と考えられる。</li> <li>・山田地区内の地域福祉推進の拠点として定着しており、開かれた施設として地域住民が利用しやすい施設として取り組んできた。</li> <li>・福祉教育の拠点としても利用されており、子どもから高齢者まで幅広く利用できる、地域福祉に欠かせない施設である。</li> </ul>																														

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-05
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 高崎老人福祉館管理運営事業</b>						
決算額 (単位：円)	1,822,028	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	高崎老人福祉館運営事業（指定管理者受託）の指定管理者として、高齢者団体をはじめとする各種福祉団体等に心身の健康の増進を図るため福祉の拠点として提供している。						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理</li> <li>・利用に係る申請受付業務 173件 1,804人</li> <li>・利用に係る許可業務 173件 1,804人</li> </ul>						
	【諸会議】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング、役員会理事会、定例会、総会等 111件 1,131人</li> <li>&lt;内訳&gt;            高齢者クラブ6件162人 民児協13件104人 ヘルパー52件429人            社協3件41人 地区社協9件121人 遺族会6件84人 上下新田V06件84人            生活支援員10件57人 行政4件37人 更生保護女2件12人</li> </ul>						
【研修等】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎支所職員研修 6件 68人</li> </ul>							
【その他】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティア活動、デイサービスセンター運動会等 56件 605人</li> <li>&lt;内訳&gt;            地域ボランティア50件519人 デイサービスセンター5件75人            その他1件11人</li> </ul>							
事業成果	<p>高齢者の社会参加の推進、生きがい対策の促進の場として、高齢者クラブや社協事業の開催、地域の高齢者集会、ボランティア団体等の活用に至った。ただ、利用団体の会員減等もあり、利用者は減少傾向にある。立地として高台にあり高齢者の利用には車がないと不便で、また、駐車スペースの確保も難しい。</p> <p>半面、景観がよいということで地域の憩いの場となっている。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-06
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 高崎介護予防ふれあい交流センター管理運営事業</b>						
決算額 (単位：円)	2,596,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				2,596,000			
事業概要	高齢者の介護予防、生活支援及び生きがいと健康づくりを支援するために設置された高崎介護予防ふれあい交流センター「さわやか館」の指定管理者（期間/平成27年度～令和元年度）として管理運営を行うもの。						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎介護予防ふれあい交流センター「さわやか館」の維持管理および敷地内の維持管理</li> <li>・施設の安全管理</li> <li>・施設利用許可、取り消し（いきいきサロン、会議、講座等）</li> <li>・施設備品の利用許可、取り消し (ヘルストロン利用、健康マッサージ機利用、フットマッサージャー利用、血圧測定器利用)</li> <li>・レクリエーション用品の貸出 (ミニボウリング、だるま落とし、ナンバーストライク)</li> <li>・「さわやかサロン」の設置（コーヒー、お茶等 高齢者等による運営）</li> <li>・総合相談室開設 法律相談（年3回）、子育て相談（毎週水曜日）</li> </ul>						
	【諸会議】						
	【研修等】						
事業成果	【その他】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政による年2回のモニタリング</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやかサロン：自分たちで楽しむことをモットーに高齢者の生きがい作りと健康維持の推進を図る場として「さわやか館」を利用していただいた。 さわやかサロン参加者 延べ940名（前年比92名増）新規参加者3名</li> <li>・健康器具利用：さわやかサロン参加者がメインであるが健康器具だけの利用が4名あった。延べ2,807名（前年比355名増）</li> <li>・総合相談室開設：子育て相談の開始により、利用者増に繋がった。また、相談に訪れた親子に、さわやかサロンの参加者がお茶を出したりして世代間交流も行う事ができた。延べ158名（前年比122名増）</li> <li>・いきいきサロン等：地区社協、ボランティア団体、障害者サロン等がサロンの会場として利用をしていただいた。延べ446名（前年比10名増）</li> <li>・会議、研修等：地区社協、ボランティア団体、高齢者クラブ、その他の団体が会議、研修の会場として利用していただいた。延べ309名（前年比24減）</li> </ul>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-07	
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 地域福祉総合推進事業</b>							
決算額 (単位：円)	13,030,863	左の財源内訳					その他の 補助金等	一般財源
		補助金		受託金				
		市	県社協	市	県社協			
	10,000,000						3,030,863	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社会福祉協議会活動支援 (15 地区)</li> <li>・小地域ネットワーク活動の推進 (15 地区)</li> <li>・都城市地域福祉推進大会の開催</li> </ul>							
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市地区社会福祉協議会連絡協議会及び 15 地区社会福祉協議会活動支援</li> <li>・都城市地域福祉推進大会の開催</li> </ul>							
	<b>【諸会議】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市地区社会福祉協議会連絡協議会事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会 (6 月)      ・理事会 (5 月、3 月)      ・三役会 (5 月、1 月、3 月)</li> <li>・事務局長会議 (6 月、10 月、1 月)</li> </ul> </li> <li>○15 地区社協担当者会議 (月 1 回程度)</li> </ul>							
	<b>【研修等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市地区社会福祉協議会連絡会事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社会福祉協議会役員全体研修会 (H30. 6. 7) 講話「都城市が目指す『我が事・丸ごと』の地域づくり」</li> <li>・生活援助員全体研修会 (H30. 7. 27、8. 1) 講話「傾聴の基本・心構え」実技指導「介護予防体操～体と頭を使って～」</li> <li>・いきいきサロンボランティア等研修会 (H30. 8. 24、27、29) 実技指導「楽しいレクで、脳も体も心もいきいき」</li> <li>・子育て応援ミニフェスタ (H30. 8. 25)</li> <li>・福祉教育・ボランティア学習実践研修会 (H31. 2. 28) 講演「福祉教育がトピックへの期待～発達段階に応じた福祉教育プログラムの意義～」他</li> </ul> </li> <li>○都城市地域福祉推進大会 (H31. 3. 4)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「境界を越え、協働が生み出すもの～新しい可能性と希望を、地域福祉計画へ～」 講師 同志社大学社会学部 教授 永田 祐氏</li> <li>・15 地区揃い踏み！「我が事談義」 「我が事の取り組みと、計画への希望・期待」 発題者 15 地区社協+地区担当      コーディネーター 永田 祐 氏</li> </ul> </li> </ul>							
<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市地区社会福祉協議会連絡協議会事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・15 地区社協活動支援      ・パソコン講座 (年 9 回実施)</li> </ul> </li> </ul>								
事業成果	<p>本年度も第 3 次都城市地域福祉活動計画に基づき、振り返りも行いながら、15 地区の地域福祉活動の実践を行った。また、地域福祉推進大会では、地域住民へ向けた地区活動の発信と振り返りを行い、永田教授から助言・評価をいただき、今後の活動の展開や方向性の再確認ができた。</p> <p>今後も、法人や事業所・関係機関を含む地域全体で共有し解決に導いていく仕組みづくりや各地区活動のさらなる充実に向けて、地区担当者間での情報共有や連携をより図りながら進めていきたい。</p>							

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-08
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 ボランティアセンター活動事業</b>						
決算額 (単位：円)	1,534,957	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
		1,222,000					
事業概要	<p>地域住民のボランティアに関する理解と関心を高め、ボランティア活動の育成支援を行い、地域福祉の増進をはかることを目的に都城市ボランティアセンターを設置する。</p> <p>センターでは、福祉の課題解決に向けて支えあえる地域社会を創造するために、ボランティア活動に関する調査・研究、啓発及び情報の収集・提供、学習及び研修、育成・支援を行う。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の需給調整(個人、団体、企業、施設など)活動支援</li> <li>・ボランティアニーズ調査及び体験事業</li> <li>・相談・斡旋(ボランティア依頼、保険など)</li> <li>・ボランティア情報等の発信</li> <li>・ボランティア養成講座「傾聴ボランティア養成講座」(平成31年3月15日)</li> <li>・県下一斉ボランティアの日(平成30年8/19 福祉施設清掃、個人宅清掃活動)</li> <li>・みやこんじょボランティアフェスティバル2019(平成31年2月3日)</li> <li>・ボランティアセンター運営委員会(平成30年7/26,10/22,平成31年2/15)</li> <li>・土曜日出張相談窓口開設「まちなかボラセン」毎月第3土曜日(4月～12回)</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県市町村ボランティア連絡協議会総会(県社協：平成30年5月26日)</li> <li>・都城市地域ボランティア連絡協議会総会(平成30年6月20日)</li> <li>・都城ボランティア協会総会(平成30年7月5日)</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度社協ボランティアコーディネーター研修会(宮崎市：平成31年3月7日)</li> <li>・宮崎県市町村ボランティア連絡協議会県南ブロック研修会(平成31年3月2日)</li> <li>・平成30年度ボランティアコーディネーション力3級検定(福岡市：平成30年6月30日)</li> <li>・災害ボランティアセンター運営設置訓練職員研修会(平成30年11月18日)</li> <li>・都城市地域ボランティア連絡協議会・都城ボランティア協会・4支所合同研修会(平成31年3月1日)</li> </ul>						
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこんじょボランティアフェスティバル2019企画・運営</li> </ul>						
事業成果	<p>ボランティア活動支援として、地域や学校において出前講座やイオン都城ショッピングセンターにて「まちなかボラセン」を開設し、身近なボランティア活動の周知を行ったことで、若い世代のボランティア登録やシニア世代にもボランティアを知ってもらう機会となった。1年間の来場者数956名、ボランティア登録者数2名、相談が18件あった。</p> <p>ボランティアセンター運営委員会では、地域生活課題を解決するためのボランティア活動について、実態の分析や委員からの意見により方向性を検討することができた。次年度は、さらに多様な分野や団体との連携協働につなげていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 2-09	
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 NPO等協働体制確立事業</b>						
決算額 (単位:円)	3,300,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				3,300,000			
事業概要	<p>NPO支援のための中間支援業務を行うため、市民活動に関する各種相談・助言を行う相談窓口及び電話等による相談業務を行う。</p> <p>また、市民活動に関する情報の収集及び提供、市民活動に関する広報、啓発に関する業務や、団体間の連携に関する行うことによってNPO支援を行う。</p> <p>さらに、NPO及びボランティア活動支援のための情報化を推進するため、圏域内のNPO等を紹介するホームページの作成・運営・管理、ホームページ掲載のためのボランティア活動に関する情報収集、ブログ等の作成支援やIT関係の相談・指導を併せて行う。</p>						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談・斡旋件数 →中間支援関係相談 414 件</li> <li>・助成金情報提供及び申請支援 15 団体</li> <li>・市民活動に関する広報活動支援（ラジオ出演）7 団体</li> <li>・助成金学習会（H30. 4. 17）</li> <li>・NPO法人会計講座（H30. 6. 12）</li> <li>・グラフィックハーベスティング講座（H30. 10. 24）</li> <li>・協働笑談会（H30. 11. 5）</li> <li>・ここカフェ（H30. 10. 24、H31. 1. 18）</li> <li>・チラシ作成講座（H30. 6. 27、8. 8、10. 10、12. 5）</li> <li>・スマートフォンミニ講座 in まちなかボラセン（H30. 7. 21、8. 18）</li> <li>・情報発信講座（H. 31. 1. 18）</li> </ul>						
	<b>【諸会議】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100人m i y a k o n女子会@M a l l m a l l（H30. 6. 17）</li> <li>・宮崎県NPO政策連携会議（H30. 7. 31）</li> </ul>						
	<b>【研修等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度協働力を磨く職員研修（H30. 7. 23）</li> <li>・准認定ファンドレイザー必修研修（H30. 10. 20）</li> <li>・NPO・NGOのためのデータ分析講座（H31. 2. 23）</li> </ul>						
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO中間支援関係機関施設研修「みやざきNPO・協働支援センター」 「MUKASA-HUB」（H30. 8. 1）</li> </ul>						
事業成果	<p>団体の実情に応じた幅広い支援ができるよう各種講座を開催し、専門的な個別相談についても専門職との連携を図り対応を行った。</p> <p>月1回の土曜日の相談窓口の開設を行うことで相談しやすい体制をとったが、NPO市民活動団体からの相談については、効果としての課題は残った。</p> <p>また、協働笑談会を開催し、NPO市民活動団体、企業、行政、地域団体等との交流や協働事業の創出に向けた取り組みを行い、その後の活動が広がった団体もあり、引き続き支援していきたい。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-10
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 福祉教育推進事業</b>						
決算額 (単位：円)	300,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				300,000			
事業概要	学校と地域における福祉教育の推進を図る。また、小・中・高等学校の各段階で効果的な福祉教育を行うために、小中高の教員を構成員とする授業プログラム検討委員会を立ち上げ、発達段階に応じた福祉教育プログラムの開発を行う。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ①各学校における地域と連携した福祉教育の実践 ・地域福祉やボランティア活動、当事者理解に関する講話 ・点字、音訳学習、手話体験、車椅子体験等の体験活動 等 ②発達段階に応じた福祉教育プログラムの検討・ガイドブック案作成 ③高校8校の協働による「ふくしかるた」制作						
	<b>【諸会議】</b> ・都城市社会福祉普及推進校連絡会総会 (H30. 6. 1) ・都城市社会福祉普及推進校連絡会役員会 (H30. 4. 17, 11. 2) ・都城市社会福祉普及推進校連絡会高校部会 (H30. 11. 9)						
	<b>【研修等】</b> ・平成30年度福祉教育推進研修会 (H30. 7. 27) ・平成30年福祉教育セミナー (東京都：H30. 7. 30～31) ・平成30年度地域における福祉教育推進研修会 (日南市：H30. 8. 9) ・日本福祉教育・ボランティア学習学会あいち・なごや大会 (H30. 11. 24～11. 25) ・平成30年度福祉教育・ボランティア学習実践研修会 (H31. 2. 28)						
<b>【その他】</b> ・授業プログラム検討委員会 (6. 12, 7. 26, 8. 21, 9. 21, 10. 29, 1. 15, 2. 28) ・日本福祉教育・ボランティア学習学会あいち・なごや大会自由研究発表 (11. 25) (発達段階に応じた福祉教育プログラム開発に向けた取組みについて)							
事業成果	小中高の発達段階に応じた福祉教育プログラム開発に向け、教員とともに検討を行う中で、各学年の児童の理解度や到達目標を確認し、他教科や道徳の中でも福祉教育プログラム開発の可能性に気づくことができた。また検討委員である教員の意識向上にもつながり各校での実践にも活かされた。さらには福祉教育協力者と意見交換を行う中で、協力者との入念な打ち合わせの必要性やプログラムに取り入れるべき視点、教材開発の必要性が明らかになった。系統的な福祉教育の推進を図るために、小・中・高校間の連携や社協と教育委員会の連携体制の構築、またコーディネータ機能の向上が必要である。 高校生が福祉やボランティアについて考える機会として協働して「ふくしかるた」を制作し、「みやこんじょボランティアフェスティバル2019」でかるた大会を実施し、啓発するとともに、今後地域でも活用できるツールとなった。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** **その他（共募）**

実施箇所	<b>本所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 みやこんじょボランティアフェスティバル 2019</b>						
決算額 (単位：円)	1,458,334	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				1,308,000		150,334	
事業概要	<p>今年、都城市中心市街地中核施設「Mall mall」を会場に、『出会い！発見！ボランティアのチカラ～やっぱりすきからはじめよう～』をテーマに、当フェスティバルをとおして、地域共生社会の実現に向けて、多様なボランティア・市民活動を知り、考え、体験し、実践できることを目的に開催した。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b>          実行委員会：委員          都城ボランティア協会、沖水地区V0連協、都城市地区社協連協、宮崎県防災士ネットワーク都城支部、都城市社会福祉普及推進校連絡会、都城市社会福祉施設等連絡会、福祉べいすんネットワーク、都城市障害者自立支援協議会、住友ゴム工業、オレンジカフェみやこんじょ、都城市福祉課、都城市コミュニティ文化課、宮崎日日新聞社都城支社</p> <p><b>【コーナー内容】</b>          ①ソト・ボラ・pal（ステージ）          ②子育ておうえんコーナー          ③YES・WE・CAN（イエスウィー缶）～目指せ1000缶プロジェクト～          ④災害支援ボランティア情報コーナー～身近に学べる防災豆知識～          ⑤まるまるもりもり          ⑥ボランティアを絵にしてみたよ          ⑦まちづくり市民活動コーナー          ⑧学生プレゼンツ！～ふくしかるた&amp;ライブ授業～          ⑨ものづくり遊びの広場など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式～節分の豆まき、ボランティアイメージ図画表彰式</li> <li>・閉会式～閉会の豆まき</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b>          ・実行委員会第1回（H30.10.10）、第2回（H30.11.19）、第3回（H30.12.11）、第4回（H31.1.22）、第5回（h31.3.20）          ・参加団体説明会（H30.12.17）</p>						
事業成果	<p>例年開催している3月の時期から2月へ会場を中心市街地に移し、参加団体延べ78団体、学生ボランティアと一般ボランティア225名の参加と来場者約6,000名を集め開催した。図書館や子育て支援センターなどが隣接しているため、子育て世帯や一般の方も多く参加し、市民活動の活動報告やトークセッション、缶詰持ち寄りやリユース企画により、地域の課題を意識し誰もが役割をもつことを考える機会にもなった。場所変更により、図書館や子育て支援センター等の周辺施設を利用する若い世代や福祉やボランティアに関係の薄い人々との接点・交流の場となった。</p> <p>また、認知症地域支援推進員（ぼんちメイト）と図書館とのコラボによりオレンジ図書館や認知症をテーマに周知啓発等も行い、新たな取り組みが生まれ、障害者スポーツを紹介する取り組みなど団体同士が協働することもできた。</p> <p>さらに、学生企画として「ふくしかるた」の作成や、イメージ図画募集、ボランティアのライブ授業で、ふくしやボランティアを考えるきっかけとなった。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-11
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 認知症地域サポーター支援事業</b>						
決算額 (単位:円)	4,384,453	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				4,384,453			
事業概要	認知症の方やその家族が住み慣れた地域で、安心して豊かに自分らしく暮らし続けることができるとともに、認知症の方やその家族に対する理解が深まり、地域全体で支える仕組みづくりを行うことを目的とし、事業を推進する。						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポート体制整備推進会議</li> <li>・認知症コーディネーターの配置</li> <li>・認知症見守りネットワーク構築（オレンジカフェの周知・啓発）</li> <li>・認知症サポーター養成（新規開拓）</li> <li>・キャラバン・メイトのフォローアップ研修</li> <li>・認知症家族支援プログラム「なごみ会」の開催</li> <li>・認知症講演会の実施</li> </ul>						
	【諸会議】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業推進のための定期協議（年12回開催）</li> <li>・認知症地域支援推進員部会への参加（年12回）</li> <li>・オレンジカフェ推進会議への参加（随時）</li> <li>・認知症サポート体制整備推進会議の開催（年3回）</li> <li>・ぼんちメイト会議の開催（年14回）</li> </ul>						
【研修等】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケア研修（1名参加）</li> <li>・認知症地域支援体制作りのための研修（1名参加）</li> <li>・認知症の人とともに暮らす地域づくりセミナー（1名参加）</li> </ul>							
【その他】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーターのつどい in みやこんじょボランティアフェスティバル2019（オレンジ図書館、認知症サポーター養成講座、オレンジカフェの開催）</li> </ul>							
事業成果	<p>今年度は「ぼんちメイト会議」を通して研修等の企画・運営を行い、事業展開を行うことができた。</p> <p>そのなかで、初めての試みとして「認知症サポーターのつどい in みやこんじょボランティアフェスティバル2019」を実施し、キャラバン・メイトのネットワークが構築されたとともに（キャラバン・メイトにボランティアとして活動してもらった）、子どもから大人まで幅広い世代に認知症について知ってもらえる良い機会となった。</p> <p>一方で、正確なサポーターの参加数も把握できなかったという課題もみえてきたため、次年度は“認知症サポーターのネットワーク構築”にも力を入れていきたい。また、「認知症になっても安心して住めるまち」を目指して、各関係機関と連携を図りながら、認知症支援体制のさらなる充実を図っていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-12
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 ファミリー・サポート・センター事業</b>						
決算額 (単位:円)	9,053,660	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				9,053,660			
事業概要	<p>地域において、育児などの援助を受けたい方（利用会員）と援助を行いたい方（援助会員）からなる会員組織で、会則に基づく相互援助活動を実施する。        * 双方会員の研修と登録 * 援助活動の連絡調整 * 会員情報データ管理 * 情報の提供・活動の周知 * 交流会・フォローアップ研修の企画と開催</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <p>① 双方（利用・援助）会員の募集及び登録事務、並びに会員情報データ管理        ② 援助活動の調整／顔合わせ及び援助活動依頼に伴う援助会員の連絡調整        ③ 援助会員養成講座（全6回24時間）の開催／6月・1月        ④ 情報紙『リンク・リング』の発行／5月・12月        ⑤ 「子育て応援ミニフェスタ」開催(情報交換会)／8月        ⑥ 「子育て孫育て応援講演会」開催（フォローアップ研修会）／10月        ※⑤⑥は都城市地区社会福祉協議会連絡協議会・都城市社会福祉協議会子育て応援課との共同事業        ⑦ 病児・病後児援助活動の実施に向けた体制の構築        ⑧ 報酬補填額の計上</p>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <p>① 定期協議：保育課との定期協議／月1回の開催        ② ファミリー・サポート・センター全国交流集会／10月        ③ 宮崎県ファミリー・サポート・センター担当者研修会／11月・2月        ④ 病児保育推進会議／12月</p>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <p>① 援助会員養成講座／新規登録者数5名        ② 「子育て応援ミニフェスタ」／参加者数151名        ③ 「子育て孫育て応援講演会」／参加者数103名        ④ フォローアップ研修（病児・病後児援助活動援助会員養成）／7月・3月</p>						
	<p><b>【その他】</b></p> <p>① 視察研修受入：鹿屋市ファミリー・サポート・センター／2月        “ ”：日向市ファミリー・サポート・センター／3月        ② 病児・病後児援助活動事前説明会／3月</p>						
事業成果	<p>今年度は「病児・病後児緊急対応強化事業」の平成31年4月スタートに向けて、行政担当課と密に連携をとりながら、丁寧かつ着実に準備を進めた。        まず、「病児・病後児緊急対応強化事業」実施に必須である24時間カリキュラムの援助会員養成講座を実施するとともに、既存の援助会員にフォローアップ研修を受講してもらうことで病児・病後児援助活動に対応できる援助会員を養成した。        また、都城市北諸県郡医師会（小児科医科部会）を通じて、医療アドバイザーの選任・委託及び病児・病後児援助活動への理解や事業の周知等を進め、協力体制を構築した。        次年度は、病児援助活動を開始することで活動件数の増加が見込まれるので、関係機関との連携をなお一層密にしながら、本事業の円滑な運営に努めていきたい。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 2-13-1	
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 福祉バス運行事業（本所）</b>						
決算額 (単位：円)	5,004,676	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	5,004,676						
事業概要	<p>昭和 54 年身体障害者福祉バスが導入され、市の補助事業として社協で福祉バスを運行している。バス（定員 28 人）は、地域における社会活動参加を促進するため、福祉団体が次の事業を行う場合に限り利用することができる。</p> <p>(1)各種講習会及び研修会          (2)スポーツ及びレクリエーション          (3)福祉の増進を図るための事業          (4)社会福祉協議会が行う事業          (5)その他社会福祉協議会事務局長が必要と認めた事項</p>						
事業内容	<b>【運行実績：本所】</b>						
	月	回	利用団体	利用人員	走行距離	消費燃料	
	4	1	都城市社会福祉協議会	1名	14 km	00	
	5	8	都城市民生委員児童委員協議会他 7 件	142名	783 km	1550	
	6	11	沖水地区民生委員児童委員協議会他 10 件	197名	1,128 km	2140	
	7	8	都城市社会福祉協議会他 8 件	119名	647 km	1350	
	8	7	小松原地区社会福祉協議会他 6 件	150名	1,081 km	2210	
	9	10	都城点訳・音訳友の会他 9 件	203名	1,619 km	2850	
	10	10	都城市共同募金委員会他 9 件	173名	917 km	1520	
	11	8	さくら聴覚支援学校他 7 件	183名	1,131 km	1780	
	12	3	薄谷いたつみろ会他 2 件	64名	175 km	380	
	1	6	都城市社会福祉協議会他 5 件	86名	424 km	760	
	2	7	都城市ファミリー・サポート・センター他 6 件	129名	1,494 km	3520	
	3	4	山田学校支援ボランティアの会他 3 件	60名	471 km	1060	
	計	83		1,507名	9,884 km	1,9120	
				34-50 (4~1月)	12-22 (2~3月)		
		・年間稼働日数	83日	72日	11日		
		・年間乗車人員数	1,507名	1,318名	189名		
		・年間走行距離	9,884 km	7,919 km	1,965 km		
		・年間消費燃料	1,9120	1,4540 (軽油)	4580 (ガソリン)		
		・10あたり走行距離	5.17 km	5.45 km	4.29 km		
事業成果	<p>利用団体の利用申請に基づき、適正なバス運行を図った。利用団体からは概ね、高い評価をいただいた。また、運行にかかる事故もなく安全運転が励行できた。</p> <p>宮崎都城信用金庫創業 100 周年記念による福祉バスの寄贈が昨年度に行われ、平成 31 年 2 月納車以降、新たな車両での福祉バス運行事業となっている。乗り心地や安全性で、さらに評価が高まっている。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-13-2
事業名	地域福祉活動推進事業拠点区分 福祉バス運行事業（高城）						
決算額 (単位：円)	5,004,676	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	5,004,676						
事業概要	高城支所福祉バス（定員 28 名） 地域における社会活動参加を促進するため、福祉団体が次の事業を行う場合に限り利用することができる。 (1) 各種講習会及び研修会 (2) スポーツ及びレクリエーション (3) 福祉の増進を図るための事業 (4) 社会福祉協議会が行う事業 (5) その他社会福祉協議会事務局長が必要と認めた事項						
事業内容	【運行実績】						
	月	回	利用団体	利用人数	走行距離	消費燃料	
	4	2	高城地区高齢者クラブ連協他	39名	251 km	430	
	5	6	高城地区高齢者クラブ連協他	100名	982 km	1340	
	6	9	更生保護女性会高城支部他	183名	889 km	1380	
	7	7	高崎上椎屋いきいきサロン他	124名	1,151 km	1800	
	8	2	山之口民児協他	36名	296 km	580	
	9	4	高城地区社会福祉協議会他	149名	587 km	550	
	10	11	高城地区高齢者クラブ連協他	226名	1,524 km	2320	
	11	11	高城地区高齢者クラブ連協他	218名	1,438 km	2270	
	12	4	高城地区高齢者クラブ連協他	74名	204 km	310	
	1	2	高城地区高齢者クラブ連協他	46名	114 km	0	
	2	5	更生保護女性会山之口支部他	93名	624 km	930	
	3	7	山之口ガールスカウト22団他	76名	334 km	640	
	計	70		1,364名	8,394 km	1,2550	
事業成果	○年間運行日数／ 70日 ○年間乗車人員数／1,364名 ○年間走行距離／8,394 km ○年間消費燃料 /1,255 0 ○10あたり走行距離／6.69 km  4支所内の高齢者団体や福祉団体に対し、福祉バスの運行を実施しており、これら団体の社会活動参加を促進した。 平成31年2月に、本所が宮崎都城信用金庫より新しい福祉バスの寄贈を受けた。これに伴い、従来の高城支所福祉バスを売却し、本所より移管した福祉バスを高城支所の福祉バスとして運行することになった。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-14
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 生活おたすけサービス事業</b>						
決算額 (単位：円)	1,921,965	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				1,510,400			411,565
事業概要	在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、日常生活上の軽度な援助（居室内の掃除や日常生活用品の買い物等）を行い、自立した生活の継続、要介護状態への進行を防止する。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・利用者や援助員等の需給調整 ・登録援助員の資質向上のための研修 ・生活援助員の意見交換会 ・新規生活援助員養成講座						
	<b>【諸会議】</b> ・サービス開始に伴う調整会議 ・サービス終了に伴う終了会議 ・介護保険課及び関係機関等との協議						
	<b>【研修等】</b> 1. 平成30年度生活援助員全体研修会（7/27, 8/1）参加者：61名 ①報告「生活おたすけサービスの現状とこれから」 ②講話「傾聴の基本・心構え」 講師 傾聴ボランティア「うさぎの耳」 由川 豊和 氏 ③実技指導「介護予防体操～体と頭を使って～」 講師 NPO 法人高城スポーツクラブ 神河 美樹 氏 2. 平成30年度生活援助員全体会／参加者：68名 ①報告「生活おたすけサービスについて」 ②交流・情報交換会 3. 生活援助員養成講座／5回開催（登録者数40名） 都城市全域4回、高城有水地区1回						
	<b>【実績】</b> ・年間延べ利用者数 437 名（内、新規利用件数/17件） ・年間延べ派遣回数 1,673 回 ・年間延べ派遣時間数 1,888 時間 ・生活援助員登録者数 176 名（平成31年4月15日現在）						
事業成果	新規利用者が月平均1.5件あり、今後生活援助員の安定した確保も必要になるため、生活援助員の養成講座を5回行い、計40名の新規登録があった。 新たな取り組みとして、「生活援助員全体会」を行い、生活援助員としての再認識、情報交換会の場、また他のサービスも紹介することで、当事業にかかわらず様々な地域での支えあい活動についてリクルートすることができた。情報交換会を行ったことで、現在活動がある生活援助員は今後のより良い活動への励みに、活動がない生活援助員にとっては今後に向けてのヒントになったという声が上がった。 また、サービス終了時のフォロー体制として、本人を含めた関係者と終了会議を行い、本人の意思の再確認、生活する上での困りごとの共有を行うことで、地域での見守り等の支援へのつなげることができた事例もあった。						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 2-15	
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 日常生活自立支援事業</b>						
決算額 (単位:円)	8,052,060	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協	6,010,160	2,041,900
事業概要	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方に、福祉サービス利用のための一連の援助や、日常的な金銭管理、書類の預かりなどを行い、地域で安心した生活が継続できることを目的に本事業を実施する。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・利用に伴う相談援助 ・福祉サービス利用援助（苦情解決相談を含む） ・日常的な金銭管理サービス ・書類等預かりサービス						
	<b>【諸会議】</b> ①契約締結判定会 12回 23件 ②都城圏域就労支援担当者会議への出席 4回 ③居住サポート事業関係機関連絡会議への出席 2回 ④専門員業務会議、打合せ会への出席（県社協実施）4回 ⑤個別ケースの支援会議への出席 72回						
	<b>【研修等】</b> ①専門員実践力強化研修への参加（H30.7.17～7.18、全社協） ②専門員・生活支援員合同研修会への参加（H31.2.27、県社協） ③都城・三股地区生活支援員合同研修会開催（H30.8.3、山下興一郎氏による講演） ④生活支援員養成講座（H30.6.22、11.7、3.14 計7名養成）						
事業成果	<b>【その他】</b> ①宮崎県社会福祉協議会による総点検の実施 ②地域福祉諸事業と連携し事業を周知						
	<p>本事業の利用者数は、平成30年度の1年間で93名から103名へと増加している。利用者のうち1名は自立可能を理由とした解約となり、自立に向け支援回数を減らすことができ、地域ニーズへの対応と、自立を支援するという2点を意識して事業を推進することができた。</p> <p>また、本年度より地区担当者に契約締結判定会の委員として出席してもらい、民生委員へつなぐきっかけを作るなど、地域との関わりを生み出す役割を担うことができた。支え手となる生活支援員に関しては、本年度7名の養成を行い3名が活動を開始している。養成講座だけでなく生活おたすけサービスの援助員養成講座や研修会に参加し、事業の周知や生活支援員への呼びかけを行った。</p> <p>本年度の課題として、専門員支援が多く生活支援員へケースを移行できていないことが挙げられる。生活支援員の活躍は地域の支え合いの推進となるものであり、今後は生活支援員による支援を増やし、利用者の地域との接点としていきたい。また、都城市は宮崎県内でも最も利用者が多い現状にあり、支援計画の評価が不十分である。モニタリングを行い、成年後見への移行や自立に向けた支援回数の調整など、利用者それぞれに合った計画の見直しを実施する必要がある。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-16
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 福祉後見活動事業</b>						
決算額 (単位：円)	7,448,749	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							7,448,749
事業概要	<p>認知症高齢者や知的障がい者あるいは精神障がい者等の判断能力の不十分な方々に対して、財産の管理や身上監護（介護施設への入退所など生活について配慮すること）についての契約、法律行為などを代行する成年後見制度の法人による受任や利用支援及び啓発を行う。</p> <p>また、成年後見の対象者にならに判断力のしっかりした方で、都城市市内に親族がいない場合や居ても身体的・経済的な事情で支援が困難な状態や、関係が破たんしている方に対して契約に基づいて入所や入院の保証人機能や日常生活の見守りや財産の管理や身上監護（介護施設への入退所など生活について配慮すること）について、ご本人に寄り添って支援する「都城みらいあんしん支援事業」を実施している。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <p>■成年後見制度利用援助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見申立支援／0件</li> </ul> <p>■受任状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見受任中／7件</li> <li>・委任事務契約（任意後見）／1件</li> <li>・都城みらいあんしん支援事業契約者支援／1件</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見審査委員会（H30.12.21）</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都城市成年後見ネットワーク会議への出席           <ul style="list-style-type: none"> <li>①通常総会：5/24、3/25</li> </ul> </li> <li>・成年後見制度意見交換会、出張相談会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①8/18：沖水、志和池、高城、高崎 12件</li> <li>②2/16：姫城、横市、小松原 36件</li> </ul> </li> <li>・都城市成年後見制度利用促進基本計画素案作成（9.17素案完成）           <ul style="list-style-type: none"> <li>①企画編集会議：H30.6.20、6.28、7.4、7.19、8.8、8.21 6回</li> </ul> </li> <li>・役員会</li> </ul>						
事業成果	<p>社会福祉法人として後見人等を担うことで、判断能力の不十分な方の権利擁護や信頼性と安心感を高めることができた。また、成年後見ネットワーク会議の委員として、意見交換会・出張相談会等に参加し相談業務や広報活動などを積極的に行い、さらに裁判所等をはじめ関係機関とのネットワークを構築することができた。</p> <p>今後は、ますます進行する高齢化や認知症高齢者の増加、障がいがある方の親亡き後の問題等について相談・助言等の出来る機関としての権利擁護センターの設置に向けた定期的な協議が必要かと思われる。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-17
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 生活自立相談センター事業</b>						
決算額 (単位：円)	14,561,919	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				14,531,919	30,000		
事業概要	<p>経済的困窮のほか生活意欲の低下や地域社会からの孤立など複合的な課題を抱えて生活する困窮者に対し、分野を超えた様々な専門職や関係機関、地域社会などと連携しながら、包括的・継続的な相談支援を行い、経済的かつ社会的自立を促進していく。また、相談者個人に応じた自立が獲得できるよう、様々な社会資源を活用・開発しながら地域の中での居場所や自分らしく活躍できる場を創出し、役割を持った生活が送れることを支える事業である。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立相談支援事業</li> <li>・住居確保給付金事業</li> <li>・商品券支給（貸与）事業</li> <li>・フードバンク事業</li> <li>・民間支援団体と協働した生活支援の実施</li> <li>・みやこんジョブセミナー（就労準備プログラム全3回）</li> <li>・子どもの生活、学習支援事業</li> <li>・事例検討会／山下道場：全2回</li> <li>・社会福祉法人の地域貢献活動の推進</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者自立支援事業定期協議、支援調整会議、庁内連絡会議</li> <li>・生活保護受給者等就労自立促進事業協議会（一体的実施事業運営協議会含む）</li> <li>・都城市要保護児童対策地域協議会実務者会議</li> <li>・生活困窮者自立支援制度福祉事務所等連絡会議（県主催：法一部改正に係る）</li> <li>・都城市地域貢献連絡協議会、コミュニティソーシャルワーカー意見交換会</li> <li>・山田地区生活課題検討会議（全3回）</li> <li>・相談支援包括化推進会議（全3回）</li> <li>・九州電力、弁護士との意見交換会</li> <li>・都城こども未来応援連絡会（全3回）</li> <li>・その他、事業を推進する上で必要な会議</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者自立支援全国研究交流大会（熊本県）</li> <li>・市町村社協生活福祉資金担当職員事務説明会（県社協）</li> <li>・生活困窮者自立相談支援従事者研修（県）</li> <li>・生活困窮者支援フォーラム</li> <li>・第24回地域福祉実践研究セミナーin愛知・半田</li> <li>・みやざき安心セーフティネット事業・相談員研修（県）</li> <li>・社会福祉法人連携支援事業取組事例報告会（県）</li> <li>・子どもの未来応援国民運動シンポジウム</li> <li>・子ども食堂勉強会</li> <li>・その他、事業を推進する上で必要な研修</li> </ul>						
事業成果	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座および意見交換会（社会福祉法人、商工会、企業、民児協など全9か所）</li> <li>・みやこんじょ協働笑談会での啓蒙活動</li> </ul>						
	<p>生活困窮者の実態や支援が必要な根拠等を出前講座や意見交換会、庁内連絡会、地域貢献連絡協議会などの場でいねいに示し、周知・啓発活動に力を入れた。そのことで新規相談者が昨年度141名から292人と約2倍に伸び、入り口拡充対策が機能した。一方で、就労決定者は昨年度54人から38人と減少しているため、相談者個人々の適性や状態に応じた働き方の実現や、就労前の準備支援、体験の場の開拓に向けて、社会福祉法人やNPO法人、企業等に協働を訴えながら、出口対策（探し、作り）の拡充を目指していく。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-18
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 生活福祉資金貸付事業</b>						
決算額 (単位：円)	810,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
			810,000				
事業概要	生活福祉資金制度は、民生委員児童委員の訪問活動から設立された制度であり、低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に対して、目的に沿った形での貸付を行っている。貸付世帯への助言等を通して、経済的自立と生活意欲の促進を図っている。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b>						
	○貸付実績						
	都城本所	貸付件数 4 件 (貸付額：7,264,000 円)					
	内訳	総合支援資金 (生活支援費 0 件：0 円) (住宅入居費 0 件：0 円) (一時生活再建費 0 件：0 円) 福祉資金 (0 件：0 円) 緊急小口資金 (1 件：93,000 円) 教育支援資金 (2 件：367,000 円) 要保護世帯向け不動産担保型貸付資金 (1 件：6,804,000 円)					
	山之口支所：教育支援資金貸付 (1 件：163,000 円)						
	高城支所：福祉資金貸付 (1 件：45,000 円)						
	山田支所：貸付件数 (0 件：0 円)						
	高崎支所：貸付件数 (0 件：0 円)						
	<b>【諸会議】</b>						
	なし						
	<b>【研修等】</b>						
	「生活福祉資金担当職員事務説明会」県社協 (H30.7.3)						
	<b>【その他】</b>						
	なし						
事業成果	<p>本資金の貸付件数は年々減少傾向だが、相談件数は一定数維持している。多重債務や要件に該当しない相談者は自立相談支援機関との連携により支援を実施している。</p> <p>今年度も教育支援資金の借受人等と夏休み親子面談を実施し、中途退学や卒業後のスムーズな償還、信頼関係構築に繋がったほか、本面談を通じて借受人に学習支援事業のボランティアに協力いただいた事例もある。</p> <p>一方で、新規相談者において、学校等への納入時期が非常に切迫した時点での教育支援資金借入相談があり、貸付決定が期限までに間に合わない恐れがあった。そのため、次年度は改めて教育委員会や学校、民生委員児童委員や行政などに事業説明を行い、スムーズな貸付に向け周知啓発を実施する。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 2-19	
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 生活福祉資金利子補給事業</b>						
決算額 (単位：円)	99,710	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	99,710						
事業概要	生活福祉資金の借受者に対し、利子の負担の軽減及び状況把握を図るために、期限内償還分の利子を補給する。						
事業内容	<b>【実績】</b> ◆補給対象者要件（以下2点の要件を満たすもの） 1) 対象期間一度の遅れもなく償還計画どおりに償還をした者 2) 対象期間本市に住所があり、住民票にて確認ができる者 ※上記要件を2つとも満たす者を対象とし、申請書の提出があった者に利子補給を行う。						
			内 訳				
	本人補給金額	99,710円	受取者17名				
	振込手数料	0円	振込に伴う手数料は受取者負担のため				
	合 計	99,710円					
	◆平成30年度対象期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日						
	<b>【研修等】</b> なし						
	<b>【その他】</b> なし						
事業成果	前年度に引き続き、年度1回の補給金振込対応にて利子補給を行った。対象者にも交付方法が定着しており、再度変更を求める要望もない。以前、仕事等の理由で補給金の受取来所が困難であった対象者などにも確実に交付できているため、非常に効率のよい取り組みといえる。 次年度も同様の交付方法で実施していくとともに、補給対象が増えるように償還指導及び継続した支援を展開していく必要がある。						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-20																																																																										
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 たすけあい資金貸付事業</b>																																																																																
決算額 (単位：円)	272,758	左の財源内訳																																																																															
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源																																																																										
		市	県社協	市	県社協		272,758																																																																										
事業概要	<p>目的：日常生活の不時の出費の困難な者に必要な資金を貸し付け、もって民生の安定を図るための資金</p> <p>貸付対象：①低所得のため、不時の出費等によって生活を脅かされる恐れのある者 ②自立更生に必要な資金の融通を外から受けることが困難な者</p> <p>貸付条件：原則3万円を上限とし、連帯保証人1名と担当民生委員の承認を必要とする。また、償還期限は1年以内とする。</p>																																																																																
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>◆前年度繰越 件数 236 件 金額 4,712,560 円</p> <p>【貸付及び償還実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月</th> <th colspan="2">貸 付</th> <th colspan="2">償 還</th> </tr> <tr> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>1</td><td>30,000</td><td>4</td><td>23,000</td></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td>80,000</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td><td>3,000</td><td>4</td><td>35,000</td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>26,000</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td><td>10,000</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>1</td><td>20,000</td><td>5</td><td>44,000</td></tr> <tr><td>11</td><td>1</td><td>30,000</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>12</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td><td>50,000</td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>20,000</td><td>6</td><td>35,500</td></tr> <tr><td>3</td><td>2</td><td>33,000</td><td>4</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>11</td><td>226,000</td><td>31</td><td>230,500</td></tr> </tbody> </table> <p>◆次年度繰越 件数 234 件 金額 4,708,060 円</p>							月	貸 付		償 還		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	4	1	30,000	4	23,000	5	3	80,000	0	0	6	1	3,000	4	35,000	7	0	0	0	0	8	0	0	3	26,000	9	1	10,000	0	0	10	1	20,000	5	44,000	11	1	30,000	0	0	12	0	0	5	50,000	1	0	0	0	0	2	1	20,000	6	35,500	3	2	33,000	4	17,000	合 計	11	226,000	31	230,500
月	貸 付		償 還																																																																														
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)																																																																													
4	1	30,000	4	23,000																																																																													
5	3	80,000	0	0																																																																													
6	1	3,000	4	35,000																																																																													
7	0	0	0	0																																																																													
8	0	0	3	26,000																																																																													
9	1	10,000	0	0																																																																													
10	1	20,000	5	44,000																																																																													
11	1	30,000	0	0																																																																													
12	0	0	5	50,000																																																																													
1	0	0	0	0																																																																													
2	1	20,000	6	35,500																																																																													
3	2	33,000	4	17,000																																																																													
合 計	11	226,000	31	230,500																																																																													
事業成果	<p>今年度は、本資金の貸付ではなく、食べ物等の現物給付にて支援を行うケースが多く、貸付対応が厳しい方には、現物給付（米、缶詰類）により次の収入日までの食の支援等を行った。よって、貸付による負債を負わずに済み、経済的な自立支援に影響した。また、生活保護に伴う貸付相談も一定数あるため、関係機関との連携は今後も必須としていきたい。</p> <p>(貸付・償還の件数と金額は、本所・支所の合計金額)</p>																																																																																

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-21
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 子育て応援助成事業</b>						
決算額 (単位：円)	左の財源内訳						
	補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源	
	市	県社協	市	県社協		367,296	
事業概要	子育て応援に取り組んでいる団体の活動に要する資金を助成し、活動の更なる充実を図ることを目的とし、実施する。審査会を開催後、交付決定。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ○子ども子育て応援基金活用事業 市内において地域ぐるみで子育て支援活動を実施している団体や、新規で活動を実施する団体に対する事業助成。また、何らかの援助が必要なケースに対する個別助成。 <b>【実績】</b> 市内の子育てに関わる4団体、4事業に対して、合計358,000円を助成 事業助成コース ・紙芝居まねきねこの会/紙芝居上演による子ども達や高齢者の共感活動と紙芝居図書館日本一のまちづくり事業/108,000円 ・「子どもまんなかコミュニティ」実行委員会/子どもまんなかコミュニティ事業/100,000円 ・みらい創造舎/ひとり親家庭等への支援事業(夕食・朝食・生活)/100,000円 ・読み聞かせサークル/小学校(沖水学校)での読み聞かせ活動/50,000円						
	<b>【諸会議】</b> ・局内検討会議 ・公開プレゼンテーション審査会 ・助成事業審査委員会						
	<b>【研修等】</b>						
	<b>【その他】</b>						
事業成果	地域福祉推進のための子育て支援活動や制度の谷間にある活動に対して必要な助成が行えるよう、周知を行った。 団体への事業助成に関しては、プレゼンテーションによる審査と申請書類による事前審査で助成を審査しており、本基金の目的に沿った助成を行う上でも重要である。今後は、個別ケースに対しても柔軟に対応するため関係機関への周知と連携を図っていきたい。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 **その他（共募）**

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-22
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 歳末たすけあい助成金事業</b>						
決算額 (単位：円)	左の財源内訳						
	補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源	3,236,596
	市	県社協	市	県社協			
事業概要	12月1日～31日の1ヶ月間に共同募金委員会が実施する募金運動に伴う助成事業。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> 助成内訳						
	<b>【都城】事業名</b>	事業内容	助成額(円)	件数			
	在宅福祉サービス事業	低所得障がい者住環境整備補修事業	127,761	1			
	在宅福祉サービス事業	低所得日常生活支援事業	464,707	14			
	在宅福祉サービス事業	年末年始地域福祉活動事業	693,000	28			
	地域福祉サービス事業	低所得者生活支援事業	289,191	12			
	地域福祉サービス事業	災害対策事業	706,137	4			
	地域福祉サービス事業	高齢者見守り、訪問活動	205,000	2			
	地域福祉サービス事業	ふれあい交流事業	575,000	3			
	地域福祉サービス事業	学校支援ボランティア活動事業	25,000	1			
	地域福祉サービス事業	低所得者生活支援事業	120,108	3			
	合 計		3,205,904	69			
	<b>【研修等】</b>						
<b>【その他】</b>							
事業成果	<p>各機関に早めの周知を行い、地域包括支援センター、行政、関係施設とも連携をとりながらニーズ調査を依頼し、助成を行った。</p> <p>個別助成のニーズが増加している中で、赤い羽根共同募金の助成と似通った申請も多くあり、本来の歳末たすけあい募金の趣旨に沿うような助成の在り方についての周知が必要である。</p> <p>個別助成においては、一過性の助成だけでなく各機関と連携し、社会資源を活用することで歳末助成に留まらない体制づくりの推進に努めたい。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-23															
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 緊急援護等事業</b>																					
決算額 (単位：円)	290,000	左の財源内訳																				
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源															
		市	県社協	市	県社協		290,000															
事業概要	社会福祉法人都城市社会福祉協議会災害見舞金支給要綱に基づき、都城市内で火災などの災害に遭われ、住宅などに損害が生じた方に対し、災害見舞金を支給するものである。																					
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b>          ・都城市内で一般火災及び暴風・洪水・地震その他の自然現象により生じた住宅などに損害が生じた方に対し、災害見舞金を支給。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">被災の内容</th> <th>災害見舞金の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">災害</td> <td>世帯員が全員死亡した場合</td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>住居の全体が消失（全壊、流失のすべてを含む）した場合</td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>床上浸水による被災の場合</td> <td>3万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災</td> <td>住居が全焼または全損した場合</td> <td>5万円</td> </tr> <tr> <td>住居が半焼または半損した場合</td> <td>3万円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※都城市社会福祉協議会災害見舞金支給要綱抜粋</p> <p><b>【実績】</b>          ○火災見舞い          本所管内 : 4件 (200,000円) ※全焼/4件          ○台風24号災害          本所管内 : 3件 (90,000円) ※床上浸水</p> <p><b>【諸会議】</b></p> <p><b>【研修等】</b></p> <p><b>【その他】</b></p>							被災の内容		災害見舞金の額	災害	世帯員が全員死亡した場合	10万円	住居の全体が消失（全壊、流失のすべてを含む）した場合	10万円	床上浸水による被災の場合	3万円	火災	住居が全焼または全損した場合	5万円	住居が半焼または半損した場合	3万円
被災の内容		災害見舞金の額																				
災害	世帯員が全員死亡した場合	10万円																				
	住居の全体が消失（全壊、流失のすべてを含む）した場合	10万円																				
	床上浸水による被災の場合	3万円																				
火災	住居が全焼または全損した場合	5万円																				
	住居が半焼または半損した場合	3万円																				
事業成果	今年度は、火災に加え台風による床上浸水による被災者に対しても見舞金の支給を行った。 被災者の支援については、見舞金だけでなく継続的な支援も必要である。																					

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 2-24																																																
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 低所得者対策事業</b>																																																					
決算額 (単位：円)	6,000	左の財源内訳																																																				
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																																															
		市	県社協	市	県社協																																																	
	6,000																																																					
事業概要	歩行に堪えない行路中の病人であって、療養の途を持たず、かつ、救護者のいない者への援助事業。																																																					
事業内容	<p><b>【実施する事業内容】</b>          歩行に堪えない行路中の病人であって、療養の途を持たず、かつ、救護者のいない者への援助事業。(原則として、本所：1 駅 1, 0 0 0 円、支所：5 0 0 円支給) 運用については、市保護課と連携している。</p> <p><b>【実績】</b>          都城 本所：8 件/32,000 円 (内 3 件 返金 26,000 円)          山之口支所：0 件          高城 支所：0 件          山田 支所：0 件          高崎 支所：0 件</p> <p><b>【各月ごとの状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額 (円)</th> <th></th> <th>件数</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月</td> <td></td> <td></td> <td>10 月</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 月</td> <td>2</td> <td>15,000</td> <td>11 月</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 月</td> <td></td> <td></td> <td>12 月</td> <td>1</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>7 月</td> <td>2</td> <td>2,000</td> <td>1 月</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 月</td> <td>3</td> <td>14,000</td> <td>2 月</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 月</td> <td></td> <td></td> <td>3 月</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>8</td> <td>32,000</td> </tr> </tbody> </table>							件数	金額 (円)		件数	金額 (円)	4 月			10 月			5 月	2	15,000	11 月			6 月			12 月	1	1,000	7 月	2	2,000	1 月			8 月	3	14,000	2 月			9 月			3 月						合計	8	32,000
	件数	金額 (円)		件数	金額 (円)																																																	
4 月			10 月																																																			
5 月	2	15,000	11 月																																																			
6 月			12 月	1	1,000																																																	
7 月	2	2,000	1 月																																																			
8 月	3	14,000	2 月																																																			
9 月			3 月																																																			
			合計	8	32,000																																																	
事業成果	<p>※都城本所にて予算一括管理          本所管内一駅 1,000 円、支所管内 500 円の支給であるが、全体的に件数が減少してきている。</p>																																																					

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	2-25
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 介護保険生活支援体制整備事業</b>						
決算額 (単位：円)	4,202,078	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
		4,202,078					
事業概要	第2層（中学校区）圏域において、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続していくことが出来るよう生活支援コーディネーターを配置し、地域の生活課題の把握や、さまざまなサービス提供主体の把握・創出、関係機関との連携等を図り、第2層圏域での生活支援体制整備を推進する。						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーターの配置</li> <li>生活支援コーディネーター情報交換会の実施</li> <li>都城市介護保険生活支援体制整備事業報告会の実施</li> <li>第2層圏域での協議に関する事</li> </ul>						
	【諸会議】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区もしくは包括エリアごとの生活支援コーディネーター定例会</li> <li>行政との定期協議（月1回）</li> <li>都城市介護保険生活支援体制整備事業協議会への出会</li> </ul>						
事業内容	【研修等】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生活支援コーディネーター情報交換会（H30.4.26、7.12、10.4、H31.3.19）</li> <li>②居場所づくり講演会（H30.11.29）</li> <li>③じょじょんよかとこわがまち報告会（H30.12.14）</li> <li>④地区別研修会の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>西岳地区地域医療セミナー（H30.12.12）</li> </ul> </li> <li>⑤県内研修会・連絡会への参加           <ul style="list-style-type: none"> <li>県生活支援コーディネーター連絡会（H30.8.6）</li> <li>県西南地区生活支援コーディネーター連絡会（H31.1.16）</li> </ul> </li> <li>⑥県外研修への参加           <ul style="list-style-type: none"> <li>九州・沖縄地区生活支援コーディネーター活動研究大会（H30.8.28）</li> <li>平成30年度生活支援コーディネーター研究協議会（H30.10.22）</li> <li>支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム（H30.10.23）</li> <li>生活支援体制整備事業応援講座「協議の場はワイワイガヤガヤ」（H31.2.11）</li> <li>第2層生活支援コーディネーター・協議体によるつながりを基盤とした支え合いの地域づくりの進め方（H31.3.16）</li> </ul> </li> </ul>						
	【その他】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーターの配置：15地区22名配置</li> <li>生活支援コーディネーターの活動日数：849日、活動時間：1,605時間</li> </ul>						
事業成果	<p>今年度で2年目の取り組みとなった本事業は、全地区に生活支援コーディネーターを配置できた。小地域における活動（ふれあいいいききサロンやこけないからだづくり講座等）の状況や参加者への聞き取りによる地域生活課題の把握やボランティアへの聞き取り、ひとり暮らし高齢者宅訪問などの個別事例対応や第2層協議体の運営など、その活動は多岐にわたった。また情報交換会においては、実践報告や各地区情報の共有、地域包括支援センター等との協議など、コーディネーター同士や関係機関とのネットワーク構築の機会ともなった。</p> <p>次年度は、個々の活動と併せて、第2層協議体の運営・実施をさらに推進し、第1層の生活支援コーディネーターや協議体と連携をより図りながら、地域で行われている支え合い活動に光を当て、地域のお宝を見える化・見せる化することにも注力していきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-26
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 多機関協働包括的支援体制構築事業</b>						
決算額 (単位：円)	12,710,838	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				12,710,838			
事業概要	福祉ニーズの多様化・複雑化を踏まえ、単独の相談機関では十分に対応できないいわゆる「制度の狭間」の課題の解決を図るために、世帯全体が抱える複合的な課題を的確に把握し、既存の相談支援機関等の機能を最大限活用しつつ、包括的な支援を受けることができるよう、多分野・多機関に渡る相談支援機関等の連携体制の構築を図るとともに、地域に不足する社会資源の創出を図り、複合的な課題を抱える者の自立を促進する。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・相談支援包括化推進員の配置 ・相談者等に対する支援の実施 ・相談支援包括化推進会議の開催 ・弁護士による法律相談 ・司法書士相談 ・認知症サポーター養成講座 ・総合相談マニュアルの作成						
	<b>【諸会議】</b> ・生活支援ネットワーク会議 ・相談支援包括化推進会議（年3回） ・九州電力、弁護士との意見交換会 ・地区担当者定例会 ・包括支援センター（社会福祉士）会議 ・都城こども未来応援連絡会 ・福祉施設等連絡会名刺交換会 ・都城市地域貢献連絡協議会、CSW 意見交換会 ・その他、事業を推進する上で必要な会議						
	<b>【研修等】</b> ・主任児童委員部会研修 ・地域共生社会実施自治体向け研修会 ・みやざき若者サポートステーション研修会 ・法テラス宮崎地方協議会 ・実務者研修・多職種連携研修会 ・地域共生社会の実現に向けた市町村の包括的な支援体制の整備に関する研修会 ・松江市社会福祉協議会研修						
	<b>【その他】</b> ・ケアマネ研修会での啓蒙活動 ・山田・高崎地区地域連携懇談会 ・専門職にアンケート実施 ・看護職との他職種交流会						
事業成果	事業の周知と啓発を図るため、チラシやマグネットを作成し、多機関が協働するツールのひとつとして総合相談マニュアルをまとめあげることができた。また、相談内容を丁寧に聞き取るなかで、根本的な課題や複合的な課題を把握し、的確な支援機関へつなぐことで、複合的課題を持つ17人から相談を受け、9名の課題が解決・改善した。法律相談や福祉の相談を受けられる方も昨年比100人程増加している。ただし、相談支援機関からの相談件数は微々たるものであることから、さらなる周知と各相談支援機関と一緒に課題解決にあたる経験の積み上げが求められる。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 2-27
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 地域力強化推進事業</b>					
決算額 (単位：円)	14,980,000	左の財源内訳				
		補助金		受託金		その他の補助金等
		市	県社協	市	県社協	一般財源
				14,980,000		
事業概要	住民が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境を作り、子どもから高齢者、障がい者に至るまで、地域で生活する方々が住みよい地域を共に創り、高め合うことができるよう、地域力を向上していく。					
事業内容	【実施した事業内容】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉座談会 (15 地区)</li> <li>・地域福祉研究会</li> <li>・沖水くらしまるごと相談</li> <li>・地域福祉専門職研修会</li> </ul>					
	【諸会議】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当者定例会 (月 1 回)</li> <li>・チーム会議の開催 (各地区にて適宜開催)</li> <li>・行政との定期協議 (月 1 回)</li> </ul>					
事業内容	【研修等】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育・ボランティア学習実践研修会            テーマ／「福祉教育ガイドブックへの期待            ～発達段階に応じた福祉教育プログラムの意義～」            講師／大阪教育大学教育学部 教授 新崎国広 氏</li> <li>・地域福祉研究会            テーマ／「地区社協の“これまで”と“これから”            ～実践をふりかえり、次の展開を考える～」            講師／大阪教育大学教育学部 教授 新崎国広 氏            講師／桃山学院大学社会学部 講師 南友二郎 氏</li> <li>・地域福祉専門職研修会            テーマ／「地域共生社会を担う地域福祉専門職研修会            ～対話型ディスカッションを通して～」            講師／桃山学院大学社会学部 講師 南友二郎 氏</li> <li>・地域福祉推進大会            テーマ／「境界を越え、協働が生み出すもの」            講師／同志社大学社会学部 教授 永田祐 氏            15 地区揃い踏み！「我が事談義」「我が事の取り組みと、計画への希望・期待」            発題者／15 地区社協＋地区担当者            コーディネーター／同志社大学社会学部 教授 永田祐 氏</li> </ul>					
	【その他】					
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協携帯電話の設置 (15 地区)</li> <li>・地区福祉なんでも相談看板の設置 (15 地区)</li> </ul>					
	事業実施初年度という事もあり、試行錯誤しながらの実施となった。15 地区社会福祉協議会にて開設している「福祉なんでも相談」の充実化を図るために、15 地区へ携帯電話の設置および福祉なんでも相談看板の設置を行った。15 地区にて住民座談会を実施することで、地域住民の福祉に対する認識を確認でき、地域力強化のための足掛かりとなった。寄り添い訪問活動によりアウトリーチを行った。					

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-28
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 子どもの生活・学習支援事業</b>						
決算額 (単位：円)	6,770,456	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				6,770,456			
事業概要	<p>子どもの貧困対策に向け、一人親世帯や生活保護受給者、就学援助受給者等の様々な課題を抱える世帯の子どもたちの居場所として各地区で学習支援や生活、食育支援の場を推進する。また、サポーター確保に向けた養成講座を実施し、市内のサポート体制の拡充を図る。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の学習支援団体への活動費助成金交付 (9 団体)</li> <li>・学習支援サポーター養成講座の開催 (H30.8.21、8.28、9.11)          学習支援事業に従事されるボランティアサポーターの確保・養成を目的に3回シリーズで開催。実施団体の活動報告や若宮教授によるこどもの貧困に関する基礎知識やグループワーク、意見交換会などを実施し、8名のサポーターを確保。</li> <li>・新規立ち上げに向けた各地区との協議及びヒアリング          市内全15地区での実施に向け、中郷、志和池、沖水地区社協及び民児協と協議を行った。各地区が考えるこども達の居場所づくりについての思いや今後の方向性に向け共通理解を図ることに繋がった。また、各地区担当より次年度の実施に向け、地区社協役員会等で周知啓発、情報共有を行った。</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども未来応援連絡会の実施 (H30.5.23、12.20、H31.3.22)          市内で学習支援事業の実施団体と行政・教育委員会との意見交換会を行い、各団体の活動内容や抱える課題共有などを目的に実施。また、本会からの助成金に関する説明や南九州大学若宮アドバイザーによるこどもの貧困等の情報提供など年3回実施。</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやぎ子ども未来応援ゼミナール (宮崎市男女共同参画センター「パレット」) (H30.9.20)</li> <li>・宮崎県子どもの貧困対策人材育成研修 (日南市生涯学習センター) (H30.10.31)</li> <li>・NPO法人かごしま不登校ひきこもり支援ひまわり 視察 (H30.11.29)</li> <li>・子ども食堂勉強会 (宮崎公立大学交流センター) (H31.1.31)</li> </ul>						
事業成果	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察研修 (H31.3.7~8)          本市における事業推進、発展を目的に東京都世田谷区へ視察。空き家を活用した拠点や寺院での学習支援の場など本市とは異なる取組を学ぶ。数か所の拠点を見学したが、共通して聞かれた言葉はやはり「居場所」であり、サポーターと参加児童生徒の関係性は「対等」であるということ。こども達が将来に向け、よりよい生活環境の中で過ごしていけるように本市でも同様に取組を図っていく。</li> </ul>						
	<p>連絡会を実施したことにより各団体の情報共有を図るとともに、教育委員会等にも各団体の取組を周知することに繋がり、本来対象とする児童生徒像が再確認できた。また、各団体が抱える課題は違えども共通することも多く、今後の協働の取組に繋げていくこととしたい。</p> <p>サポーター養成講座では、受講後早速活動されているサポーターもいるが、登録された全員が活動できていないため、受講後に活動できる取組を開拓していく。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-29
事業名	<b>地域福祉活動推進事業拠点区分 社会福祉法人連携支援事業</b>						
決算額 (単位：円)	975,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						975,000	
事業概要	<p>社会福祉法第24条第2項に規定する地域における公益的な取組を促進するため、連絡協議会など概ね3以上の社会福祉法人等が連携する法人間連携プラットフォームを構築し、複数法人の連携による地域貢献のための協働事業を企画立案するとともに生活困窮者の支援などを含め制度の狭間の課題解決に向けた事業を展開するもの。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まごころ宅配便事業（民間企業との連携による困窮世帯への食糧支援10世帯）</li> <li>・お仕事出前（訪問）講座             <ul style="list-style-type: none"> <li>①「夢のランチ会」（対象：姫城地区学習に参加する児童生徒）</li> <li>②「くつの流通と販売」（対象：児童養護施設石井記念有隣園の児童生徒）</li> <li>③「障がい者支援施設の役割とピザづくり体験」（対象：児童養護施設石井記念有隣園の児童生徒）</li> <li>④「美容師のお仕事について」（対象：山田地区学習支援）</li> </ul> </li> <li>・学習支援事業におけるボランティアの活動サポート</li> <li>・みやざき安心セーフティネット事業加盟法人を対象にアンケート実施</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都城市地域貢献連絡協議会の開催（4回）</li> <li>・CSW意見交換会の開催（3回）</li> <li>・山田地区生活課題検討会議の開催（3回）</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組事例報告会（宮崎市）</li> </ul>						
	<p><b>【その他】</b></p>						
事業成果	<p>社会福祉法に規定された社会福祉法人の地域貢献と推進するため地域貢献連絡協議会を設置するとともに、生活に困り感を抱える世帯に対する支援を展開した。フードバンクによる単なる食の支援に留まらず栄養面を考慮した「まごころ宅配便」では地元スーパーと連携し、またコミュニティソーシャルワーカーと共にアウトリーチすることによって困窮の実態を知っていただくとともに新たな支援の方針について共有できる機会となった。</p> <p>また、児童養護施設や学習支援に参加する児童生徒を対象に行った「お仕事出前（訪問）講座」では、様々な職種の方を講師に招き実際の仕事内容について教授いただいた。学校では学ぶことのない社会の仕組みや将来に向け夢を描く機会となった。個別支援から地域支援の仕組みの検討や多様な法人の参加を求めることは、地域力を高めるとともに多機関の連携による制度の狭間を解決することにつながる事業であった。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	3-01
事業名	<b>障害福祉支援事業拠点区分 障がい者等日中活動支援事業</b>						
決算額 (単位：円)	1,024,299	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				1,024,299			
事業概要	<p>自宅に閉じこもりがちな障がい者や、仕事が休みの日に行く場所が無い障がい者やその家族（高齢者も含む）の交流や憩いの場を提供する。ピアサポーターを配置し相談援助や日常生活上での様々な支援を行っていく。また、日中活動の中でコミュニケーション能力や社会性の習得を目指し、当事者や家族が就労を含めた人生設計を描けるよう自立支援を図る。また、障がい者の活動を支援するボランティアの育成を図り、研修を行うことで地域での見守りや障がい者に対する理解を図る。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b>          (本所) ぽかぽかサロン (利用者 3,160名：家族・ボラ含む 1日平均 13名)          常設型 (月曜～金曜・9時～16時開設) 220日          イベント型 (月2回開催：調理・バスハイク等) 24回          (4支所) 山之口しいのみサロン (6回開催 利用者 33名：家族・ボラ含む)          高城にこここサロン (9回開催 利用者 41名：家族・ボラ含む)          山田ひまわりサロン (6回開催 利用者 30名：家族・ボラ含む)          高崎あゆみの会サロン (12回開催 利用者 103名：家族・ボラ含む)          (ボラ) ボランティア</p>						
	<p><b>【諸会議】</b>          ① 本所・支所サロン担当国会議          ② 事業委託先変更に伴う福祉課、新委託先との協議</p>						
	<p><b>【研修等】</b>          当事者意見交換会 (随時：当事者企画)</p>						
	<p><b>【その他】</b>          ① ボランティアフェスティバルへの参加 (活動内容の周知・バザー)          ② 看護学生等の実習受け入れ</p>						
事業成果	<p>平日開催の常設型サロンと、月2回開催のイベント型サロンを開催し、障がい者やその家族の交流の場・居場所となっている。本所では利用者自らサロンの周知を行い来場される方も増えた。特に、調理実習やバスハイクなどの社会参加活動では参加希望者も多く、自発的にサロン活動を盛り上げようとする利用者も増えてきた。この活動の継続により、ピアサポーター養成の機会としても期待される。</p> <p>看護学生等の実習受け入れも実施し、実際に触れ合う機会を持つことで、一人ひとりがそれぞれ異なる障がい特性を持たれていることや (個別化)、共に地域で生活していく上で役割を担い助け合っていくことの大切さ (地域共生、地域包摂) についての学びに繋がっている。支所サロンも含め、ボランティアや地域の方々から支援をいただきながら活動を続けており、外部との交流から刺激を得ることにより、生活面での活気やチャレンジ意欲の向上にもつながっており、社会性を高める効果がみられている。</p> <p>また、本会としてのサロン運営は、一定の基盤を整えたことでその役割を終えたことから、より専門的な支援を展開する NPO 法人へ 2019 年度より委託先を移管することとなり、今後は基幹相談支援センターが個別にフォローすることになった。</p>						

事業区分 事業種類 法人運営 受託事業 地域福祉 補助事業 **相談支援** 公益事業 在宅福祉 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-02
事業名	<b>障害福祉支援事業拠点区分 障がい者ケアプラン事業</b>						
決算額 (単位：円)	2,545,550	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						2,545,550	
事業概要	<p>障害者総合支援法(平成25年4月1日施行)に基づく計画相談支援事業として、障害福祉サービス等を利用する際の利用計画の作成を行う特定相談支援事業所として、障がい児(者)の心身の状況、環境等に配慮し、本人を主人公としたサービス等利用計画を作成する。</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定特定相談支援事業</li> </ul> <p><b>【請求実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス等利用計画作成対象者：48名(延べ作成件数：137件)</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス担当者会議(随時) ・モニタリング(随時)</li> <li>ケース会議(随時)</li> <li>都城市障害者自立支援協議会 相談支援部会(毎月)</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会(MSR)研修会</li> <li>宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会(MSR) 県南ブロック会議</li> <li>宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護研修(共通研修)</li> <li>障がい者福祉施設等における障がい者虐待の防止と対応研修(管理者コース・従事者コース)</li> <li>虐待防止伝達研修</li> <li>宮崎県相談支援従事者現任者研修</li> <li>九州地区障がい者相談支援事業合同研修会 in 佐賀</li> <li>都城市社会福祉施設等連絡会 障害児者関係施設・学校部会</li> <li>高次能機能障がい研修</li> <li>実務者研修・多職種連携研修会</li> </ul>						
	<p><b>【その他】</b></p>						
事業成果	<p>相談支援専門員がサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス利用に関することや日常生活等の支援を行うにあたり、相談支援事業所として、社協の機能と他職種との連携を図りながらすすめてきた。また、民生委員や他機関との連携を深めることで、利用者の地域での安心した生活に繋がるように支援してきた。</p> <p>相談支援専門員としてのスキルアップのために、相談支援や他職種連携等に関する研修会に参加し、研鑽に努めた。</p> <p>サービス等利用計画の作成は、介護保険と同様にケアマネジメント業務である。相談支援専門員ひとりあたりの計画作成件数と収支の状況を踏まえると、今後は事業の在り方について検証していく必要がある。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-03
事業名	<b>障害福祉支援事業拠点区分 重度身体障害者移動支援事業</b>						
決算額 (単位：円)	2,352,124	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	車イス使用者で単独での一般交通機関の利用が困難な重度身体障害者や要援護者の方が、医療機関の通院や入退院、社会参加の促進ために、福祉車両を用い地域の運転ボランティアの協力を得て移動支援活動を行い、一人でも多くの移動困難者が地域社会で生活できるように事業に取り組んでいく。						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度利用回数 延421回（登録者数171名）</li> <li>・病院等への通院及び入退院に伴う移動支援（237名 ※平成29年度は217名）</li> <li>・公共機関の利用に伴う移動支援（4名 ※平成29年度は6名）</li> </ul> ※支援内容内訳のうち、在宅福祉サービス利用に伴うもの、研修会や文化活動参加に伴うもの、冠婚葬祭に関するものに伴う利用実績は無し。						
	【諸会議】 都城市福祉有償運送サービスネットワーク協議会						
	【研修等】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転ボランティア研修会（12月）</li> <li>・福祉有償運送サービス運転従事者養成講習への運転ボランティアの参加</li> </ul>							
【その他】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ボランティアの育成・確保（4名新規登録 計8名）</li> <li>・事業見直しに向けての福祉課との協議</li> <li>・利用申請調査の実施</li> <li>・利用期間が長期空いている利用登録者の再調査（随時）</li> <li>・車両の売却・新規車両の導入</li> <li>・福祉有償運送サービス運転従事者養成講習会の開催（5月、10月）</li> </ul>							
事業成果	<p>本事業は、在宅で生活する重度の身体障がい者や要援護高齢者などが、医療機関への通院や社会参加をするための移動の支援として実施している事業である。現状では、登録希望はあるものの実際の利用者は固定しており、月によって差異はみられるが、利用実績数に大きな変動はない。また、従事する運転ボランティアの高齢化の問題もあり、従事者確保の課題もみられる。</p> <p>今後は、行政主管課と本事業の有益性・必要性を考慮しつつ、これらの課題を含めた事業の取り組みについて、協議を進めていく予定である。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-04
事業名	<b>障害福祉支援事業拠点区分 点字図書館事業</b>						
決算額 (単位：円)	16,978,475	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				16,755,000			223,475
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字図書、音声デージー図書、定期刊行物等の製作および貸出し</li> <li>・点訳、音訳、デージー編集ボランティア等の養成およびスキルアップ</li> <li>・視覚障がい者の情報環境の向上に係わる事業の実施</li> <li>・視覚障がい者の社会参加の促進に係わる事業の実施</li> </ul>						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字データ図書、点字定期刊行物等の製作および貸出し等 (6,606 タイトル)</li> <li>・音声デージー図書、テープ図書等の製作および貸出し等 (17,789 タイトル)</li> <li>・テキストデージー図書の製作および貸出し等 (163 タイトル)</li> <li>・ぶらいゆサロン (点字読み書きサロン) の実施 (31 回)</li> <li>・視覚障がい者用情報機器操作指導の実施 (7 回)</li> </ul>						
	<b>【諸会議】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字図書館運営委員会の実施 (2 回)</li> <li>・都城点訳・音訳友の会役員等との協議・意見交換会の実施 (15 回)</li> </ul>						
	<b>【研修等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点訳ボランティア養成講座の開催 (22 回)</li> <li>・音訳ボランティア養成講座の開催 (24 回)</li> <li>・デージー編集講習会の開催 (58 回)</li> <li>・デジタル録音機 (DR-1) 操作講習会の開催 (21 回)</li> <li>・改訂日本点字表記法 (2018 年版) に係わる研修会の実施 (2 回)</li> </ul>						
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都城市立図書館とのコラボ展示企画の開催</li> <li>・新型デージー再生機プレクストーク PTR3 および PTN 3 操作指導の実施</li> <li>・SNS・公式フェイスブックページによる視覚障がい者理解の促進と施設啓発</li> </ul>						
事業成果	<p>年々多種多様化する視覚障がい者ニーズに応え、利用者個人より依頼を受けた資料等を点訳・音訳し提供することで、当事者の QOL の向上に繋がった。(製作例：DVD プレーヤー取扱説明書、大学試験問題過去問、触地図等)</p> <p>昨春オープンした都城市立図書館とのコラボ企画 (展示会) の開催や、同館に常設の点字図書館の情報ボックスを設置していただき、施設啓発や視覚障がい者理解の促進に成果があった。また、音声デージー図書製作の場として録音スタジオを借用 (17 回・84 時間) し、製作の即時性に繋がった。</p> <p>利用者のご要望に応え 2014 年に開設したフェイスブックページもフォロワーが増加し、施設啓発に繋がっている。(平成 31.3.31 日現在フォロワー数 630 名)</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-05
事業名	障害福祉支援事業拠点区分 都城市障がい者（児）基幹相談支援・虐待防止センター事業						
決算額 (単位：円)	40,057,285	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
			40,057,285				
事業概要	地域で生活する障がい者やその家族が抱える様々な生活課題を解決するため、多様な機関と連携・協働していくなかで、総合的な相談支援を展開し、地域で安定した生活を送ることができるよう支援することを目的に本事業を実施する。						
事業内容	【実施した事業内容】 ①総合的・専門的相談支援（相談件数 2,570 件） ②地域の相談支援体制の強化と取り組み（主催研修会の開催、相談支援事業所の後方支援、関係機関会議等への参加・協力） ③地域移行・地域定着の取り組み（居住サポート事業 相談件数 7 件） ④権利擁護・虐待防止（虐待案件対応、コアメンバー会議・支援会議への出席） ⑤自立支援協議会事務局運営						
	【諸会議】 ・障害者自立支援協議会（協議会・全体会・合同会議・運営会議・部会） ・福祉課・スーパーバイザーとの定期協議（毎月） ・居住サポート事業関係機関連絡会議（9月、2月） ・都城市北諸県郡自殺対策協議会（7月） ・都城市成年後見ネットワーク会議（8月） ・宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会（MSR）県南ブロック会議 ・住宅改造判定会議 ・都城圏域就労支援担当者会議（6、8、10、12月） ・放課後等デイサービス連絡協議会（4、6、9、1、3月）						
	【研修等】 ・主催研修会（年5回）の開催 ・虐待防止研修の実施（8月） ・宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会（MSR）県南ブロック研修会への参加（9月・3月） ・九州地区障害者相談支援事業合同会議（12月・佐賀市）						
	【その他】 ・相談支援従事者初任者研修（10月、11月 2名） ・介護支援専門員実務研修、更新研修（各1名） ・出張事業説明、視察受け入れ（地区民児協、保護課、特別支援学校他）						
事業成果	2018年度より受託した基幹相談支援センターとして、広報啓発活動に力を入れた。これにより、障がい種別や年齢等に関わりなく、幅広く総合的かつ専門的な相談に対応する窓口として認識されつつある。初年度として相談件数も 2,500 件を超え、多種多様な相談に対応してきた。 また、相談支援事業所等への支援のバックアップやスーパーバイズ等も担い、地域の相談支援体制の強化への働きかけも行っているところである。 今後、専門職としての一層のスキルアップを図りつつ、地域の中の総合相談窓口の拠点としてさらなる体制強化を目指していく。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-01
事業名	<b>障害福祉サービス事業拠点区分 居宅介護事業</b>						
決算額 (単位：円)	21,596,280	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							21,596,280
事業概要	障害者総合支援法に基づき、身体障がい者、精神障がい者、知的障がい者の利用者宅へホームヘルパーを派遣し、在宅及び地域で利用者の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。						
事業内容	【実施した事業内容：本所】						
	・障害福祉サービス（居宅介護）（同行援護）（重度訪問介護）						
	【諸会議】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護事業会議 1回／月</li> <li>・ヘルパーミーティング 1回／週</li> <li>・都城市自立支援型地域ケア会議 随時開催／年</li> </ul>						
事業内容	【研修等】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ヘルパー研修 4回／年</li> <li>・中央研修 9月</li> <li>・介護技術研修 1月</li> <li>・平成30年度 障害者虐待防止・権利擁護研修会               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 管理者コース 1名</li> <li>2) 従事者コース 1名</li> </ul> </li> <li>・平成30年度 同行援護従業者養成研修（一般課程） 1名</li> </ul>						
	【その他】						
	・平成30年度県介護福祉士養成支援事業補助金交付（国家資格取得者） 3人						
事業内容	【実績】						
	サービス内容	年間利用者数	延訪問回数	延訪問時間			
	居宅介護	428	6,756	7,178			
	同行援護	12	78	275			
重度訪問介護	12	938	1,416				
計	452	7,772	8,869				
平成30年度 新規：7件、廃止：5件							
事業成果	<p>障害者の子育て支援を中心とした訪問や、精神疾患を持たれた方の就労移行をサポートする支援が増加しているため訪問回数・時間は増えてきている。県主催の障害者虐待防止・権利擁護研修や同行援護従業者養成研修を計画的に受講した。</p> <p>また、昨年に引き続き、宮崎県介護福祉士養成支援事業（実務者研修補助金）を積極的に活用し、登録ヘルパー等の介護福祉士国家試験の受験等支援を行い、事業所の中核的介護人材の確保と介護従事者のキャリアアップに取り組んだ。今後も、市障害者生活支援センターや各相談事業所等との連携を図っていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-02							
事業名	<b>障害福祉サービス事業拠点区分 訪問入浴サービス事業</b>													
決算額 (単位：円)	5,828,100	左の財源内訳												
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源							
		市	県社協	市	県社協									
				5,504,000		324,100								
事業概要	利用者（障がい者）が在宅において自立した日常生活を営むことが出来るように、看護師・ホームヘルパーを派遣して、自宅に浴槽を運び、訪問入浴サービスを実施する。													
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ○移動入浴車にて自宅での入浴ケアを行う (看護師1名、ヘルパー2名) ○訪問入浴車（軽自動車：2台）													
	<b>【諸会議】</b> ○ホームヘルパーとのミーティング                      1回/週 ○訪問介護事業と連携して事業会議に参加              1回/月													
	<b>【研修等】</b> ○接遇とベッドでの移乗方法 ○認知症講習会及び講演会 ○デベロ老人福祉研究所主催の入浴福祉レベルアップセミナー（鹿児島教室）													
	<b>【実績】</b> 派遣回数（年間） 利用者       (延人数)   60人 派遣回数   (延回数)  450回													
	実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	世帯	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	回数	32	33	36	31	36	39	46	38	37	42	37	43	450
事業成果	障害者施設の普及により、入浴手段が多様化して利用者数が減少傾向にある。人工呼吸器や気管切開をされた利用者等、支援の多様化に対応するため専門研修を計画的に受講させた。今後も安定した事業を行うために、市障害者生活支援センターや各相談事業所との連携を図っていききたい。 また、2000年度日本財団福祉車両助成事業により取得した「訪問入浴車両(デベロ/ダイハツハイゼット)」を廃車して、12月より新型リース車輛を導入した。そのことにより、同一利用者の回数増加や最新機材の導入で入浴環境をより良く改善することができた。													

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-03
事業名	<b>障害福祉サービス事業拠点区分 日中一時支援事業</b>						
決算額 (単位：円)	441,850	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				409,870			31,980
事業概要	<p>障がい者等の日中における活動の場を確保し、身体障がい者の家族の就労支援及び身体障がい者を日常的に介護している家族の一時的な負担軽減を目的とする。</p> <p>(1) 実施場所／志和池福祉センター          (2) 営業日／火曜日          (3) 営業時間／8：15～17：00          (4) サービス提供時間／9：30～14：45          (5) 定員／5名</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b>          日中一時支援事業（火曜日のみ実施）</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事業（健康チェック、機能訓練、社会適応訓練、創作的活動等）</li> <li>・レクリエーション、入浴サービス、介護サービス、送迎サービス</li> </ul> <p>※社会適応訓練として          パソコン学習、創作的活動、趣味活動の実施</p> <p>※屋外活動として          石山観音池公園へ花見観賞          かかし村（山田）へ見学          買い物ツアー（イオンショッピングセンターほか）          ランチバイキング</p> <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 85名</li> <li>・登録数 3名</li> <li>・年間サービス日数 51日</li> </ul>						
事業成果	<p>介護保険制度への切り替えや障害症状の悪化による身体能力の低下、重度化などから通所活動の維持に困難なケースも出てきた。しかしながら、パソコンの学習、趣味活動やテキストを用いた英語の自主学習に継続して取り組みをされている。</p> <p>屋外活動では、イオンショッピングモールや石山観音池公園へ花見や一堂ヶ丘公園へのかかし村祭り見学などにも出かけ、季節感を味わう取り組みもできた。「大人の遠足」と題した週に1度の外出の機会、デイサービス利用者との交流や情報交換を積極的に行うことができ、生き生きとした1日を過ごしておられる。</p> <p>今後も、閉じこもりがちな日常生活に変化をつけ、自立と社会参加が促進されるように新たなレク活動・創作活動などにも力を入れて支援していきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-04						
事業名	<b>障害福祉サービス事業拠点区分 地域生活移動支援事業</b>												
決算額 (単位：円)	左の財源内訳												
	131,110	補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源						
		市	県社協	市	県社協								
				27,310			103,800						
事業概要	国土交通省運輸局指針に基づく福祉有償運送サービスとして、九州運輸局宮崎運輸支局及び都城市福祉有償運送運営協議会の認可を得て行うサービスであり、障がい者の地域生活支援事業として、外出介助（社会参加等）を行うもの。												
事業内容	【実施する事業内容：本所】												
	・利用者の研修会、文化活動、買い物などの外出支援。 市の受給者証の決定内容により派遣 身体介護〔有〕車いす等の必要な方への支援 身体介護〔無〕視覚、知的、精神障がい者への支援												
	【諸会議など】												
	・訪問介護事業会議 1回/月 ・ヘルパーミーティング 1回/週 ・都城市自立支援型地域ケア会議 随時開催/年												
	【研修など】												
	・職員研修（年6回） ・施設等連絡会 在宅部会の研修等に積極的に参加												
	【その他】・平成30年度 福祉有償運送サービス運転従事者養成講習会 1名												
	【利用実績】												
	※地域生活支援事業												
	実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
請求時間数	1	1.5	1.5	1	2	1.5	2	2	2	2	2	2	20.5
※福祉有償移送サービス事業													
実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
活動件数 (片道)	20	18	20	18	20	20	20	22	19	17	22	18	234
移送距離 (km)	172	138	161	149	164	190	164	172	166	139	156	141	1,912
事業成果	障がい者等の日常的な買い物、病院受診などの外出支援を行うことで、地域における障がい者の行動範囲が広がり、自立した生活を送ることができたと思われる。利用者や利用回数等が減少しているが、運転従事者へのスキルアップのために「福祉有償運送サービス運転従事者養成講習会」を計画的に受講した。												

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	5-01
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 訪問介護事業</b>						
決算額 (単位：円)	63,487,600	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						63,487,600	
事業概要	介護保険法に基づき、常に介護を必要とする「要介護」の認定を受けた人や、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の対象者への「総合事業訪問介護」や地域包括支援センターの職員による「事業対象者」認定者にホームヘルパーを派遣して、その能力に応じた居宅における日常生活が営めるように身体介護、生活援助等を実施する。						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・訪問介護、総合事業訪問介護						
	<b>【諸会議】</b> ・訪問介護事業会議：1回/月      ヘルパーミーティング：1回/週						
	<b>【研修等】</b> ・介護ヘルパー研修：4回/年 ・要介護施設従事者等による高齢者虐待防止講習会 ・認知症ケアマネージメントセミナー    ・ホームヘルパー研修（県社協主催） ・認知症ケアに必要な基礎知識と考え方						
	<b>【その他】</b> ・H30 県介護福祉士養成支援事業補助金交付（国家資格取得者）3人 ・都城市生活お助けサービス（訪問型サービスB）従事者養成講習への講師派遣（4回）						
<b>利用実績】</b>							
<b>※訪問介護事業</b>				<b>※総合事業訪問介護</b>			
サービス内容	年間利用者数	延訪問回数	延訪問時間	サービス内容	年間利用者数	延訪問回数	延訪問時間
身体介護		3,767	2,874	I (週1回程度)		1,358	1,350
身体生活援助		3,488	4,491	II (週2回程度)		1,674	1,679
生活援助		9,079	8,441	III (週3回以上)		1,087	1,100
乗降介護		0	0			0	0
計	1,143	16,334	15,806	計	597	4,119	4,129
平成30年度 新規 48件、廃止 31件							
事業成果	<p>介護保険事業や総合事業の利用回数が伸び悩んでいる。国が進める利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、市（地域包括支援センター）や担当ケアマネジャーが、プランを確認して配食サービスや民間の買い物代行等が増加し、訪問系サービスへの依頼は減少傾向である。要介護者においては、急性期の比較的軽度の支援が多く短期間で回復されるし、重篤化した場合は高齢者施設移行に進むケースが多く利用者の入れ替わりが目まぐるしい。</p> <p>在宅福祉課として、介護保険事業の在宅訪問系サービス事業所を「志和池福祉センター」に一本化し体制を整え、障害者福祉サービスとともに一体的な職員運用をさらに徹底して効率的、広域的なサービス支援を行いたい。また、昨年引き続き、宮崎県介護福祉士養成支援事業（実務者研修補助金）を積極的に活用し、登録ヘルパー等の介護福祉士国家試験の受験等支援を行い、事業所の中核的介護人材の確保と介護従事者のキャリアアップに取り組んだ。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他( )

実施箇所	<b>本 所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No. 5-02																																									
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 訪問入浴介護事業</b>																																														
決算額 (単位：円)	6,783,880	左の財源内訳																																													
		補助金			受託金		その他の 補助金等	一般財源																																							
		市	県社協	市	県社協																																										
								6,783,880																																							
事業概要	<p>要介護状態となった高齢者が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるよう、看護師・ホームヘルパーを派遣して、自宅に浴槽を運び入浴の援助を行う事によって、利用者の身体の清潔保持、心身機能の維持等を図る。</p>																																														
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動入浴車にて自宅での入浴ケアを行う (看護師1名、ヘルパー2名)</li> <li>・訪問入浴車(軽自動車：2台)</li> </ul>																																														
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームヘルパーとのミーティング 1回/週</li> <li>・訪問介護事業と連携して事業会議に参加 1回/月</li> </ul>																																														
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問入浴にて狭い空間でのベッドから浴槽への移乗</li> <li>・接遇とベッドでの移乗方法</li> <li>・認知症講演会</li> </ul>																																														
	<p><b>【その他】</b></p> <p><b>【実績】</b> 派遣回数(年間)</p> <p>利用者 (延人数) 110人</p> <p>派遣回数 (延回数) 535回</p>																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世帯</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>48</td> <td>54</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>47</td> <td>31</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>31</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>51</td> <td>535</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年度 新規 5件、廃止 4件</p>						実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	世帯	11	11	9	9	9	8	9	9	7	9	9	10	110	回数	48	54	43	49	47	31	43	49	31	43	46	51
実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計																																		
世帯	11	11	9	9	9	8	9	9	7	9	9	10	110																																		
回数	48	54	43	49	47	31	43	49	31	43	46	51	535																																		
事業成果	<p>気管切開や胃ろう施術の利用者が増加し、看護職のスキルアップが不可欠である。身体状態の変化が激しいために、突然のキャンセルや入院・入所になることも多かった。しかし、昨年度末に他の訪問入浴介護事業所が閉鎖したために利用者の移管を受けて、利用者や派遣回数が一転増加した。</p> <p>ターミナルケアの考え方や地域包括ケアシステムの導入が進む観点からも、今後さらに在宅での訪問入浴サービス事業の重要性・必要性が予測される。また、2000年度日本財団福祉車両助成事業により取得した「訪問入浴車両(デベロ/ダイハツハイゼット)」を廃車し、12月より新型リース車輛を導入した。その結果、同一利用者の回数増加や最新機材の導入で入浴環境をより良く改善することができた。</p>																																														

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所 **本所** **山之口支所** **高城支所** **山田支所** **高崎支所** 事業No. 5-03

**介護保険等事業拠点区分  
 居宅介護支援事業**

決算額 (単位:円)	54,174,631	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				1,720,102			52,454,529

事業概要 利用者の心身の状況、置かれている環境等を把握したうえで居宅介護サービス及びその他の必要な保健医療サービス、福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して、居宅介護サービス計画を作成する。

**【実施した事業内容】**  
 ・居宅介護支援（ケアプラン）・介護予防プラン業務受託  
 ・介護保険申請事務等の代行、住宅改修・福祉用具購入等申請  
 ・介護認定調査業務受託：生活保護世帯 64 歳未満/県外・県内：保険者外

**【諸会議】**  
 ・在宅福祉課(居宅介護支援係)ミーティング 1 回/月  
 ・特定事業所加算算定会議 1 回/週  
 ・包括連絡協議会(生活圏域包括) 1 回/2 か月(4.6.8.10.12.2)  
 ・入退院調整ルール策定事業 2 回/年(1.3)

**【研修等】**  
 ・介護支援専門員におけるスキルアップ研修(協会：県南ブロック含む)  
 5.6.7.8.9.12.2.3 月(同月内複数回あり)  
 ・介護支援専門員 新任職員研修 6 月  
 ・介護支援専門員更新研修専門課程Ⅰ 6~8 月(計 8 日間)  
 ・介護支援専門員更新研修専門課程Ⅱ 9~10 月(計 4 日間)  
 ・主任介護支援専門員フォローアップ研修 11 月  
 ・主任介護支援専門員更新研修 8~11 月(計 8 日間)  
 ・主任介護支援専門員研修 7~12 月(計 12 日間)  
 ・調査員研修 6 月  
 ・自立支援型地域ケア会議研修会 8.  
 ・退院時支援事例検討会(パネリスト)医療センター 9.11 月  
 ・実務研修 実習受入指導者研修 5.12 月  
 ・都城市・三股町医療介護連携協議会研修 9.10 月  
 ・ケアマネジメント標準化手法 12 月  
 ・集団指導(都城市開催) 8.3 月

**【実績】**  
 ・介護認定調査： 45 件（生活保護：28 件・県外：17 件）  
 ・ケアプラン作成（要介護）数(利用者) 延べ 3,084 件  
 ・介護予防プラン作成(要支援) 数(利用者) 延べ 383 件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
介護	238	244	249	249	259	254	262	269	267	262	260	271	3084
予防	33	35	34	37	39	33	28	26	30	31	30	27	383

事業成果  
 ・ケアマネ専従 11 名で従事。主任ケアマネ (3 名：H30 年度 1 名研修受講済み)  
 ・ケアプラン数は実績 30 名/月/人(管理者・臨時職は 20 名/月)を確保できるように、利用者の入院・所、逝去で減収となることも考慮し、病院や包括からの新規や他事業所からの紹介は断ることなく対応した。  
 ・特定事業所加算 (Ⅱ) を継続的に取得するため、条件に必要な研修やケアマネジャーの質の向上を念頭に置き支援してきた。事業所内でのプラン他書類のチェックを随時行うように心がけ、質の統一・向上を目指せるように心がけた。

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 5-04-1	
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 通所介護事業①（本所）</b>						
決算額 (単位：円)	45,853,001	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						45,853,001	
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～金（含祝日） 営業時間：8：15～17：00 利用定員：1日40人</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <p>①指定通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事業（健康チェック、個別機能訓練、生活機能訓練、創作的活動等）</li> <li>・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス</li> </ul> <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 3,746名</li> <li>・年間サービス日数 256日</li> </ul> <p>②総合事業通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事業（健康チェック、運動器機能向上、創作的活動等）</li> <li>・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス</li> </ul> <p>○使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 2,256名</li> <li>・年間サービス日数 256日</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 県介護福祉士養成支援事業補助金交付（国家資格取得者） 1人</li> <li>・園児や各種団体による踊り披露</li> <li>・教育職員免許法に基づく実習生や中学生等によるボランティア訪問受入</li> <li>・「しわちの里だより」 年12回発行</li> </ul>						
事業成果	<p>デイサービスだよりやチラシを作成して、民協定例会や居宅介護支援事業所等にPR活動を行った。また、公民館で行われている、こけないからだづくり教室へ研修としての参加などを行ったことで、体験利用から新規利用へとつなげることができた。</p> <p>一方で、長年利用されてきた方々が高齢になり、病院入院や高齢者施設等で利用者の減少も続いている。市の推進している総合事業・元気アップデイサービス事業等の兼ね合いもあり、地域包括支援センターからの利用者が減少傾向にあり、元気アップデイサービスでの利用が多いのが現状である。利用者の身体機能維持向上を目指すべく機能訓練指導員が複数の機能訓練メニューを準備し、利用者や家族、担当ケアマネ等が望むサービスの提供に取り組むことができた。また、生活相談員を中心に生活上の相談・助言・健康状態確認等の日常生活のサポートも行った。パーソンセンタードケアの考え方を推進し、職員研修・ミーティング等も随時実施した。</p> <p>今後も利用者の満足度を高められるよう、医療・福祉サービスの関係機関と連携を図り、地域資源を活用しながら、日中一時サービスや元気アップ事業の利用者との交流ができる等特色ある施設、選ばれる事業所を目指していきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	本 所	<b>山之口支所</b>	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-04-2
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 通所介護事業②（山之口）</b>						
決算額 (単位：円)	39,425,435	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							39,425,435
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業【通所型サービス】・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～金、(含祝日) 営業時間：8：15～17：00 利用定員：1日24人</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <p>①指定通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事業（健康チェック、個別機能訓練、生活機能訓練、創作的活動等）</li> <li>・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス</li> </ul> <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 3,927 名</li> <li>・年間サービス日数 309 日</li> </ul> <p>②総合事業通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事業（健康チェック、運動器機能向上、創作的活動等）</li> <li>・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス</li> </ul> <p>○使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 536 名</li> <li>・年間サービス日数 309 日</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会（6月・9月・12月・3月）</li> <li>・自衛消防訓練 2回（11月・2月）</li> </ul>						
事業成果	<p>利用者の高齢化が進み、死亡・入院・施設入所等により毎月変動があり、新規利用者の確保が厳しい状況にある。利用者増のためにも、総合事業や元気アップ事業の利用者を介護保険事業利用者につなげるために「山之口デイサービス」の明るく、親しみやすい雰囲気作りに取り組んだ。さらに、一年間の出来事のアルバムを作成し、利用者へ配布することで家族からも好評であった。今後も家族や担当ケアマネジャー、地域包括支援センター等と連携を深め、利用者増を目指したデイサービスの運営に努めていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	<b>山田支所</b>	高崎支所	事業No.	5-04-3
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 通所介護事業③（山田）</b>						
決算額 (単位：円)	29,954,900	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							29,954,900
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業【通所型サービス】・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～金（含祝日） 営業時間：8：30～17：15 利用定員：1日30人</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <p>①指定通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事業（健康チェック、個別機能訓練、生活機能訓練、創作的活動等）</li> <li>・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス</li> </ul> <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 2,794名</li> <li>・年間サービス日数 255日</li> </ul> <p>②総合事業通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事業（健康チェック、運動器機能向上、創作的活動等）</li> <li>・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス</li> </ul> <p>○使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 1,557名</li> <li>・年間サービス日数 255日</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 県介護福祉士養成支援事業補助金交付（国家資格取得者） 1人</li> <li>・園児や各種団体による踊り披露</li> <li>・個人や中学生等によるボランティア訪問受入</li> </ul>						
事業成果	<p>昨年度に比べると利用者の死亡・入院・施設入所等により、利用者減が続いている。居宅介護支援事業所や地域包括支援センターのケアマネジャー等に施設パンフレットを配布したり、利用者家族の方や地区民生委員等に情報をいただけるよう声掛けを行って新規利用者の確保に努めている。</p> <p>今後、今以上に、利用者の身体的なレベルの低下及び認知症の方の増加もあり、ヒヤリ、ハット等を含め介護事故が心配であるが、職員の連携と質の向上に努め、利用者に寄り添い自立した在宅生活ができるよう日常生活動作訓練等を充実させていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	<b>高崎支所</b>	事業No. 5-04-4	
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 通所介護事業④（高崎）</b>						
決算額 (単位：円)	23,870,005	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							23,870,005
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業【通所型サービス】・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～金（含祝日） 営業時間：8：30～17：15 利用定員：1日20人</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <p>①指定通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎サービス、入浴サービス、介護サービス、健康チェック、レクリエーション、創作活動、誕生会</li> </ul> <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 2,041名</li> <li>・年間開所日数 256日</li> </ul> <p>②総合事業通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎サービス、入浴サービス、介護サービス、健康チェック、レクリエーション、創作活動、誕生会</li> </ul> <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 948名</li> <li>・年間開所日数 256日</li> </ul> <p>③その他</p> <p><b>【会議】</b></p> <p>利用者のサービス担当者会議を随時実施</p>						
事業成果	<p>利用状況については、死亡・入院（長期）他施設への入所等により減少傾向である。介護保険申請中や要支援・要介護状態の方へ1日体験（食事代390円）を提供して、デイサービス事業を理解していただいている。2019年度中に閉所の予定であるが、現在の利用者に対しては、担当ケアマネジャーや本人、家族と連携を図りながら利用者の希望に添えるような対応を図っていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-05-1
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 元気アップデイサービス事業①（本所）</b>						
決算額 (単位：円)	498,816	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				498,816			
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員5名/日</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 34名</li> <li>・年間サービス日数 51日</li> </ul> <p><b>【サービス内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康チェック</li> <li>・給食サービス</li> <li>・入浴サービス</li> <li>・送迎サービス</li> <li>・日常動作訓練</li> <li>・相談、援助等の生活指導</li> </ul>						
事業成果	<p>平成30年度までの「元気アップ事業」は、週1回利用の縛りがあったために希望される方が少なかった。しかし、2019年（令和元年）度から、市が将来的な短期集中予防サービスの展開を見込んで、地域包括支援センターや医療機関と連携して総合事業の事業支援を行っていきとされていることで、地域包括支援センターから紹介の元気アップ利用者が増加傾向にある。</p> <p>また、和光市様式の導入や元気アップ2回利用の開始を踏まえて、書類の整理や今後の活動内容の検討を行った。サービス内容としては、バイタルチェック体操や運動を通じて機能低下予防の訓練や趣味活動（パズル、ゲームなど）を継続して身体機能の維持向上に努めることができた。創作活動等の機能向上レクリエーションについても、利用者間でアイデアを出し合って季節感のある作品を作りだし、完成後の達成感をともに喜ぶことができ日常生活への意欲を持てる取り組みができた。</p> <p>今後は、各サービス事業の特色を打ち出し、多様な選択肢が提示できるよう、利用者の個別機能を考慮し取り組めるようなメニューの開発を行いたい。また、関係機関と連携しながら事業を進めて行きたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	<b>山之口支所</b>	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-05-2																								
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 元気アップデイサービス事業②（山之口）</b>																														
決算額 (単位：円)	2,180,258	左の財源内訳																													
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																								
		市	県社協	市	県社協																										
				2,180,258																											
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員6名/日</p>																														
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <p>○生きがい活動支援通所事業 健康チェック、機能訓練、生きがい・趣味活動、レクリエーション、入浴サービス、食事サービス</p> <p>○外出支援サービス事業 送迎サービス</p> <p>延利用者数 465名（前年度 406名）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29</td> <td>33</td> <td>28</td> <td>33</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>46</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	29	33	28	33	37	42	46	43	43	46	46	49
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																				
29	33	28	33	37	42	46	43	43	46	46	49																				
事業成果	<p>利用者が高齢のために、介護認定され施設入所や入院等により年々減少傾向にあることから、利用者のニーズあったプログラムを作成している。今後はさらにひばり苑で生きがいのある生活を送ることができるよう全職員が情報を共有するとともに、地域包括支援センターとの連携を深めていく。</p>																														

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	<b>山田支所</b>	高崎支所	事業No.	5-05-3																								
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 元気アップデイサービス事業③ (山田)</b>																														
決算額 (単位：円)	261,099	左の財源内訳																													
		補助金			受託金		その他の 補助金等	一般財源																							
		市	県社協	市	県社協																										
				261,099																											
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員5名/日</p>																														
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <p>○元気アップデイサービス通所事業          健康チェック、機能訓練、生きがい・趣味活動、レクリエーション、入浴サービス、食事サービス          ※現在、登録者は2名。</p> <p>延利用者数 67名(前年度：30名)</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>8</td><td>8</td><td>5</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td> </tr> </table>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4	4	4	4	3	4	8	8	5	7	8	8
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																				
4	4	4	4	3	4	8	8	5	7	8	8																				
事業成果	<p>利用者にあったプログラムを作り、他の利用者とともにレクリエーションや行事活動を行うことで支援ができた。</p> <p>今後も利用者のニーズに応じられる生きがい作りをさらに検討し、職員か情報を共有するとともに、地域包括支援センターとの連携を深めていく。</p>																														

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	<b>高崎支所</b>	事業No.	5-05-4																												
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 元気アップデイサービス事業④（高崎）</b>																																		
決算額 (単位：円)	326,958	左の財源内訳																																	
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																												
		市	県社協	市	県社協																														
				326,958																															
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員 10 名／日</p>																																		
事業内容	<p><b>【実施した事業内容及び実績】</b></p> <p>○元気アップデイサービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間延べ利用人数 82 名</li> <li>・年間サービス日数 82 日</li> </ul> <p><b>【サービス内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康チェック</li> <li>・給食サービス</li> <li>・入浴サービス</li> <li>・送迎サービス</li> <li>・日常動作訓練</li> <li>・相談、援助等の生活指導</li> </ul>																																		
	<table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td><td>10</td><td>10</td><td>11</td><td>11</td><td>10</td><td>3</td><td>7</td><td>8</td> </tr> </table>												4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2	1	1	8	10	10	11	11	10	3	7
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
2	1	1	8	10	10	11	11	10	3	7	8																								
事業成果	<p>利用者が減少傾向にあり、入院等で再復帰の厳しい状況の方もおられる。今後も地域包括支援センターとの連携を取ながら地域住民への制度周知に努めたい。</p>																																		

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	<b>山田支所</b>	高崎支所	事業No. 5-06
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 山田元気な高齢者健康増進センター管理運営事業(健康の館)</b>					
決算額 (単位:円)	9,312,600	左の財源内訳				
		補助金		受託金		その他の
		市	県社協	市	県社協	補助金等
				8,347,000		965,600
事業概要	<p>元気で自立した生活を送っている高齢者が、加齢とともに体力の衰えにより要介護状態になることを予防するため、介護予防施設である「健康の館」において、バイタルチェック、レクリエーション、温泉センター利用による入浴、健康器具の使用等による介護予防事業を行う。</p> <p>H25.4より、利用者を市全域として事業展開をしている。</p>					
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定のない高齢者に対し、バスで送迎し施設の利用、各地区のとりまとめ担当者からの連絡を受け、昼食の予約などを行い事業展開</li> <li>・利用者アンケート調査(満足度、ご意見)</li> <li>・民生児童委員等に事業のPR</li> <li>・脳トレ用品の充実、都城弁ラジオ体操の実施、カラオケ機器の整備</li> </ul>					
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、社協、との協議</li> <li>・次期指定管理者との協議</li> </ul>					
	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ日数 240日</li> <li>・延べ件数 734件</li> <li>・延べ利用者数 4,828人</li> </ul>					
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者の生きがいと健康維持向上のため介護予防メニューに取り組んだ。</li> <li>・年々利用者が減少しており、特に山田町内の山間地の利用者減が著しい。</li> <li>・利用者減ではあるが、利用されている方には「都城弁ラジオ体操」「介護予防体操」「脳トレ」等介護予防メニューに積極的に取り組んだ。</li> <li>・平成30年度で指定管理が終わることになり、新年度からの管理者になる「都城ぼんち地域振興株式会社」と協議を重ね、念入りに引き継ぎを行った。</li> </ul>					

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	<b>山之口支所</b>	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-07-1																								
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 食の自立支援事業①（山之口）</b>																														
決算額 (単位：円)	7,198,056	左の財源内訳																													
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																								
		市	県社協	市	県社協																										
				4,397,256			2,800,800																								
事業概要	在宅で調理が困難な1人暮らし高齢者や老夫婦に対して、栄養バランスのとれた食事を届けるとともに安否確認を行う。いつまでも住み慣れた自宅で暮らしが出来るための一助とする。山之口・高城地区を事業エリアとしている。																														
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護事業従事調理員が調理して、利用者宅に配達している。利用者の嗜好を考慮し、希望に沿うようにしている。</li> <li>・個人対応として、「きざみ食・一口大」 苦手な食材を工夫して提供している。</li> </ul> <p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービス職員との合同ミーティング 月1回</li> <li>・配食サービス事業所合同研修（年2回）</li> <li>・調理師研修</li> <li>・配食サービス事業所意見交換会（市役所）<b>【実績】</b></li> </ul> <p>○配食実績 延数 7,005食（前年度 7,118食）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>564</td> <td>643</td> <td>639</td> <td>630</td> <td>649</td> <td>582</td> <td>610</td> <td>585</td> <td>524</td> <td>511</td> <td>518</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	564	643	639	630	649	582	610	585	524	511	518	550
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																				
564	643	639	630	649	582	610	585	524	511	518	550																				
事業成果	<p>ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦が、在宅で自立し、安定した生活を継続していくために、バランスのとれた食事や糖尿病、アレルギー体質の方への食事メニューの提供を心がけている。</p> <p>安否確認を兼ねて実施し、異常を発見した場合は家族や地域包括支援センター、ケアマネジャーに報告するなど、関係機関との連携を徹底した。</p>																														

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	<b>山田支所</b>	高崎支所	事業No.	5-07-2																																																																						
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 食の自立支援事業② (山田)</b>																																																																												
決算額 (単位:円)	4,200,373	左の財源内訳																																																																											
		補助金			受託金		その他の	一般財源																																																																					
		市	県社協	市	県社協	補助金等																																																																							
				643,072			3,557,301																																																																						
事業概要	在宅で調理が困難な1人暮らし高齢者や老夫婦に対して、栄養バランスのとれた食事を届けるとともに安否確認も行う。いつまでも住み慣れた在宅暮らしを継続するための一助とする。山田地区を事業エリアとしている。																																																																												
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食のみを月曜日から金曜日に実施。 配達は調理職員(パート)2名で行っている。 1食 利用料金400円 市受託金 1食 628円</li> <li>・嗜好を考慮し個人対応している。</li> <li>・安否確認、緊急時の連携</li> </ul> <p><b>【研修など】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都城市主催の意見交換会</li> </ul> <p><b>【実績】配食件数(昼食のみ)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>93</td> <td>89</td> <td>85</td> <td>98</td> <td>116</td> <td>116</td> <td>90</td> <td>84</td> <td>105</td> <td>102</td> <td>83</td> <td>91</td> <td>1,152</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>86</td> <td>95</td> <td>93</td> <td>94</td> <td>146</td> <td>157</td> <td>144</td> <td>160</td> <td>137</td> <td>124</td> <td>134</td> <td>157</td> <td>1,527</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>120</td> <td>129</td> <td>132</td> <td>126</td> <td>155</td> <td>132</td> <td>130</td> <td>130</td> <td>98</td> <td>112</td> <td>116</td> <td>125</td> <td>1,505</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>125</td> <td>129</td> <td>107</td> <td>90</td> <td>76</td> <td>58</td> <td>72</td> <td>71</td> <td>63</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>79</td> <td>1,024</td> </tr> </tbody> </table>							月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H27	93	89	85	98	116	116	90	84	105	102	83	91	1,152	H28	86	95	93	94	146	157	144	160	137	124	134	157	1,527	H29	120	129	132	126	155	132	130	130	98	112	116	125	1,505	H30	125	129	107	90	76	58	72	71	63	77	77	79	1,024
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計																																																																
H27	93	89	85	98	116	116	90	84	105	102	83	91	1,152																																																																
H28	86	95	93	94	146	157	144	160	137	124	134	157	1,527																																																																
H29	120	129	132	126	155	132	130	130	98	112	116	125	1,505																																																																
H30	125	129	107	90	76	58	72	71	63	77	77	79	1,024																																																																
事業成果	<p>デイサービスの栄養士による献立で高齢者の健康に配慮し、利用者の要望により、食事の内容を食べ易く(きざみ、おかゆ)、また、食物摂取制限等のある方に対して配慮したサービスを行った。利用者の安否確認にも配慮し、家族や関係機関との連携に努めた。</p> <p>今年度は、長く利用されていた毎日型の利用者が亡くなり、利用減となった。</p>																																																																												

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	<b>高崎支所</b>	事業No.	5-07-3																																																																																					
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 食の自立支援事業③（高崎）</b>																																																																																											
決算額 (単位：円)	10,030,023	左の財源内訳																																																																																										
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																																																																																					
		市	県社協	市	県社協																																																																																							
				4,044,320			5,985,703																																																																																					
事業概要	在宅で調理が困難な1人暮らし高齢者や老夫婦に対して、栄養バランスのとれた食事を届けるとともに安否確認も行う。いつまでも住み慣れた在宅暮らしを継続するための一助とする。																																																																																											
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・食関連サービスの利用調整 ・配食サービス（昼食・夕食）の実施に関すること ・高齢者に適した食事形態（個人対応⇒きざみ食、ミキサー食、減塩食など） ・安否確認、緊急時の他職種との連携 <b>【研修など】</b> ・都城市主催の研修並びに意見交換会 ・県社協主催研修への参加（福祉職員のための医学基礎知識研修、メンタルヘルス研修等） <b>【実績】 平成30年度年間配食別事業実績表（昼食・夕食）</b>																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>44</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>配食数</td> <td>657</td> <td>709</td> <td>635</td> <td>589</td> <td>567</td> <td>468</td> <td>545</td> <td>486</td> <td>400</td> <td>418</td> <td>472</td> <td>494</td> </tr> <tr> <td>実施日数</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>1日平均配食数</td> <td>31.3</td> <td>30.8</td> <td>30.2</td> <td>26.8</td> <td>24.7</td> <td>23.4</td> <td>23.7</td> <td>22.1</td> <td>20.0</td> <td>20.9</td> <td>23.6</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>昼（弁当）</td> <td>192</td> <td>195</td> <td>159</td> <td>160</td> <td>161</td> <td>131</td> <td>158</td> <td>158</td> <td>136</td> <td>142</td> <td>148</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>夜（弁当）</td> <td>465</td> <td>514</td> <td>476</td> <td>429</td> <td>406</td> <td>337</td> <td>387</td> <td>328</td> <td>264</td> <td>276</td> <td>324</td> <td>344</td> </tr> </tbody> </table>	項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	利用者数	44	43	42	38	37	34	34	31	29	29	31	31	配食数	657	709	635	589	567	468	545	486	400	418	472	494	実施日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	1日平均配食数	31.3	30.8	30.2	26.8	24.7	23.4	23.7	22.1	20.0	20.9	23.6	23.5	昼（弁当）	192	195	159	160	161	131	158	158	136	142	148	150	夜（弁当）	465	514	476	429	406	337	387	328	264	276	324	344
項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																
利用者数	44	43	42	38	37	34	34	31	29	29	31	31																																																																																
配食数	657	709	635	589	567	468	545	486	400	418	472	494																																																																																
実施日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21																																																																																
1日平均配食数	31.3	30.8	30.2	26.8	24.7	23.4	23.7	22.1	20.0	20.9	23.6	23.5																																																																																
昼（弁当）	192	195	159	160	161	131	158	158	136	142	148	150																																																																																
夜（弁当）	465	514	476	429	406	337	387	328	264	276	324	344																																																																																
事業成果	ひとり暮らしの方々にとっては、配食を利用することで食事の提供と併せて、安否確認または会話ができる時間として喜ばれている。また、一食で多くの食材（品目）を摂ることができ、健康管理の面での一助となっている。利用者の状況、健康状態の変化等、気づいたことは担当ケアマネジャー等や家族に伝えるようにし、連携を心掛けた。 配達時に利用者から相談を受けた時は、迅速に対応することが大切であると考えている。肉嫌い、魚嫌いの対応をすることで苦情は少ない。しかし、今年度は入院、入所が多く、また新規が増えないという状況で配食数の減少が顕著であった。																																																																																											

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 **公益事業** 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	山田支所	高崎支所	事業No.	5-08
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分 山之口・高城地区地域包括支援センター事業</b>						
決算額 (単位:円)	33,741,670	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				22,799,567			10,942,103
事業概要	<p>介護を必要とする高齢者等が住みなれた地域での生活を継続していけるように、介護、医療サービスを初めとする多様な支援を継続的かつ包括的に提供し、多様な相談を受け連絡・調整を行うワンストップサービスを実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的支援事業 介護予防ケアマネジメント、総合相談支援業務、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント業務、地域ネットワークの構築</li> <li>・介護予防支援および介護予防・日常生活支援総合事業第1種支援</li> </ul>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <p>①介護予防ケアマネジメント：        ・こけない体づくり講座を山之口地区で9ヶ所、高城地区では17ヶ所で推進中。        今年度は新規で山之口で4ヶ所、高城地区で4ヶ所を開設した。        ・観音さくら温泉での運動教室（月4回）、青井岳温泉での健康相談（月3回）</p> <p>②相談支援業務：総件数は延べ2,850件</p> <p>③権利擁護事業：虐待対応件数は3件        成年後見制度意見交換・出張相談会を8/16に高城地区で主催。</p> <p>④介護予防支援業務：要支援者および事業対象者に対する介護予防・日常生活総合事業に関するケアマネジメント2,332件（うち委託は371件）。</p>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山之口・高城地区介護支援専門員連絡会議：6回開催</li> <li>・民生委員意見交換会：24回（山之口地区：12回・高城地区：12回）</li> <li>・地域密着型通所運営推進会議：14回（山之口：2ヶ所・高城：1ヶ所）</li> <li>・地域包括支援センター連絡会議：12回 管理者会議 12回</li> <li>・包括支援センター・職種別会議：30回（社福：12回、保健師・介護予防12回・主任CM：12回）</li> <li>・障害者住宅改造判定委員会：1回</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外：九州ブロック包括支援センター・在介センター協議会職員研修</li> <li>・県内：地域包括／在介職員研修、介護予防担当者研修ほか28回参加</li> </ul>						
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こけないからだづくり活動の新規立ち上げ（8ヶ所）とサロンや温泉交流事業を通じた介護予防活動により、初期の相談対応、介護予防の啓発および地域包括支援センターの周知啓発につながっている。</li> <li>・権利擁護事業については、個別ケース会議（延べ10件）を開催しながら、関係機関とともに適切な支援や関係づくりを行った。また、成年後見制度の意見交換会を高城地区で開催することにより、埋もれていた相談や事例の掘り起しができ、関係機関と連携した取り組みについて共通理解を図ることができた。</li> <li>・入退院移行ルールブックなどのツール開発がすすめられたこともあり、入退院時や医療リスクの高い方の支援などで医療機関との連携が増えており、多職種連携をテーマとした会議や研修参加はじめ、ケアマネ連絡会でも定期的にテーマとして取り上げたことにより、医療介護連携の推進ができた。</li> </ul>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-09
事業名	<b>介護保険等事業拠点区分          山田・高崎地区地域包括支援センター事業</b>						
決算額 (単位：円)	36,655,419	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				22,846,136			13,809,283
事業概要	<p>高齢者が住み慣れた地域で、できる限り継続して生活していけるように、介護・医療サービスを始めとする多様な支援を継続的かつ包括的に提供し、多様な相談を受け連絡・調整を行うワンストップサービスを、公営性・地域性・共同（協働）性の観点に立ち実践支援していく。地域レベルや個別の地域ケア会議を活用し、地域包括ケアシステムの実現をしていく。</p> <p><b>【包括的支援事業】</b>          ①介護予防ケアマネジメント②総合相談支援業務③権利擁護事業④包括的・継続的ケアマネジメント業務</p> <p><b>【介護予防支援業務】</b>          指定介護予防支援事業所として、要支援者・事業対象者のケアマネジメントを実施</p>						
事業内容	<p><b>【実施した事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>■総合事業                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①第一号介護予防支援事業②一般介護予防事業</li> </ul> </li> <li>■包括的支援事業                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①総合相談支援業務②権利擁護業務（虐待対応、消費者被害対応、4地区成年後見制度意見交換会・出張相談会等）③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（個別案件・介護支援専門員研修会実施等）④認知症地域支援推進員業務⑤多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築（地域ケア会議：個別・圏域）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・指定介護予防支援事業</li> <li>・その他（ニーズ調査 800 件）</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都城市地域包括支援センター連絡会議：月 1 回開催（第 3 水曜日）12 回実施</li> <li>・5 職種ネットワーク会議：主任介護支援専門員 6 回、保健師・介護予防担当 7 回、社会福祉士 11 回開催、認知症地域支援推進員 12 回</li> <li>・山田・高崎地区介護支援専門員等連絡協議会：年 6 回開催</li> <li>・民生委員児童委員定例会：24 回出席（山田 12 回、高崎 12 回）</li> <li>・運営推進会議：5 回参加（デイサービスきぼう 2 回、ふれあい園 5 回、海ちゃんの家 5 回）</li> <li>・成年後見ネットワーク会議：6 回参加（公証人・弁護士・司法書士・社協・精神保健福祉士等）</li> <li>・高崎地区地域連携懇談会：1 回開催（医師・医療職・まち協・公民館長・民生委員・地区社協・行政・介護支援専門員・事業所職員等）</li> <li>・山田地区地域連携懇談会：1 回開催（医師・医療職・まち協・公民館長・民生委員・地区社協・行政・介護支援専門員・事業所職員等）</li> <li>・都城市・医師会主催 医療介護連携推進協議会：11 回出席</li> <li>・高崎まちづくり協議会健康福祉部会：7 回出席</li> </ul>						

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田まちづくり協議会健康福祉部会：7回出席</li> <li>・個別地域支援会議：随時対応</li> <li>・住宅改造判定会議：3回</li> </ul> <p>【研修等】</p> <p>県外：地域包括支援センター職員基礎研修（西日本会場 京都）九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究大会（鹿児島市）</p> <p>県内：福祉の基礎知識習得研修、入退院調整ルール策定事業実施地域合同研修会、見守り・SOSネットワーク研修会、宮崎県介護支援専門員協会総会・研修会、認知症地域支援体制作りのための研修会、成年後見制度市町村職員等研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職コース、高齢者虐待防止研修会、モデル市町村向け自立支援型地域ケア会議研修会、ケアマネジメント標準化に関する研修会、宮崎県介護支援専門員協会研究大会、宮崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修会、自殺予防相談従事者研修会、依存症支援者向け研修会、認知症ケア研修</p> <p>【その他】相談件数、参加人員など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ こけないからだづくり教室開設数：山田＝35館中21館／高崎＝43館中24館</li> <li>○ 総合相談支援：1,388件（延べ1,370件）</li> <li>○ 権利擁護業務：136件（延べ174件）</li> <li>○ 包括・継続的マネジメント業務：44件（延べ53件）</li> <li>○ 認知症高齢者支援：107件（延べ167件）</li> </ul>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護予防支援業務：介護予防プラン延べ2,766件（平均月225件 委託月平均59件 委託率25.8%）作成、という状況であった。各福祉サービスの申請、モニタリング、廃止手続等も137件実施した。その他、在宅高齢者転倒予防住宅改修申請については13件対応した。</li> <li>○ 総合相談支援業務：職員全員で本人・家族・行政・関係機関等からの相談に延べ2,421件応じ、包括職員や他機関との情報共有のもと、チームアプローチで支援を行った（時間外・夜間帯・休日については電話転送で対応）。</li> <li>○ 権利擁護事業：虐待関係の相談延べ44件あり、高齢者や家族に対して、担当ケアマネジャー・行政とともに解決に向けて支援した。</li> <li>○ 成年後見制度については市民・専門職を対象とした意見交換会を開催し、事例に基づく制度説明や専門職の役割、相談窓口の案内などの周知を図ることが出来た。また、市民・専門職向けに相談会を実施した。それに伴う市内遠方4地区出張相談会においては中心市街地に出向くことなく相談が受けられたため、より身近な地域での課題解決が図られた。</li> <li>○ 包括的・継続的ケアマネジメント業務：介護支援専門員等連絡会を年間6回開催し、地域内居宅介護支援事業所・グループホーム等との連携を図ることができた。また、介護支援専門員の困難事例相談に随時対応、定期的な訪問や必要時の同行訪問・助言を行った。</li> <li>○ 認知症地域支援推進業務：認知症の人やその家族からの相談に167件応じ、適切な助言を行い、専門機関（医療・介護）の紹介・連携・情報提供を行った。</li> <li>○ 多職種協働による圏域の地域ケア会議に7回出席し、計画作成者への助言を行った。計画作成者として5ケースの事例を提出し、自立支援に向けたケアプラン作成を実践した。</li> <li>○ 山田地区／高崎地区地域連携懇談会を1回ずつ開催し、地域包括ケアシステムの概要を地域団体・関係機関と共有し、関係職種間で連携・顔の見える関係の更なる構築を行った。</li> </ul>

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-01
事業名	<b>保育園事業拠点区分 子育て応援課事務局</b>						
決算額 (単位:円)	14,542,367	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							14,542,367
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2認定こども園及び保育園の庶務全般に関すること</li> <li>・認定こども園及び保育園の経営に関すること</li> <li>・児童館の指定管理に関すること</li> <li>・放課後児童クラブの受託運営に関すること</li> </ul>						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庶務に関すること           <ul style="list-style-type: none"> <li>①各園の予算執行(人件費含む)及び備品管理</li> <li>②人事管理(職員採用、処遇改善等)、メンタルヘルスケア</li> <li>③保守・業務委託契約</li> </ul> </li> <li>・経営に関すること           <ul style="list-style-type: none"> <li>①各施設の行事対応及び資質向上に関する指導及び助言</li> <li>②県・市認定こども園協会及び市保育課との連携(申請、報告含む)</li> <li>③職員研修企画及び実施</li> <li>④園長会の主宰に関すること</li> </ul> </li> </ul>						
	<b>【諸会議】</b> 課長…定例経営会議、理事会・評議員会、園長会(課内、都城市認定こども園協会)						
	<b>【研修等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回子育て応援課研修(H30.5.17)</li> <li>・セルフケア研修(全体研修)(H30.8.31)</li> <li>・副園長・主任ライン研修(H30.9.18)</li> <li>・主幹保育教諭ライン研修(H30.9.26)</li> <li>・課長・園長コンサルティング(H30.10.2)</li> <li>・第2回子育て応援課研修(天野秀昭氏)(H30.10.26)</li> </ul>						
事業成果	<b>【その他】</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての施設がほぼ定員かそれ以上の受け入れで、円滑な運営を行う事ができた。</li> <li>・例年の研修に加え処遇改善費の支給に伴うキャリアアップ研修を計画的に実施。研修の数は増えたが、職員の業務への自信と意欲が増してきている。</li> <li>・ストレスチェックの調査を踏まえたコンサルティングでは、職員の心身の健康を定期的にふりかえることができ、必要に応じカウンセリングの声かけを行った。</li> <li>・こども園・保育園の昼休み取得(シフトによる)ができるようになった。(45分～1時間)。書類の軽減と庶務(不必要な制作)を無くし、居残り保育以外の残業は、ほとんど無くすことができた。</li> </ul>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-02	
事業名	<b>保育園事業拠点区分 幼保連携型認定こども園運営事業(おおむたこども園)</b>							
決算額 (単位:円)	146,002,913	左の財源内訳					その他の 補助金等	一般財源
		補助金		受託金				
		市	県社協	市	県社協			
		2,076,000					143,926,913	
事業概要	おおむたこども園の運営事業 ・諸事業:季節、時期に応じたもの ・各種研修会への参加 ・保護者会行事・研修 ・こども園地域活動事業							
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・行事:わんぱく☆フェスティバル・七夕☆夕涼み会・遊びと学びの発表会・遠足・餅つき・誕生日会(個人の当日)・繭の餅・豆まき・ひな祭りなど ・保護者会行事:保護者会総会・保護者会役員会(3回)・保護者研修会 ・地域活動事業:ぼかぼかひなた(子育て支援、世代間交流・小学校読み聞かせ、児童クラブ図書貸し出しなど)・冒険遊び場・園庭開放							
	<b>【諸会議】</b> ・3歳以上児カンファレンス(毎週金曜日) ・行事検討会 ・3歳未満児担当制保育カンファレンス ・その他必要に応じて							
	<b>【研修等】</b> ・全認定こども園協会研修会(ステップアップ研修、地域活性化研修) ・県認定こども園協会研修会(4回)、市認定こども園協会全体研修会(2回) ・新任研修、キャリアアップ研修、発達障がい研修 ・視察研修(岩切保育園、日向なないろ保育園) ・担当制保育園内研修会(吉本氏来園) ・課内全体研修 ・園庭に関する研修会、プレーワーカー養成講座 など							
	<b>【その他】</b>							
事業成果	<b>【実績】</b> 定員 85 名 (1 号 15 名、2 号 34 名、3 号 36 名) H30.4.1 (79 名 93%) ⇒H31.3.31 (82 名 96%) ・ぼかぼかひなた…毎週水曜日(年間参加者:乳幼児 79 名、大人 76 名) 開設時間を午後(13:30~15:00)から午前(10:00~11:30)に変更すると利用者増に繋がった。 ・冒険遊び体験(おおむたこども園年間参加者:子ども 27 名、大人 26 名) ・園庭開放(年間利用者:乳幼児 174 名、大人 206 名) うち、連日(1週間以上)の保育体験親子(3家族) ・小学校へ読み聞かせ…月 2 回(縄瀬小学校、本年度から笛水小中学校) ・児童クラブへの図書貸し出し…月 2 回(あおぞら、つくしっ子) ・ツリーハウスに登れた年長児(大人の手を借りず自分の力で)…13 人							

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-03	
事業名	<b>保育園事業拠点区分 幼保連携型認定こども園運営事業(谷頭こども園)</b>							
決算額 (単位:円)	163,957,060	左の財源内訳					その他の補助金等	一般財源
		補助金		受託金				
		市	県社協	市	県社協			
	2,470,000						161,487,060	
事業概要	谷頭こども園の運営事業 ・諸事業:季節、時期に応じたもの ・各種研修会への参加 ・保護者会行事・研修 ・こども園地域活動事業							
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・行事:かかしっこ夏祭り、秋のわくわくフェスティバル、観劇、冬のわくわくフェスティバル、クリスマス会、餅つき、正月遊び、豆まき、ひな祭り、卒園・修了式、遠足、わらべ歌会、スポーツ教室、習字教室、3園交流会 ・保護者会行事:かかしっこ夏祭り、保護者研修会、奉仕作業、日常保育参観 ・地域活動事業地域子育て支援:かかしっこ夏祭り、地域開催の行事(かかし村まつり、子どもフェスティバル)、ぽかぽかひろば、冒険あそび場、はなまる子育て教室							
	<b>【諸会議】</b> ・各種会議への参加/保護者会、各年齢部会、職員会議等 3園園長会、副園長・主任部会 主幹部会 リーダー部会 給食部会 認定こども園協会定例会・・・園長会、主幹部会							
	<b>【研修等】</b> ・各種研修への参加:県研修センター主催研修会、社会福祉協議会主催研修会 子育て応援課(社協)主催研修会、自主研修、子育て講演会 認定こども園協会 主催研修会 キャリアアップ研修 プレーワーカー養成講座							
	<b>【その他】</b>							
事業成果	<b>【実績】</b> 定員 105 名 (1 号 15 名、2 号 38 名、3 号 52 名) H30.4.1 (100 名 95%) ⇒H31.3.31 (103 名 98%) ・ぽかぽかひろば 毎週木曜日午後開催 年平均 1.2 家族の参加 ・山田町地区社協が行う子育て支援「つくしんぼ」の事業にも当園職員が参加し、町内の子育てに関する情報などの共有を行っている。 ・冒険あそび体験を毎月 1 回開催(縄瀬保育園で開催) 当園参加者は毎回 1~2 家族。 ・はなまる子育て教室…山田町内外より 9 名参加。託児も行う。 ・1 年を通して戸外遊びを行うことにより、遊びの幅が広がるとともに、体力が付き、長距離の散歩でも疲れを見せる事がなく、感染症の発症が減ってきた。 ・子どもの主体性を育むため 3 歳以上児クラスを縦割りにした。家庭に近い環境となり協同的(互いに助け合う)な動きも出てきた。							

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-04
事業名	<b>保育園事業拠点区分 保育園運営事業(縄瀬保育園)</b>						
決算額 (単位:円)	43,645,150	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	1,116,000					42,529,150	
事業概要	縄瀬保育園の運営事業 ・諸事業:季節、時期に応じたもの ・各種研修会への参加 ・保護者会行事・研修 ・保育園地域活動事業						
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・行事:こいのぼり運動会、バス遠足、あくまきづくり、観劇、ハロウィンパレード、発表会、餅つき、めの餅づくり、お別れ遠足、卒園・修了式 ・保護者会行事:個人面談、夕涼み会、子育て講演、わんぱくフェスティバル 縄瀬地区清掃活動、クリスマスサンタ自宅訪問 ・地域活動事業:高齢者交流、地域の各種事業への参加、小学校との交流会						
	<b>【諸会議】</b> ・保護者会理事会(年4回) ・園長会、副園長・主任部会、給食部会(月1回)認定こども園園長会(月1回) 認定こども園主幹部会 ・職員会(毎週) 保育内容・保育環境・ケース検討・行事起案検討など ・地域行事関係 年4~5回						
	<b>【研修等】</b> ・園内研修:保育環境について、育児担当制について ケース研究 ・県主催の研修参加、社協主催の研修、社協子育て応援課内研修 キャリアアップ研修、認定こども園協会主催研修会、視察研修、 ・自主研修参加 ・子育て研修会 ・プレーワーカー養成講座						
	<b>【その他】</b>						
事業成果	<b>【実績】</b> 定員30名(2号18名、3号12名) H30.4.1(29名97%)⇒H31.3.31(30名100%) ・園舎内外の環境の充実、補修工事を行うことにより、安定した園生活が送れるようにした。(デッキの取り付け、以上児クラスのトイレ改修工事など) ・ぼかぼかひろば 毎週木曜日午後開催 年平均1.2家族の参加 ・和食を基本にした独自の献立を当該園栄養士が中心になり作成。年長児が中心になり米研ぎを行い、ごはんは毎日かまど炊飯を実施。食育活動からも自分に自信を持てるようになり、自己肯定感が育まれてきている。 ・毎月1回縄瀬保育園で「冒険あそび体験」を開催した。「自分の責任で自由にあそぶ」がこの体験の方針であり、平成30年度11月より開催して 11/11(大人65名子ども35名)12/23(大人59名子ども42名)2/17(大人41名子ども28名)3/17(大人43名子ども40名)が参加した。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本 所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-05
事業名	<b>保育園事業拠点区分 谷頭児童館運営事業</b>						
決算額 (単位：円)	4,054,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	山田谷頭児童館の指定管理(期間/平成 27 年度～令和元年) ・育児相談(随時) ・季節に応じた行事 ・地域子育て支援会議等の開催						
事業内容	【実施した事業内容】						
	・育児相談関係 ①はなまる子育て教室の開催 (H30.10.18～11.13 5回) ②ぼかぼかひろば (毎週木曜日) での相談等 ③こけない体操時に地域の方々と児童の情報共有 (毎週水曜日) ④IHクッキング教室 ・季節に応じた行事 親子で七夕飾り作り・ハロウィンパーティ・芋ほり・クリスマス会・季節の制作活動 (コットンボールづくり レジン リース等)・エコ活動 (いものつるリース作り 野菜の栽培 廃材工作) ・地域子育て支援会議等の開催 ①小学校との定期会議開催 (2ヶ月に1回) ②地域の子育て支援事業者とのコラボ (地区社協 子育て支援センター) ③絵本の読み聞かせ おやつ作り お弁当バイキング 豆まき ④子どもフェスティバルへの参加						
	【諸会議】						
	・児童館定例会議 (毎月) ・子育て支援会議 (地区社協内つくしんぼ：奇数月) ・地域座談会 ・民児協定例会議への参加 (毎月) ・職場内ケース会議						
事業成果	【研修等】						
	・児童厚生員、支援員の県主催研修等 ・子育て支援課主催の研修会 ・谷5公民館にて開催された研修会への参加						
	【その他】避難訓練 防犯訓練 英語で遊ぼう (レッツ・トライ)						
事業成果	【利用実績】						
	●利用者数 乳幼児 591 人 小学生 1,729 人 中学生 63 人 高校生 2 人 計 2,385 人 月平均 198.7 人 ●事業への参加者数 (延べ人数) ・こけない体操 260 人 ・ぼかぼかひろば 225 人 ・はなまる子育て教室 85 人 ・避難訓練 241 人 ・英語で遊ぼう 163 人 IHクッキング教室 54 人 ●小学生利用者アンケートでの意見集約 (来館理由) ・外遊びが楽しいから ・ドッジボールが楽しいから ・友達がたくさん来るから ・卓球がたくさんできるから ・児童館に来るとあまり知らない人と話せるから						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**  
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ( )

実施箇所	<b>本所</b>	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-06	
事業名	<b>保育園事業拠点区分 谷頭児童館放課後児童クラブ運営事業</b>							
決算額 (単位:円)	8,174,999	左の財源内訳						
		補助金			受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協			
				6,756,899			1,418,100	
事業概要	山田谷頭児童館放課後児童クラブの受託運営 ・登録された児童の放課後居場所の提供 ・季節に応じた行事 ・遊びの指導							
事業内容	<b>【実施した事業内容】</b> ・放課後居場所の提供 ①遊びの環境整備 (興味・関心に応じたコーナーの変更) ②集団や個別による戸外遊び ③誕生会 (毎月) エコ工作 手芸等 ・季節に応じた行事 ファミリー工作とプレゼント作り・七夕・ハロウィン・クリスマス会・豆まき・ひなまつり等 ・遊びの指導 ①遊具の組み合わせ遊び (アスレチック シーソー ロープ遊び等) ②運動遊び (跳び縄 サッカー ドッジボール バドミントン 一輪車 竹馬 缶ぽっくり 鬼ごっこ等) ③伝承遊び (だるまさんがころんだ はないちもんめ かくれんぼ等) ④指編み物 縫い物 折り紙等							
	<b>【諸会議】</b> ・児童館定例会議 (毎月) ・地域座談会 ・職場内ケース会議 ・小学校との情報交換会 授業参観 ・都北地区児童クラブ連絡協議会参加							
	<b>【研修等】</b> ・児童支援員研修 ・子育て応援課主催研修 ・都北地区児童クラブ連絡協議会主催研修 ・エコに関する研修							
	<b>【その他】</b> ・避難・防犯訓練 (毎月) ・英語講師との交流 (年10回) ・こけない体操への参加 (毎週水曜日)							
事業成果	<b>【利用実績】</b> ・登録児童数 (定数27) 4月31人 5月30人 6月29人 7月31人 8月32人 9月29人 10月30人 11月28人 12月26人 1月26人 2月25人 3月23人 ◎1月平均28.3人 ・11月より手作りおやつに切り替え・・・食への関心が高まる。 ・個別の生活リズム確保で、時間配分と主体的な行動ができるようになりつつある。							

## **4. 宮崎県共同募金会 都城市共同募金委員会**

## (1) 募金の概要

### ◆平成30年度赤い羽根共同募金運動

#### 1 基本方針

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に戦後復興の一助である「国民たすけあい運動」として始まり、本年度で72年目を迎える助け合いの仕組みである。

この間、共同募金が「赤い羽根募金」として定着していく一方で、時代の変化とともに運動の目的や解決すべき課題への理解や共感よりも、寄付を集めることだけが意識されるようになり、それに伴い募金額も平成7年をピークに年々減少している状況である。

一方で共同募金に期待される役割は拡大しており、本市においても、中央共同募金会および県共同募金会が示す改革の方向性に沿いながら、70年答申で示された「参加と協働による『新たなたすけあい』の創造」を実現するために、共同募金本来の趣旨に立ち戻り、「じぶんのまちを良くするしくみ」として“活かされる募金”“見える募金”を目指し、事業を展開する。

#### 2 運動の推進

##### (1) 組織及び活動方法

関係組織・団体との連携を密にし、募金・助成計画の策定、市民参加の促進、広報活動、寄付者・募金額の確保に努めた。

##### (2) 事務局

都城市共同募金委員会の事務局を、都城市社会福祉協議会内（都城市松元町4街区17号 電話：25-2123）に置き、運動を推進した。

#### 3 共同募金目標額

(1) 一般募金目標額 27,000,000円

(2) 歳末たすけあい募金目標額 3,976,000円

#### 4 一般募金計画

##### (1) 一般募金計画

No.	募金の方法	金額(円)	比率	実施協力団体等
1	戸別募金	16,524,000	61.2%	自治公民館組織、行政協力員、班長
2	法人・篤志家募金	3,645,000	13.5%	民生委員児童委員
3	街頭募金	1,080,000	4.0%	ボランティア、福祉団体、民主団体
4	学校募金	1,809,000	6.7%	保育所(園)、幼稚園、小中学校、高校、専門学校
5	職域募金	2,268,000	8.4%	企業、官公庁、その他の団体
6	興行募金	891,000	3.3%	イベント等の益金を寄付いただくもの
7	空缶募金・その他	783,000	2.9%	職場や家庭で空缶や貯金箱で貯めた募金を寄付いただくもの
	合計(目安額)	27,000,000	100%	

## 5 歳末たすけあい募金計画

### (1) 歳末たすけあい募金計画

No.	募金の方法	金額(円)	比率	実施協力団体等
1	戸別募金	2,470,000	62.1%	自治公民館組織、行政協力員、班長
2	法人・篤志家募金	240,000	6.0%	民生委員児童委員
3	街頭募金	380,000	9.6%	ボランティア、福祉団体、民主団体
4	学校募金	360,000	9.1%	保育所(園)、幼稚園、小中学校、高校、専門学校
5	職域募金	270,000	6.8%	企業、官公庁、その他の団体
6	興行募金	200,000	5.0%	イベント等の益金を寄付いただくもの
7	空缶募金・その他	56,000	1.4%	職場や家庭で空缶や貯金箱で貯めた募金を寄付いただくもの
	合計(目安額)	3,976,000	100%	

## 6 運動期間

- (1) 一般募金 10月1日～12月末日  
(2) 歳末たすけあい募金 12月1日～12月末日

### ◆平成28年熊本地震義援金

#### 1 目的

平成28年4月14日の熊本県熊本地方を震源とする地震により、県内各地において人的被害をはじめ、家屋の倒壊等甚大な被害が発生し、熊本県の全市町村に災害救助法が適用された。この災害に伴い、熊本県共同募金会及び中央共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

#### 2 実施主体

熊本県共同募金会及び中央共同募金会

#### 3 受付期間

平成28年4月15日(水)から令和2年3月31日(火)まで

### ◆平成29年7月5日から的大雨災害義援金

#### 1 目的

平成29年7月5日から的大雨により、福岡県内各所で死傷者・行方不明者等の人的被害や家屋の全壊・半壊、多数の床上・床下浸水等の被害が発生し、朝倉市、添田町、東峰村に災害救助法が適用された。この災害に伴い、福岡県共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

#### 2 実施主体

福岡県共同募金会

#### 3 受付期間

平成29年7月10日(月)から平成30年9月28日(金)まで

#### ◆平成30年大阪府北部地震災害義援金

##### 1 目的

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、大阪府では住家被害等大きな被害が発生し、12市1町に災害救助法が適用された。この災害に伴い、大阪府共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

##### 2 実施主体

大阪府共同募金会

##### 3 受付期間

平成30年6月22日（金）から9月28日（金）まで

#### ◆平成30年米原市竜巻災害義援金

##### 1 目的

平成30年6月29日に発生した竜巻と推定される突風により、滋賀県米原市では住家被害等大きな被害が発生した。これを受け滋賀県共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

##### 2 実施主体

滋賀県共同募金会

##### 3 受付期間

平成30年7月6日（金）から9月28日（金）まで

#### ◆平成30年7月豪雨災害義援金

##### 1 目的

平成30年7月の豪雨により各地で人的被害をはじめ住家被害等大きな被害が発生し、11府県67市39町4村で災害救助法が適用された。この災害に伴い、中央共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

##### 2 実施主体

中央共同募金会及び岐阜県共同募金会、岡山県共同募金会、愛媛県共同募金会、広島県共同募金会、京都府共同募金会、高知県共同募金会、福岡県共同募金会、山口県共同募金会、島根県共同募金会

##### 3 受付期間

平成30年7月10日（火）から令和元年6月28日（金）まで

#### ◆平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

##### 1 目的

平成30年9月6日に発生した胆振地方中東部を震源とする地震により、北海道では人的被害、住家被害等大きな被害が発生し、179市町村に災害救助法が適用された。この

災害を受け北海道共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 実施主体

北海道共同募金会

3 受付期間

平成30年9月12日（水）から令和元年9月30日（月）まで

## (2) 運営委員会・監事・推進委員会・審査委員会名簿

### ◆運営委員会

任期：平成30年4月1日～令和2年4月1日（H31.3.31現在）

No	役職	選出区分	氏名
1	会長	企業代表（日興建設株式会社）	木 脇 義 紹
2	副会長	都城市自治公民館連絡協議会 H30.5.30 より	坂 元 晃 永 田 優
3	副会長	都城市民生委員児童委員協議会	米 吉 春 美
4	運営委員	都城市社会福祉協議会理事	島 津 久 友
5	運営委員	都城市社会福祉協議会理事	西 河 邦 博
6	運営委員	姫城地区自治公民館連絡協議会	柿木原 康 雄
7	運営委員	妻ヶ丘地区自治公民館連絡協議会	堀 川 涉
8	運営委員	小松原地区自治公民館連絡協議会	坂 下 修
9	運営委員	五十市地区自治公民館連絡協議会 H30.5.30 より	明 利 克
10	運営委員	横市地区自治公民館連絡協議会	松 原 光 洋
11	運営委員	沖水地区自治公民館連絡協議会	三 島 美 蔓
12	運営委員	志和池地区自治公民館連絡協議会 H30.5.30 より	東 郷 泰 公
13	運営委員	庄内地区自治公民館連絡協議会	舟 津 隆 二
14	運営委員	西岳地区自治公民館連絡協議会	坂 元 和 雄
15	運営委員	中郷地区自治公民館連絡協議会	鬼 束 巖
16	運営委員	山之口地区自治公民館連絡協議会 H30.5.30 より	有 川 俊一郎
17	運営委員	高城地区自治公民館連絡協議会	前 田 洋 美
18	運営委員	山田地区自治公民館連絡協議会	紺 谷 肇 一
19	運営委員	高崎地区自治公民館連絡協議会	村 吉 昭 一
20	運営委員	都城市民生委員児童委員協議会 H30.5.30 より	時 任 國 弘 大 津 律 子
21	運営委員	〃	薬 丸 良 英
22	運営委員	〃	萬 徳 雄一郎
23	運営委員	都城市小中学校長会 H30.5.30 より	石 川 和 明 間 世 田 昇
24	運営委員	都城商工会議所	田 爪 邦 士
25	運営委員	都城市社会福祉施設等連絡会	清 永 治 彦
26	運営委員	都城市福祉事務所	杉 元 智 子
27	運営委員	ボランティア代表	立 山 静 夫

◆監事

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日（H31.3.31現在）

No	役職	選出区分	氏名
1	監事	吉原建設株式会社	岩元光男
2	監事	一般社団法人都城法人会	鬼束貢

◆推進委員会

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日（H31.3.31現在）

No	役職	選出区分	氏名
1	委員長	日興建設(株) 代表取締役	木脇義紹
2	副委員長	大淀開発(株) 代表取締役	堀之内芳久
3	副委員長	吉原建設(株) 代表取締役専務	岩元光男
4	推進委員	霧島酒造(株) 常務取締役	伊賀崎繁
5	推進委員	土持産業(株) 代表取締役 常務取締役	土持寿翁 土持静子
6	推進委員	都城地区製材業協同組合 理事長	五十嵐可久
7	推進委員	都城まちづくり(株)	渡邊一生
8	推進委員	(株)ホテル中山荘	千町泰希
9	推進委員	南日本酪農協同(株) 総務部長	大原国男
10	推進委員	(株)四季設備 代表取締役	四季信一
11	推進委員	(株)九南 副社長	安田紳一郎
12	推進委員	九州電力(株)都城営業所 所長 H30.9.12より	池内良喜 甲斐英治
13	推進委員	住友ゴム工業(株)宮崎工場 工場長	石田博一
14	推進委員	(株)宮崎銀行都城営業部 部長	山田知樹
15	推進委員	都城農業協同組合 常務理事	坂元俊一
16	推進委員	宮崎県トラック協会都城支部 支部長	元明吉美
17	推進委員	(株)文昌堂 総務部長	東淑恵
18	推進委員	都城ヤクルト販売(株) 常務取締役	上田利弘

◆審査委員会

任期：平成30年2月1日～令和2年1月31日（H31.3.31現在）

No	役職	選出区分	氏名
1	審査委員	BTV株式会社	高田橋厚男
2	審査委員	都城市共同募金委員会	上田利弘
3	審査委員	都城市議会	森りえ
4	審査委員	都城商工会議所	河野謙司
5	審査委員	都城市社会福祉協議会	中村健児
6	審査委員	学識経験者	堀之内芳久

### (3) 募金実績額

#### ◆一般募金実績

目標額：27,000,000円

実績額：20,907,829円

募金実績額	実績額 (円)
戸別募金	12,356,389
法人募金	4,059,655
街頭募金	978,755
学校募金	1,300,595
職域募金	1,250,242
空缶募金	507,692
興行募金	422,730
その他	31,771
合計	20,907,829
達成率	77.4%

◎平成29年度募金実績による平成30年度B助成額：14,178,773円

#### ◆歳末たすけあい募金実績

目標額：3,976,000円

実績額：3,376,596円

募金実績額	実績額 (円)
戸別募金	2,326,785
法人募金	201,691
街頭募金	140,253
学校募金	386,845
職域募金	158,912
空缶募金	19,158
興行募金	142,952
合計	3,376,596
達成率	84.9%

◎平成30年度歳末たすけあい募金実績による平成30年度助成額：3,236,596円

#### ◆災害義援金 (平成30年度受付分：H31.3.31現在)

(1) 平成28年熊本地震義援金	21,332円
(2) 平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1,623円
(3) 平成30年大阪府北部地震災害義援金	28,313円
(4) 平成30年米原市竜巻災害義援金	0円
(5) 平成30年7月豪雨災害義援金	895,469円
(6) 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	73,110円

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉  
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 **その他（共募）**

実施箇所	<b>本所</b>	<b>山之口支所</b>	<b>高城支所</b>	<b>山田支所</b>	<b>高崎支所</b>	事業No.	
事業名	<b>共同募金運動・共同募金助成事業</b>						
決算額 (単位：円)	14,178,773	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						14,178,773	
事業概要	<p>毎年1回、厚生労働大臣の定める期間内に限って寄附金の募集を行い、寄せられた寄附金は、その区域内における地域福祉の推進をはかるため、区域内の社会福祉事業、更生保護事業、その他の社会福祉を目的とする事業を経営する者に助成する（社会福祉法第112条）。前年度に募集した募金の実績からA助成（県域助成）を差し引いた残りのB助成（都城市への助成）を福祉協力団体等の活動や、地域福祉活動の推進に助成する。</p>						
事業内容	<p><b>【平成30年度募金実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標額 27,000,000円</li> <li>・実績額 20,907,829円（達成率77.4%）</li> </ul> <p><b>【平成30年度助成実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・66団体 14,148,773円</li> <li>①ボランティア・当事者団体 37団体 2,404,000円</li> <li>②小地域地区社会福祉協議会 16団体 2,516,000円</li> <li>③広域社会福祉協議会関係 10団体 8,902,773円</li> <li>④NPO団体 3団体 356,000円</li> </ul>						
	<p><b>【諸会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度第1回運営委員会（H30.5.30）</li> <li>・平成30年度第1回推進委員会（H30.9.12）</li> <li>・平成30年度第2回運営委員会（H30.11.14）</li> <li>・平成31年度共同募金助成金事業審査委員会（H31.2.20）</li> <li>・平成30年度第3回運営委員会（H30.3.15）</li> </ul>						
	<p><b>【研修等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村共同募金委員会担当職員研究協議会（H30.9.21）</li> <li>・平成31年度赤い羽根共同募金助成金説明会（H30.11.30）</li> <li>・平成31年度赤い羽根共同募金助成金説明会（高城地区）（H30.12.5）</li> </ul>						
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い羽根共同募金出発式（都城市中心市街地中核施設 Mallmall）（H30.10.1）</li> <li>・都城市社会福祉功労者表彰式（H30.10.9）</li> <li>・宮崎県社会福祉大会（H30.10.31）</li> <li>・団体や学校における共同募金出前講座（計7回）</li> </ul>						
事業成果	<p>平成29年度に「助成に関する検討委員会」を立ち上げ、共同募金を「地域に活かされる募金」「使途が見える募金」にするために、新しい基準に基づいて助成を行った。</p> <p>募金額は年々減少しているが、団体による要望額は増える一方であるため、団体にも募金活動に取り組んでもらうのはもちろんのこと、事務局としても赤い羽根共同募金をいかにPRして新たな募金層の獲得に努めるかが今後の課題となる。また、団体によっては助成ありきで活動をしている団体も見られるため、助成団体の意識づけも行っていきたい。</p>						

平成31年3月

作成：社会福祉法人都城市社会福祉協議会

〒885-0077 都城市松元町4街区17号

TEL 0986-25-2123 FAX 0986-25-2103

ホームページ <http://www.m-syakyo.or.jp/>

Eメール： [info@m-syakyo.or.jp](mailto:info@m-syakyo.or.jp)

